EPSON

VP-870

取扱説明書

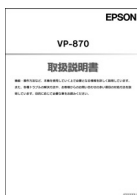
機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD0049-00

取扱説明書の種類と使い方

スタートアップガイド
セットアップの方法および本機を使用する上で必要となる主な情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。
Windows での使用方法やプリンタの仕様、コントロールコード、英数カナ文字コード、漢字コードなど詳細については、取扱説明書（PDF マニュアル）に記載されています。

取扱説明書（PDF マニュアル）
本機を使用する上で必要となるすべての情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい（操作）を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 ＊　用語の説明を記載していることを示します。

関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® Windows®2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows NT3.51、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/NT4.0」のようにWindows の表記を省略することがあります。

PC-98 系の表記について

本書中では、EPSON PC シリーズ、PC-9801 シリーズ /PC-9821 シリーズを総称して“PC-98 系”と表記します。

画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

給紙方法の呼称について

本書で説明する給紙方法とプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	プリンタドライバの表記
単票紙を「用紙ガイド」から手差し給紙する	手差し
単票紙をカットシートフィーダ A から給紙する	カットシートフィーダ / ビン #1
単票紙をカットシートフィーダ B から給紙する	カットシートフィーダ / ビン #2
連続紙を給紙する	トラクタフィーダ

プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本機に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。

他のソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。
＜例＞
カットシートフィーダファーストビン、カットシートフィーダ / ビン #1

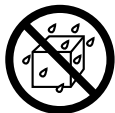
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触ることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。

取扱説明書で指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。

通風口など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
（本製品の定格電流は 100V/3.6A です）

電源プラグは、定格電圧 100V のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります（本製品の定格電流は 100V/3.6A です）。

⚠警告

破損した電源ケーブルを使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の危険があります。

他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをする危険があります。

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。
次のような場所には設置しないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から 10cm 以上のすき間をあけてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

	各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。
	本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
	インターフェイスケーブルやオプション製品を装着するときや消耗品を交換するときは、必ず本製品の電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから行ってください。 感電の原因となることがあります。
	オプション類を装着するときは､表裏や前後を間違えないでください。 間違えて装着すると､故障の原因となります｡取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。
	使用中または使用直後に、プリンタカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。

もくじ

使用可能な用紙と給排紙

プリンタ設定値の変更

オプションと消耗品

困ったときは

付録

サービス・サポートのご案内

本機の紹介

本機の特長

本プリンタは､従来の VP シリーズとの互換性を受け継いだ 24 ピン漢字プリンタです。主な特長は以下の通りです。

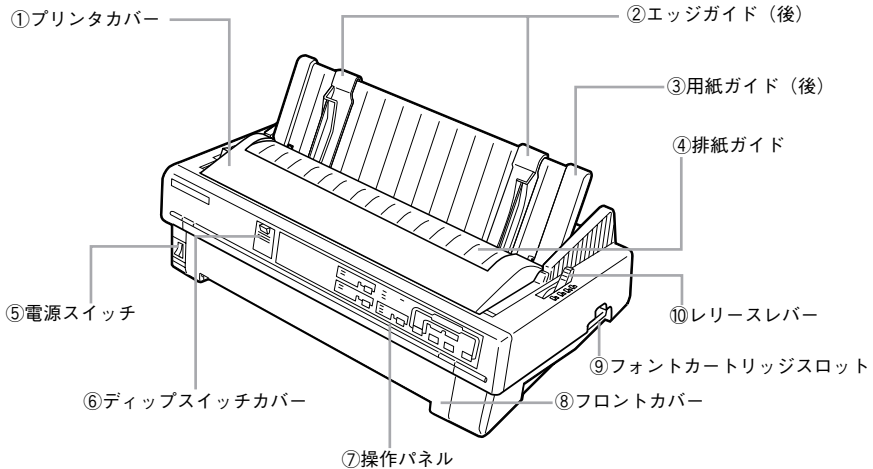
●各種用紙に対応

連続紙や単票紙をはじめ、複写紙、ラベル、ハガキなどの用紙が使用できます。カットシートフィーダ（オプション）を取り付けることにより、単票紙の連続印刷ができるようになります。

●スーパーマルチウェイローディング機構

連続紙を前方、後方、底面の 3 方向から給紙することができ、多様な使い方に対応できます。また、連続紙をセットしたままの状態で単票紙を使用できます。

各部の名称と働き

正面

① プリンタカバー
リボンカートリッジの取り付けや交換をするとき、詰まった用紙を取り除くときなどに開けます。通常は閉じておきます。

② エッジガイド（後）
単票紙を後ろの用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙するときに単票紙の幅に合わせます。

③ 用紙ガイド（後）
用紙ガイドから単票紙を手差し給紙することができます。

④ 排紙ガイド
連続紙の排紙方向を変えることができます。

⑤ 電源スイッチ
プリンタの電源をオン／オフします。

⑥ ディップスイッチカバー
プリンタの初期設定をするときに開けます。

⑦ 操作パネル
スイッチを操作して、プリンタの機能を設定あるいは実行します。各種のランプはプリンタの状態を表示します。詳細は以下のページを参照してください。
本書 19 ページ「操作パネル」

⑧ フロントカバー

用紙ガイド（前）から給紙するときに開けます。

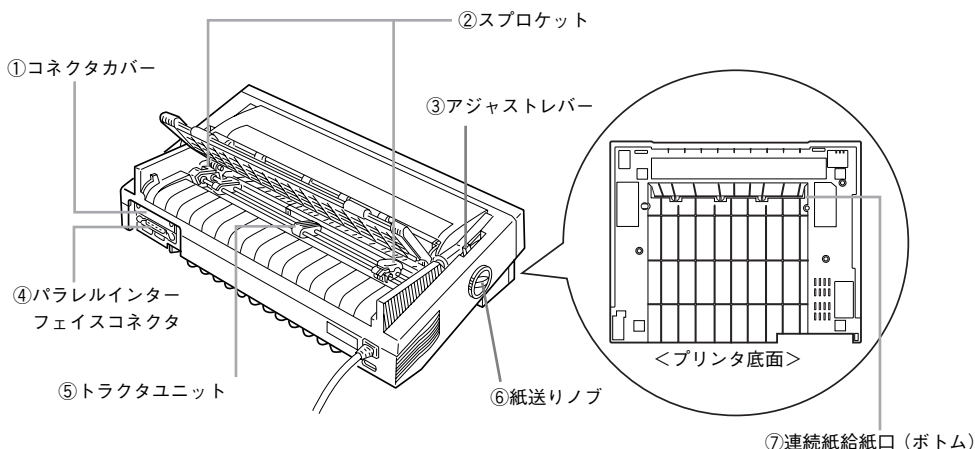
⑨ フォントカートリッジスロット

オプションのフォントカートリッジを取り付けます。

⑩ レリースレバー

給紙経路を切り替えるレバーです。給紙経路の設定については、以下のページを参照してください。

本書 93 ページ「給紙経路の設定方法」

背面 / 底面

① コネクタカバー

オプションのインターフェイスカードを差し込むスロットのカバーです。

② スプロケット

連続紙を使用するときにスプロケットを調節して連続紙の幅に合わせ、連続紙を固定します。

③ アジャストレバー

用紙の厚さや枚数に合わせて用紙面と印字ヘッドの間隔を調整します。用紙ごとの設定値については、以下のページを参照してください。

本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

④ パラレルインターフェイスコネクタ

パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

⑤ トラクタユニット

連続紙を給紙するときに使用します。

⑥ 紙送りノブ

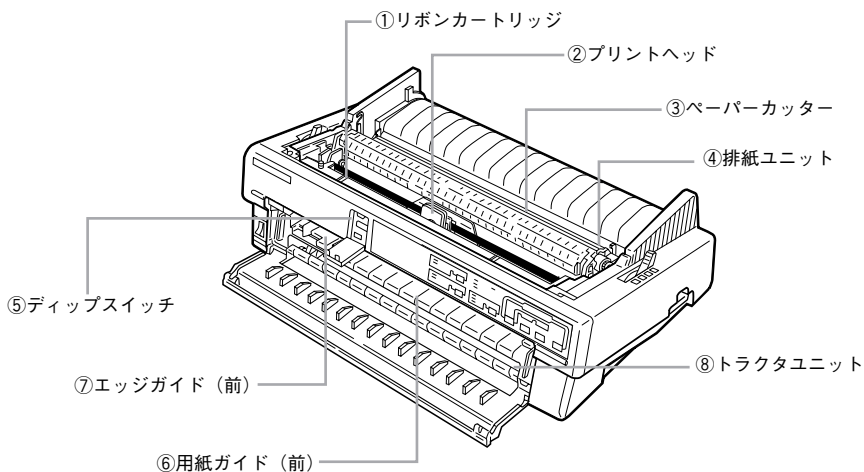
用紙がプリンタ内に詰まったときなど、用紙を手動で送り出す場合に使用します。通常は使用しません。

プリンタの［電源］スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

⑦ 連続紙給紙口（ボトム）

プリンタ底面から連続紙を給紙することができます。プリンタ底面から給紙するためにはトラクタユニットの付け替えが必要です。

本書 100 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

内部

① リボンカートリッジ

印字するためのリボンを収めた物です。

印字が薄くなったら、リボンカートリッジまたはリボンカートリッジ内部のリボンを交換してください。

本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

② プリントヘッド

印刷をする部分です。

精密部品ですのでネジを緩めたり分解したりしないでください。

③ ペーパーカッター

連続紙をミシン目で切り離すときに使用します。

④ 排紙ユニット

用紙を排紙するための部品です。プルトラクタを使用して連続紙に印刷する場合は、排紙ユニットを取り外してから、この位置にトラクタユニットを取り付けます。

⑤ ディップスイッチ

プリンタの初期設定をします。

⑥ 用紙ガイド（前）

用紙ガイドから単票紙を手差し給紙することができます。

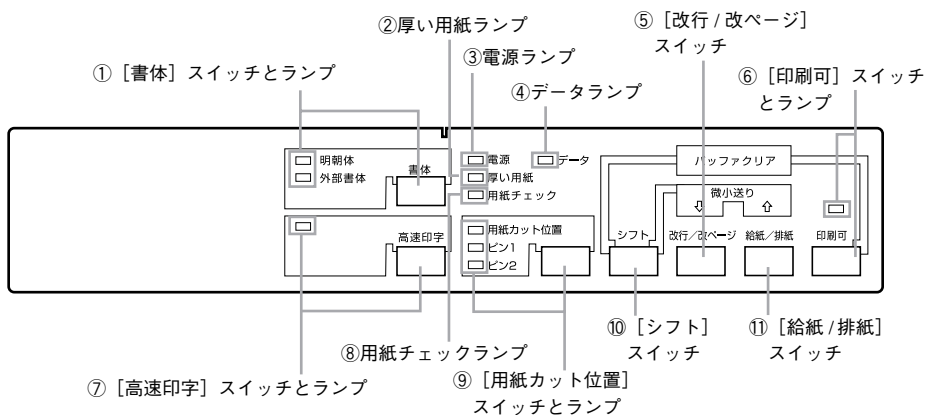
⑦ エッジガイド（前）

単票紙を前の用紙ガイドから１枚ずつ給紙するときに単票紙の左側面に合わせます。

⑧ トラクタユニット

連続紙を給紙するときに使用します。

操作パネル

操作パネル上のランプにより、プリンタの状態を知ることができます。また、スイッチを操作して各種機能の設定や実行ができます。

① ［書体］スイッチとランプ

明朝体またはゴシック（オプションフォントカートリッジ装着時）を選択します。

印字例

明朝体　　　　　ゴシック体（オプションフォントカートリッジ装着時）

明朝体	ゴシック体
東西南北春夏秋冬	東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン	セイコーエプソン
あいうえお	あいうえお

プリンタドライバを経由して印刷する場合、高速印字の設定はプリンタドライバ上で行います。印刷条件の設定で［印刷品質］を［ドラフト］に設定してください。
本書 54 ページ「プリンタドライバの設定項目」

② 厚い用紙ランプ
アジャストレバーの設定値が 2 以上のときに点灯します。また、用紙カット位置の調整ができるときに点滅します。

③ 電源ランプ
電源がオンのときに点灯します。

④ データランプ
印刷データがプリンタに残っているときに点灯します。

⑤［改行 / 改ページ］スイッチ

連続紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを 2 秒以上押し続けると改ページします。
単票紙のとき	スイッチを短く押すと改行します。 スイッチを押し続けると排紙します。

⑥［印刷可］スイッチとランプ
印刷可状態と印刷不可状態を切り替えます。印刷可状態のときにランプが点灯します。また、印字ヘッドが熱くなりすぎたときに点滅し、印刷を一時的に中止します。

⑦［高速印字］スイッチとランプ
高速印字が選択されているときに点灯します。高速に設定すると、文字パターンのドットを間引きして通常より高速に印字します（DOS 環境下で有効）。試し印刷やリボンカートリッジの消耗を抑えたいときに設定してください。

⑧ 用紙チェックランプ
用紙がない状態またはレリースレバーの設定に問題がある場合に点灯します。
用紙が詰まったときまたは正常に排紙されなかったときに点滅します。

⑨［用紙カット位置］（ビン 1、ビン 2）スイッチとランプ
連続紙に印刷する場合、印刷終了後にスイッチを押すと、連続紙が用紙カット位置に紙送りされます。連続紙が用紙カット位置にあるときにランプが点滅します。用紙カット位置にない場合は消灯します。
本書 115 ページ「ティアオフ機能」
また、ダブルビンカットシートフィーダ使用時に給紙するビンを選択します。

⑩［シフト］スイッチ
［シフト］スイッチを押しながら［印刷可］スイッチを押すとバッファをクリアし、［シフト］スイッチを押しながら［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを押すと用紙位置を微調整します。
本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

⑪ ［給紙 / 排紙］スイッチ

連続紙のとき	プッシュトラクタに連続紙をセットした状態でスイッチを押すと給紙します。印刷位置に給紙されている状態でスイッチを押すと、プッシュトラクタ位置へ排紙します。
単票紙のとき	カットシートフィーダ（オプション）から用紙を給紙します。 印刷位置に用紙がある状態でスイッチを押すと、排紙します。

ポイント

用紙ガイドから給紙する場合は［給紙 / 排紙］スイッチを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込むと用紙は自動給紙されます。

スイッチを 2 つ以上同時に押す場合

操作パネルのスイッチを 2 つ以上同時に押すと、スイッチを単独で押した場合の機能とは異なる機能を実行できます。

スイッチ	機能
［シフト］＋［印刷可］	バッファをクリアします。
［シフト］＋［改行 / 改ページ］	印刷位置を微調整します。
［シフト］＋［給紙 / 排紙］	
［改行 / 改ページ］＋［電源］	セルフテストを行います。
［給紙 / 排紙］＋［電源］	
［改行 / 改ページ］＋［給紙 / 排紙］＋［電源］	16 進ダンプ印刷します。

プリンタの準備

プリンタの設置

設置上のご注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

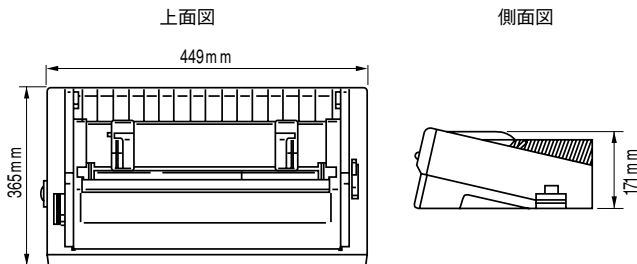
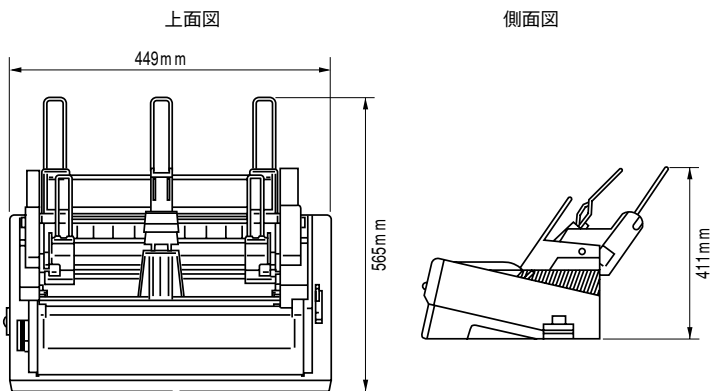
水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所

本プリンタは精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所	温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
火気のある場所	水に濡れやすい場所	揮発性物質のある場所	冷暖房機具に近い場所
震動のある場所	加湿器に近い場所		

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

設置スペースに関するご注意

- 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上にプリンタを設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本プリンタの外形寸法は次の通りです。

カットシートフィーダ A/B（VP870CSFA ＋VP870CSFB）取り付け時

取り扱い上のご注意

> ⚠注意　プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、しばらく触らないでください。

- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中はプリンタカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源をオフにしないでください。
- インクリボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

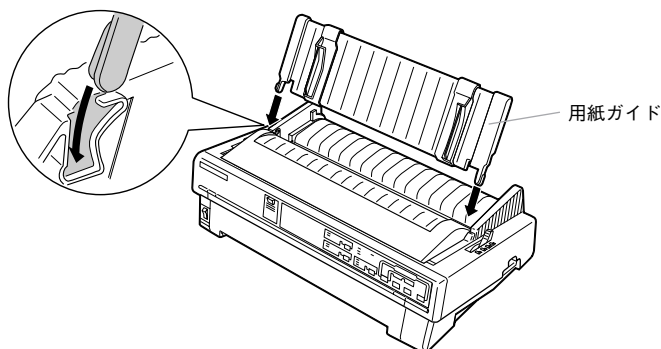
付属品の取り付け

付属品などを取り付けてプリンタをセットアップします。付属品の取り付けは、プリンタの電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

用紙ガイド（後）の取り付け

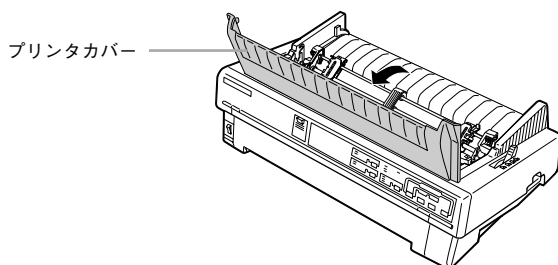
用紙ガイド（後）は単票紙やハガキをセットするときに使用します。連続紙をセットするときは、用紙ガイド（後）を起こさず寝かせた状態で使用します。

1 用紙ガイド（後）を取り付けます。

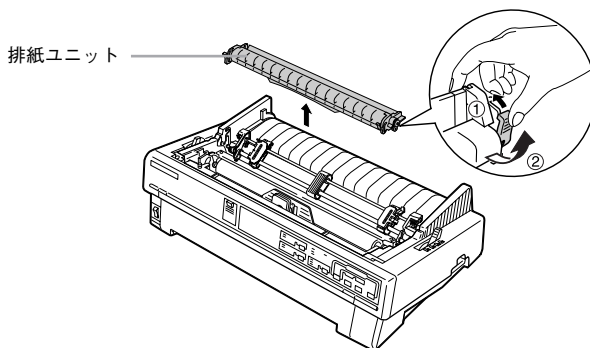
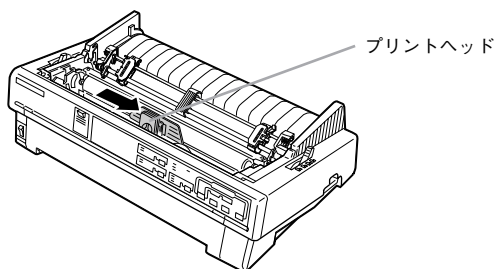
用紙ガイド（後）を両手で持ちます。図のようにプリンタの溝にはめ込み下方に倒して固定します。

リボンカートリッジの取り付け

- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源がオンの状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源がオフの状態で行ってください。

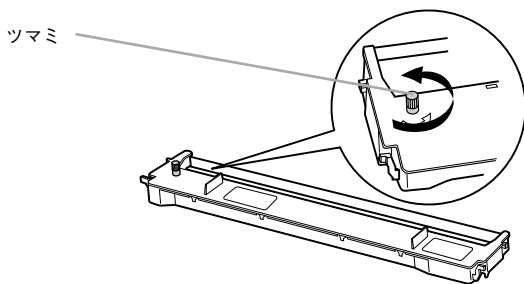
1 **プリンタカバーを開けます。**

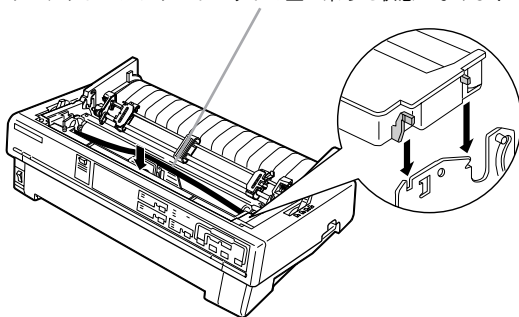
ゆっくりと手前に起こして開けます。

細部をご覧いただくために、以降のイラストはプリンタ カバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

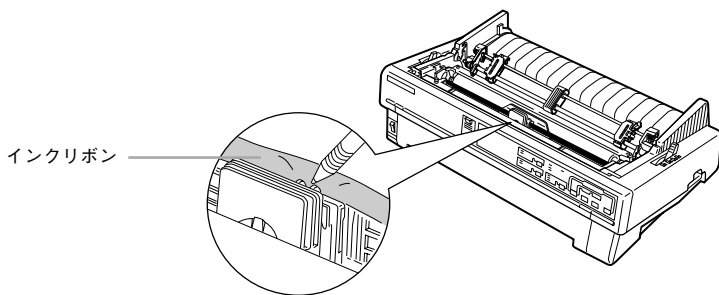
2 **排紙ユニットを取り外します。**

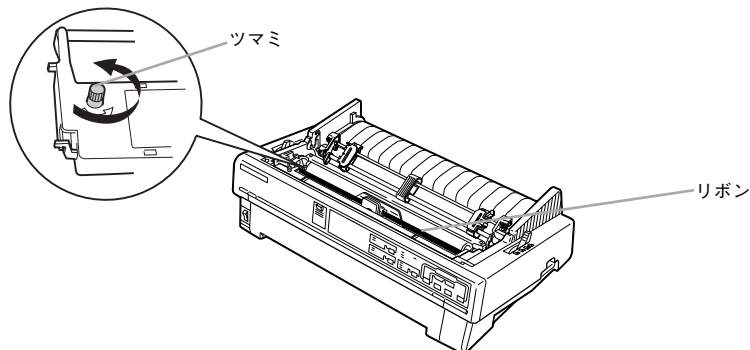
排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

3 **プリントヘッドを手で中央に移動します。**

⚠注意　プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドには、しばらく触らないでください。

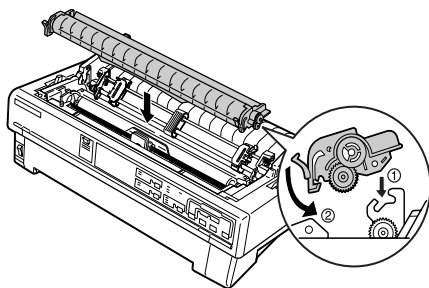
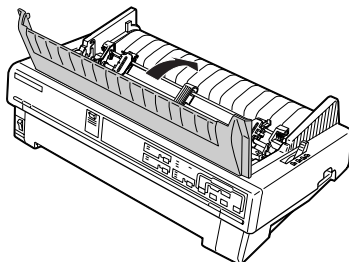
4 リボンカートリッジを袋から取り出してリボンのたるみを取ります。

ツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

5 リボンカートリッジを取り付けます。

プリンタ両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

6 インクリボンをプリントヘッドの奥（印刷面側）に送り込みます。

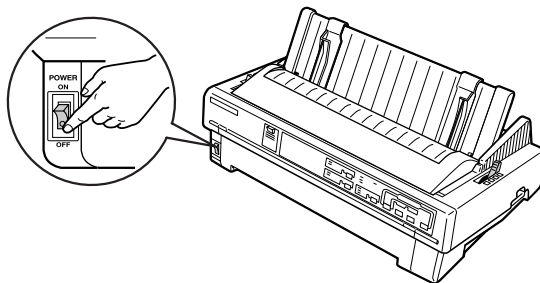
リボンカートリッジのツマミを回しながらボールペンなどを使って、奥側に送り込みます。

7 **リボンのたるみを取ります。**

再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

8 **排紙ユニットを取り付けます。**

排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

9 **プリンタカバーを閉じます。**

以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。次に電源と接続します。

電源との接続

> ⚠注意　本書 4 ページ「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。

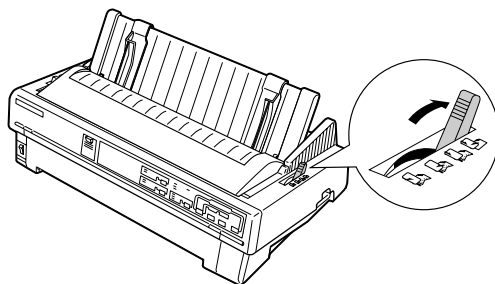
1. ［電源］スイッチがオフ（○）になっていることを確認します。

2. AC100V のコンセントに電源ケーブルのプラグを正しく差し込みます。

- プリンタの電源をオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オフ / オンの間隔が短かすぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源をオフにしないでください。

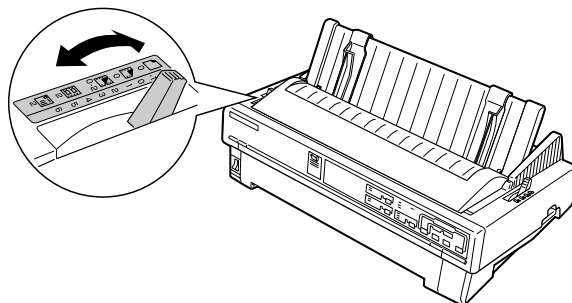
動作の確認

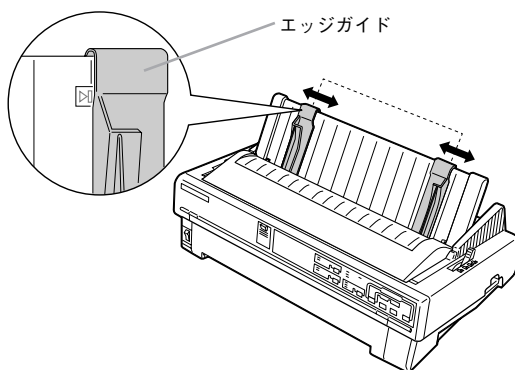
付属品の取り付けが終わったら、プリンタの動作や印刷の状態を確認します。本機は、プリンタが正常に動作するかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。以下の手順で印字パターンの印刷ができれば、本機は正常に機能しています。動作の確認は、コンピュータと接続しない状態で行います。

動作の確認をするには、A4 サイズの単票紙が必要です。A4 より小さいサイズを使用すると用紙をはみ出して印刷します。

1 レリースレバーを奥側に倒して、単票紙給紙（ ）に切り替えます。

2 アジャストレバーを「0」に設定します。

１枚の単票紙に印字する場合は「0」に設定してください。それ以外の用紙に印字する場合は、以下のページを参照してください。

本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

3 **エッジガイドの位置を調整します。**

用紙ガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせてから、エッジガイド（右）をA4縦の単票紙の幅に合わせます。

左右のエッジガイドの間で用紙がなめらかに動くようにエッジガイドの位置を合わせてください。

4 **[改行 /改ページ]または[給紙 / 排紙]どちらかのスイッチを押しながら[電源]スイッチをオンにします。**

[改行 / 改ページ]：英数カナ文字モードになります。

[給紙 / 排紙]：漢字モードになります。

ブザーが3回鳴り、電源ランプと用紙チェックランプが点灯したら［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］スイッチを放してください。

5 **単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。**

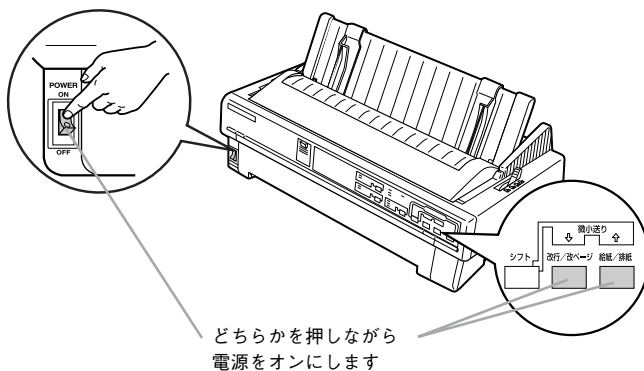
エッジガイドに沿って、A4 縦の単票紙を差し込みます。
単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。

印刷結果の例は次のようになります（一部抜粋してあります）。
1 枚目には印刷開始位置（1 行目）と最終行を印刷します。

2 枚目にはプリンタの設定値と次のような印字パターンを印刷します。

（漢字モード）　　　　　　　　　　（英数カナ文字モード）

ポイント

- 印刷中に［印刷可］スイッチを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。
- 1 枚目の印刷が終了し、続いて 2 枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

6 動作確認を終了します。

［印刷可］スイッチが押されるまで繰り返し印字を行います。

［印刷可］スイッチを押して印刷を中止し、［電源］スイッチをオフにします。

注 意

プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから再びオンにするときは、最低 5 秒待ってからオンにしてください。オン / オフの間隔が短かすぎるとプリンタの電源部が故障する恐れがあります。

ポイント

プリンタ内に用紙が残っているときは、［電源］スイッチをオフにする前に、必ず［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してください。

7 印刷の状態を確認します。

5 の印刷結果のように印刷されていればプリンタは正常に機能しています。

ポイント

- プリンタのセットアップ終了後、印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、この動作確認を行いプリンタの状態を確認してください。
  プリンタが正常に動作している場合は、インターフェイスケーブルやコンピュータの状態を確認してください。
- 手順通りに実行しても印刷できない、プリンタが動作しないときは、お買い上げの販売店またはエプソン修理窓口へご相談ください。修理に関するお問い合わせ先は 214 ページ「サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

次にコンピュータと接続します。

コンピュータとの接続

本機は、パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続することができます。
接続ケーブルは、お使いのコンピュータや接続環境によって異なるため、本機には同梱されていません。以下の説明を参照してご利用の環境に合ったケーブルをお買い求めください。

推奨ケーブル以外のケーブルを使用すると正常に印刷できない場合があります。

（2003 年 2 月現在）

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC-98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1
		EPSON PC シリーズNOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	*1*2
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2

*1 拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。
*2 ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

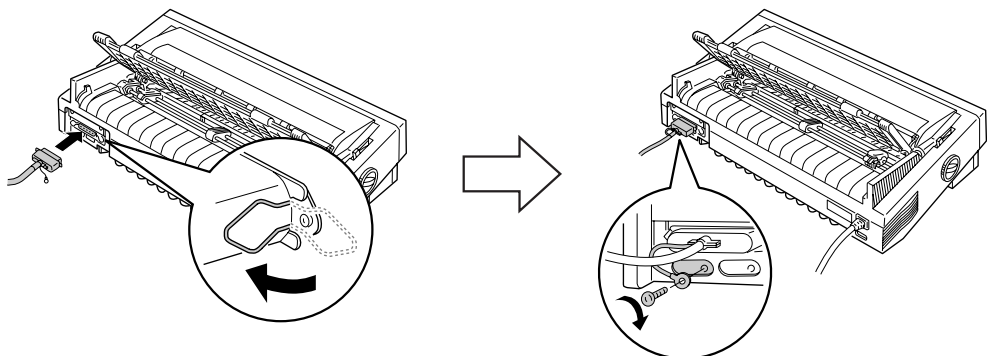
1 **［電源］スイッチをオフにします。**

プリンタの［電源］スイッチとコンピュータの［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。

2 **インターフェイスケーブルをプリンタに接続します。**

インターフェイスケーブルをプリンタ背面のインターフェイスコネクタにしっかり差し込み、左右のコネクタ金具を内側に倒して固定します。

ケーブルに FG 線（グランド線）* が付いているときは、コネクタの近くにある FG 線取り付けネジで接続します。

*FG（グランド）線 :プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線のこと。

3 **もう一方のコネクタをコンピュータのコネクタに差し込みます。**

以上でコンピュータとの接続は終了です。

次にご利用の環境に応じてコンピュータの準備をします。

本書 36 ページ「環境ごとのセットアップ方法」

環境ごとのセットアップ方法

プリンタをコンピュータに接続しただけではプリンタを正しく使用することはできません。コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションソフト側で使用するプリンタを設定し、ソフトウェア的にプリンタをコンピュータに認識させる必要があります。

Windows でお使いの場合

Windows 3.1/95（98/Me）/2000 で使用する場合は、本機に添付の EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください（Windows 98/Me は、Windows 95 用のプリンタドライバを代用することが可能）。前述以外の Windows で使用する場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。
インストール方法については、以下のページを参照してください。
本書 39 ページ「Windows でのセットアップ」
印刷の条件は、お使いのアプリケーションソフトあるいはプリンタドライバで設定します。
本書 52 ページ「プリンタドライバの設定」

DOS 環境

DOS 環境でお使いの場合、プリンタドライバなどのソフトウェアを別途インストールする必要はありません。お使いの DOS アプリケーションソフト上でプリンタ名を選択して印刷を実行します。印刷の条件は、アプリケーションソフト上またはプリンタのディップスイッチで設定します。
本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」

国内ソフトフェアでの設定

次の表の中の複数のプリンタが設定画面に表示されるときは、優先順位の高いプリンタを選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	VP-870
2	ESC/P24-J84
3	VP-850
4	ESC/P24-J83
5	VP-800

ポイント

- 用紙のページ先頭位置はソフトウェア上で選択したプリンタ名によってことなります。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- 表中のプリンタ名を選択しても正しく印刷できないときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー機能］を［OFF］に設定してください。
  本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」

ソフトウェア上に前ページの表のプリンタ名がないときには、次の表から選択します。

優先順位	プリンタ名
1	VP-135K（PC）
2	VP-130K（PC Ⅱ）
3	VP-130K（PC）
4	PC-PR201H

ポイント

- 表中の 4 機種の中からプリンタを選択したときは、プリンタ設定値の［ESC/P スーパー機能］の設定が［ON］になっていることを確認してください。
  本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」
- 用紙の給紙位置はソフトウェアで選択したプリンタによって異なります。

海外ソフトフェアでの設定

次の優先順位に従ってプリンタ名を選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	LQ-850
2	LQ-510
3	LQ-800
4	LQ-1500

ポイント

- エプソンの 9 ピンプリンタ（EX、FX、RX、MXシリーズなど）は選択しないでください。
- 用紙のページ先頭位置はソフトウェア上で選択したプリンタ名によってことなります。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- プリンタ設定値の［ESC/P スーパー機能］は［OFF］に、［文字コード表］は［拡張グラフィックス］に設定してください。
  本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」

Windows からの印刷

Windows でのセットアップ

ここではプリンタドライバのインストール手順について説明します。

Windows 3.1/95（98/Me）/2000 をお使いで、3.5 インチのフロッピーディスクからインストールする場合は、以下のページを参照してください。
本書 217 ページ「フロッピーディスクについて」

システム条件の確認

プリンタドライバの動作条件

対象 OS および空きハードディスクの最低条件は以下の通りです。

対象 OS*	Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0/2000/XP
空きハードディスク	Windows 3.1：10MB 以上 Windows NT3.51：20MB 以上 Windows 95（98/Me）/NT4.0/2000/XP：50MB 以上

* 各 OS の必要条件を満たしていること。
Windows 3.1/95（98/Me）/2000でお使いの場合は、同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください（Windows 98/Me は Windows 95 のプリンタドライバを代用することが可能）。前述以外の Windows をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。

本機は ECP モード、EPP モードには対応しておりません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS の設定をノーマルモードまたはスタンダードモードに変更してください。変更方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

プリンタソフトウェアのインストール

本機を使用するために必要なプリンタドライバをインストールします。
インストールの方法はお使いの環境によって異なります。

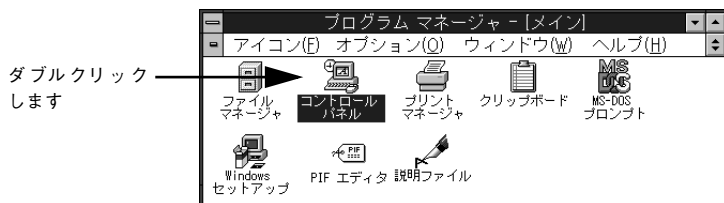
☞ 本書 40 ページ「Windows 3.1 の場合」
☞ 本書 43 ページ「Windows NT3.51 の場合」
☞ 本書 44 ページ「Windows 95（98/Me）/NT4.0/2000 でのインストール」
☞ 本書 47 ページ「Windows XP の場合」

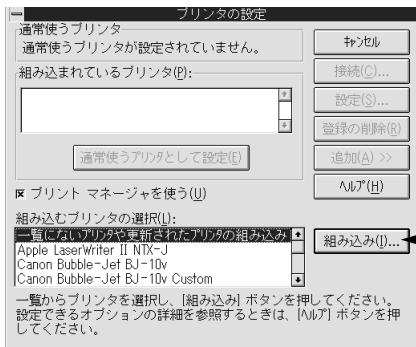
Windows 3.1 の場合

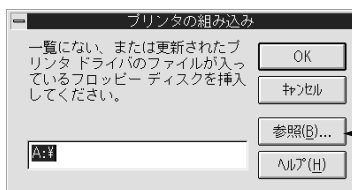
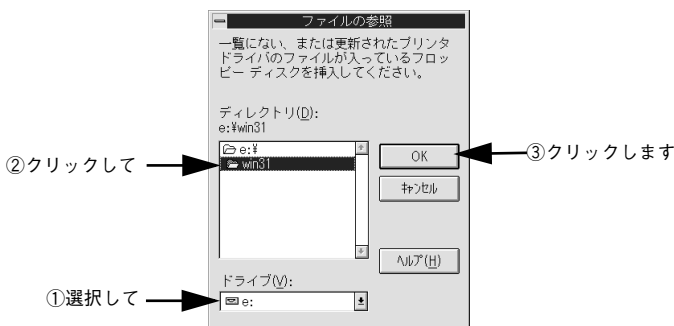
1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

お使いのパソコン独自のメニュー画面が表示される場合は、お使いのパソコンの取扱説明書を参照し、プログラムマネージャを表示してください。

3. メインウィンドウ内の［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックします。

4. ［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

5 ［組み込み］ボタンをクリックします。

6 EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

7 ［参照］ボタンをクリックします。

8 ［ドライブ］で EPSON プリンタドライバ・ユーティリティCD-ROM をセットしたドライブを選択し、［ディレクトリ］で［WIN31］フォルダをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

9 「EPSON ESC/P24(80)」をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

OS のセットアップディスクまたはインストールディスクの [ディスクの挿入] メッセージが表示された場合は、OS のインストールディスクをコンピュータにセットし、[OK] ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。

10 [終了] ボタンをクリックします。

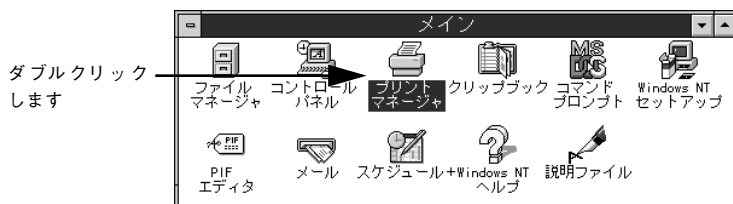
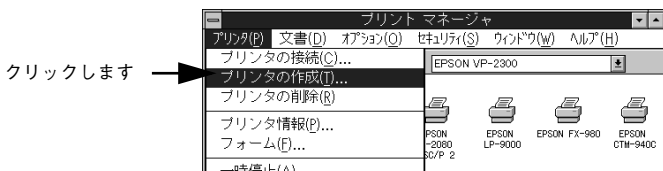
以上ですべてのセットアップは終了です。

Windows NT3.51 の場合

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

お使いのパソコン独自のメニュー画面が表示される場合は、お使いのパソコンの取扱説明書を参照し、プログラムマネージャを表示してください。

3. メインウィンドウ内の［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックします。

4. ［プリンタ］メニューから［プリンタの作成］をクリックします。

5. ［プリンタ名］を入力し、お使いのプリンタのプリンタドライバを選択して［OK］ボタンをクリックします。

OS のセットアップディスクまたはインストールディスクの［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、OS のインストールディスクをコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。

6. 給紙方法や用紙サイズを選択する画面が表示されたら、使用する給紙方法、用紙に合わせて設定し、［OK］ボタンをクリックします。

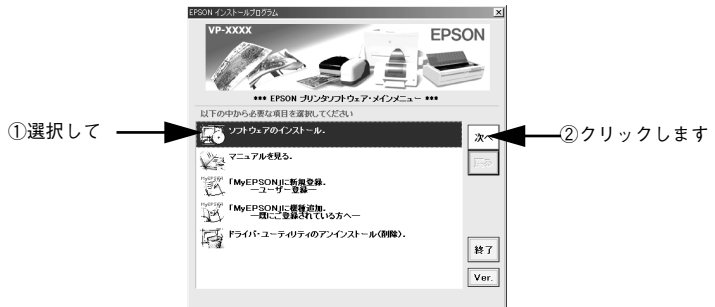
以上ですべてのセットアップは終了です。

Windows 95（98/Me）/NT4.0/2000 でのインストール

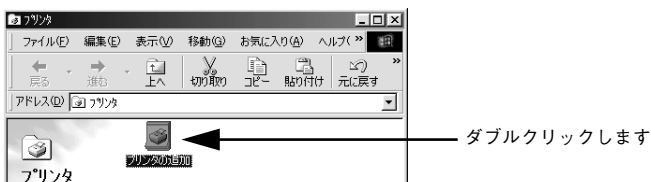
1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

ポイント

- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators グループ）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows 2000 環境でお使いの場合は、EPSON プリンタドライバ・ユーティリティCD-ROM からプリンタドライバをインストールすることができます。EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットして、以下の画面が表示されたら［ソフトウェアのインストール］を選択して、［次へ］ボタンをクリックしてください。

3. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

4 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

この後は、画面の指示に従ってプリンタドライバをインストールします。
Windows NT4.0 は、OS に標準搭載されているプリンタドライバを選択してください。

Windows 95（98/Me）/2000 は、EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM の以下のフォルダに収録されています。

セット先 ドライブ例	Windows 95* （Windows 98/Me）	Windows 2000
D ドライブ	D:¥WIN95	D:¥WIN2000
E ドライブ	E:¥WIN95	E:¥WIN2000

* Windows 98/Me は Windows 95 用プリンタドライバを代用することが可能。

Windows 95（98/Me）/2000 は、以下のプリンタを選択します。

	Windows 95 （Windows 98/Me）	Windows 2000
選択するプリンタ名	EPSON ESC/P24（80）*	EPSON VP-870

*「EPSON ESC/P24（80）」が表示されない場合は「EPSON VP-870」を選択してください。

再起動を促すメッセージが表示された場合は、Windows を再起動してください。

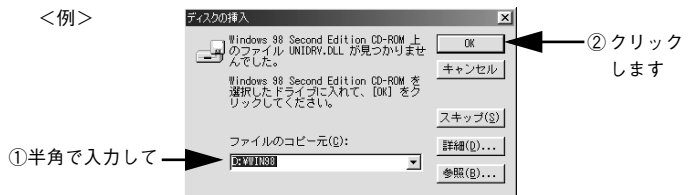
ポイント

- Windows 2000 をお使いの場合は、[デジタル署名が見つかりませんでした]などのダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストールを進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。
- オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）を要求する画面が表示された場合は、画面に従って以下の手順でインストールを進めてください。

❶ オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）をコンピュータにセットし、[OK] ボタンをクリックします。

<例> Windows 98 Second Edition の場合

❷ 以下の画面が表示されたら、セットした CD-ROM（または FD）のドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、[OK] ボタンをクリックします。

<例>

❸ 画面の指示に従ってインストールを進めてください。

以上ですべてのセットアップは終了です。
Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 49 ページ「印刷手順」

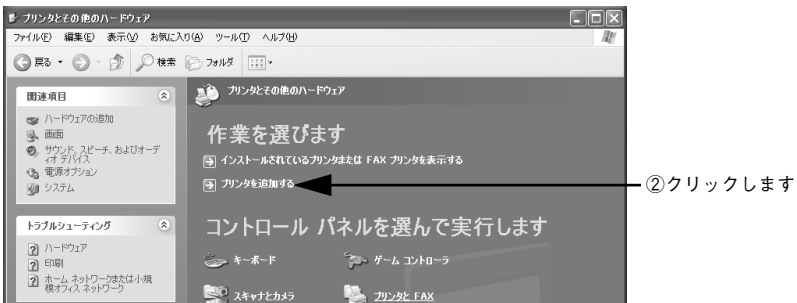
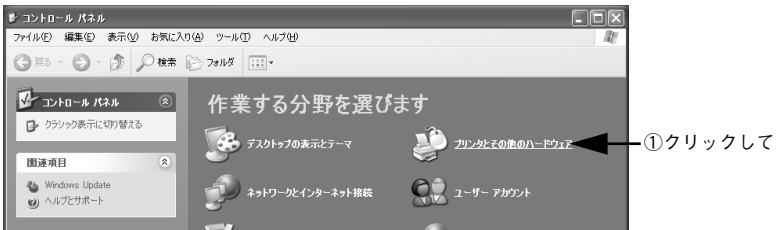
Windows XP の場合

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

> ポイント
> 管理者権限（Administrators グループ）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。

3. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

4. [コントロールパネル] の [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[プリンタを追加する] をクリックします。
プリンタの追加ウィザードが起動します。

次の画面が表示された場合は、[プリンタと FAX] アイコンをダブルクリックします。

この後は、画面の指示に従って、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。
再起動を促すメッセージが表示された場合は、Windows を再起動してください。
以上ですべてのセットアップは終了です。
Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。
本書 49 ページ「印刷手順」

印刷手順

ここでは、Windows （Windows 3.1/NT3.51 を除く）に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

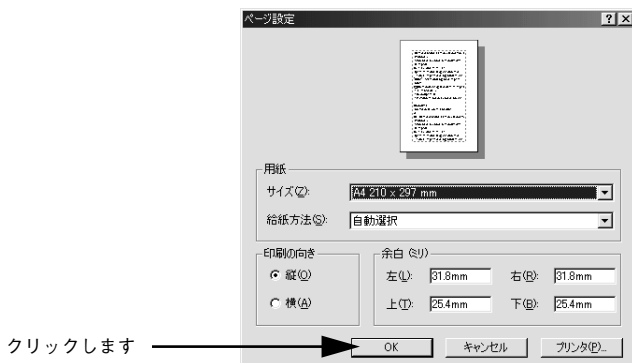
プリンタドライバはインストールされていますか？インストールされていない場合は、以下のページを参照してプリンタドライバをインストールしてください。
本書 40 ページ「プリンタソフトウェアのインストール」

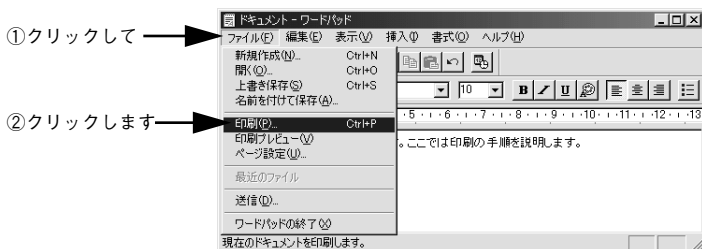
1 ワードパッドを起動します。

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ［ワードパッド］をクリックします。
すでに存在するファイルを印刷する場合は、ファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトを起動し、4 に進みます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

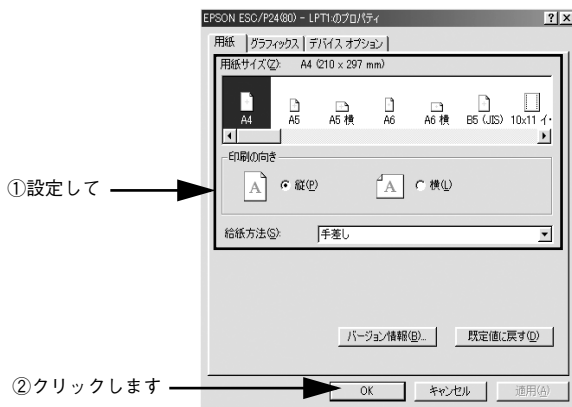
［ページ設定］ダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 **印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

4 **印刷するデータを作成します。**

5 **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。**

6 **お使いの機種が選択されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。**
プリンタドライバを設定する必要がなければ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

7 **各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。**

通常は、［用紙］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 54 ページ「プリンタドライバの設定項目」

［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

8 **［OK］ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

以上で印刷の操作は終了です。

プリンタドライバの設定

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

プリンタドライバの設定方法

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は 2 通りあります。開き方によって設定できる項目が異なります。

＜例＞ Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows 98 で［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバを開く方法は、アプリケーションによって異なります。標準的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダでのプリンタドライバの設定値は、アプリケーションソフトからプリンタドライバを開いた際の初期値になります。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
- Windows XP の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
  ［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2へ進みます。
  ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
  ③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

2 お使いの機種のアイコンを右クリックしてから、Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］または［プロパティ］と表示されるダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックします。

- プリンタドライバの設定項目の詳細については、以下のページを参照してください。

本書 54 ページ「プリンタドライバの設定項目」

- Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。

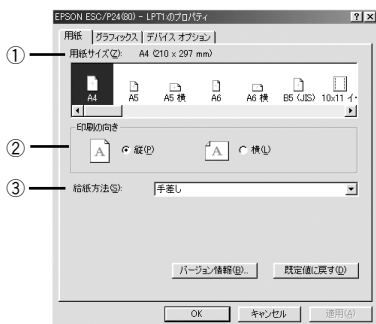
プリンタドライバの設定項目

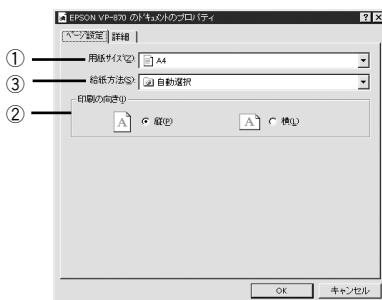
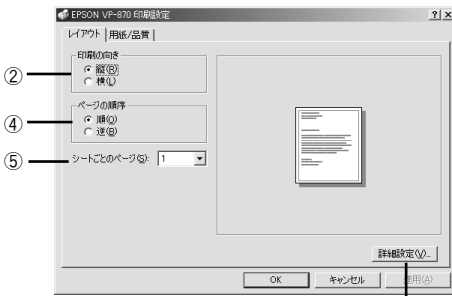
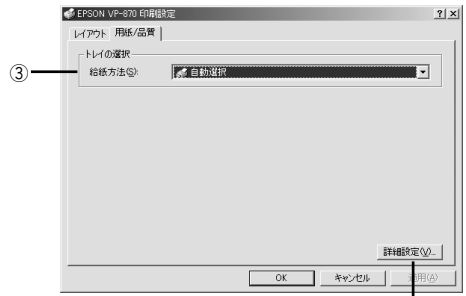
印刷を実行する前に、給紙方法、用紙サイズなどお使いのプリンタ固有の機能をプリンタドライバで設定します。

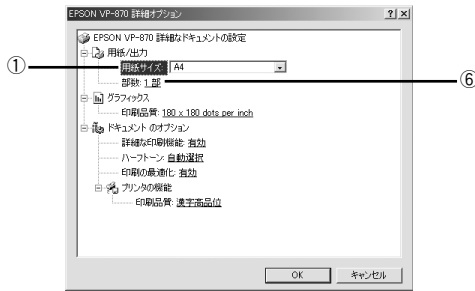
Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

用紙サイズ、給紙方法の設定

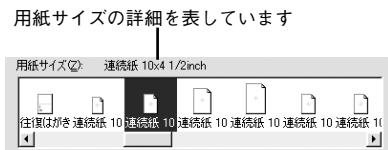
用紙サイズや給紙方法の設定は、次の画面で行います。

Windows 95（98/Me）

Windows NT4.0

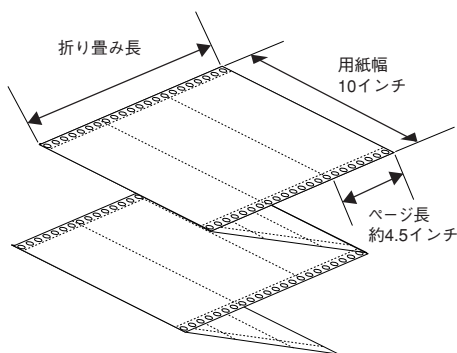
［ページ設定］ダイアログ

Windows 2000/XP

［レイアウト］ダイアログ　　　　　　　　　　［用紙 / 品質］ダイアログ

クリックして表示します

［詳細オプション］ダイアログ

① 用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書のサイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。

用紙サイズの詳細を表しています

印刷したい連続紙の用紙サイズ（用紙幅）が登録されていない場合は、ページ長が同じものを選択してください。同じものがない場合は、ユーザー定義サイズで登録してください。

☞ 本書 60 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

- 「連続紙 10 × 4 1/2inch」とは、以下の状態のことを示します。

- 上記の選択肢は「ページ長が約 4.5 インチ」であることを示しますので、用紙の折り畳み長や、折り畳み枚数の単位が異なっても設定できます。
- 「10 × 4 1/2inch 連続紙」などの帯分数は、「4 ＋ 1/2 インチ」のページ長であることを示します。
- 4 インチ未満で折り畳まれた連続紙を使用すると紙送り精度に影響します。連続紙のページ長が 4 インチ未満の場合は、複数ページ毎に折り畳まれ、折り畳み長が 4 インチ以上の連続紙を使用してください。

② 印刷の向き

印刷する方向を縦・横のどちらかをクリックして選択します。
使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

③ 給紙方法

給紙方法一覧から、用紙の給紙方法（装置）を選択します。

手差し	単票紙をプリンタの用紙ガイドから手差し給紙する場合に選択します。
プッシュトラクタ/プルトラクタ/トラクタフィーダ	連続紙をプッシュトラクタまたはプルトラクタを使用して給紙する場合に選択します。
カットシートフィーダ / ビン #1	単票紙をカットシートフィーダ A から給紙する場合に選択します。
カットシートフィーダ / ビン #2	単票紙をカットシートフィーダ B から給紙する場合に選択します。
自動選択 （Windows NT4.0/2000/XP のみ）	［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダでのプリンタドライバで設定されている給紙方法に従います。

Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］をクリックすると表示されます。

④ ページの順序（Windows 2000/XP のみ）

印刷するページの順序を選択します。

順	最初のページから順番に印刷します。
逆	最後のページから順番に印刷します。

⑤ シートごとのページ（Windows 2000/XP のみ）

1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを指定します。たとえば、1 を指定すると、1 枚の用紙に 1 ページが印刷され、2 を指定すると 1 枚の用紙に 2 ページ分が並べて印刷されます。

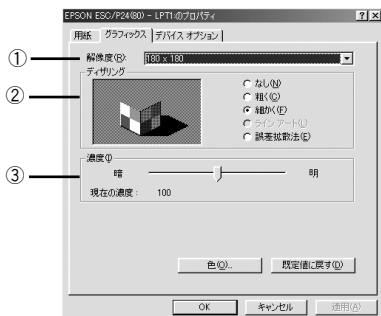
⑥ 部数（Windows 2000/XP のみ）

印刷する部数を指定します。2 部以上印刷するときは、部単位で印刷するかどうかを指定できます。部単位で印刷する場合は、1 部ごとに連続したページが印刷されます。部単位で印刷しない場合は、ページごとに部数分ずつ印刷します。

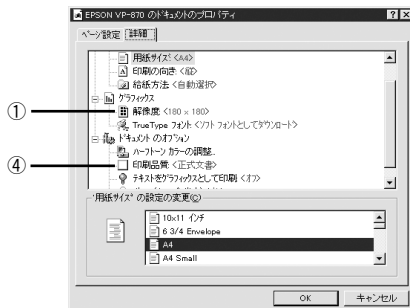
グラフィックス、印刷品質の設定

グラフィックイメージの印刷に関する設定は、以下の画面で行います。

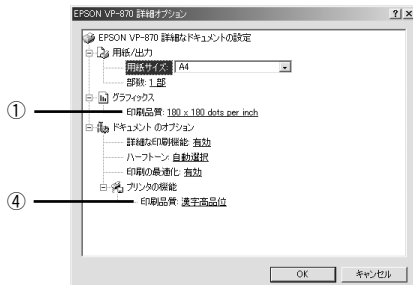
Windows 95（98/Me）

［グラフィックス］ダイアログ

［デバイスオプション］ダイアログ

Windows NT4.0

［詳細］ダイアログ

Windows 2000/XP

［用紙 / 品質］ダイアログ

［詳細オプション］ダイアログ

① 解像度または印刷品質

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。
解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。
一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

*　dpi（Dots Per Inch）：1インチ当たりのドット数

② ディザリング（Windows 95（98/Me）のみ）

グラフィックイメージの細かさを設定します。ディザリング処理をすることで、グレースケールや中間色を疑似的に表現できます。

なし	ディザリング処理をしません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。
粗く	粗いディザパターンイメージを用いて処理します。粗くして印刷した紙をコピーすると、中間色がつぶれて真っ黒になってしまいますので、コピーを取る場合はディザリングは［粗く］にしないことをお勧めします。
細かく	細かいディザパターンイメージを用いて処理します。
ラインアート	黒、白、グレー階調の間にくっきりとした境目があるグラフィックスを印刷するときに適しています。
誤差拡散法	写真のような無段階に階調（色調）が変化する画像に適した処理です。細かい微妙な部分まで表現できるようになります。

③ 濃度（Windows 95（98/Me）のみ）

グラフィックスの明暗を増減するときに使用します。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へスクロールバーのつまみをドラックするか、つまみの左右をクリックします。

④ 印刷品質

「漢字高品質（正式文書）」または「漢字高速印字（ドラフト）」のどちらかを選択します。
「漢字高速印字（ドラフト）」印刷よりも「漢字高品質（正式文書）」の方が表現力のある高品質な印刷結果になりますが、印刷時間は長くなります。

用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

Windows 95/98/Me の場合

1 **プリンタドライバの［用紙］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

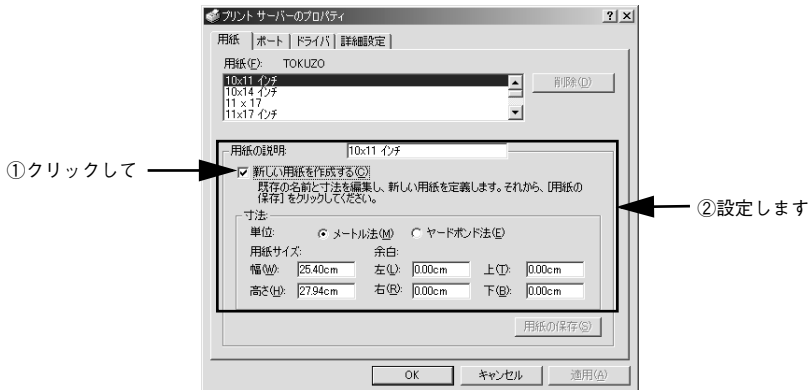
2 **登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［OK］ボタンをクリックします。**
数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

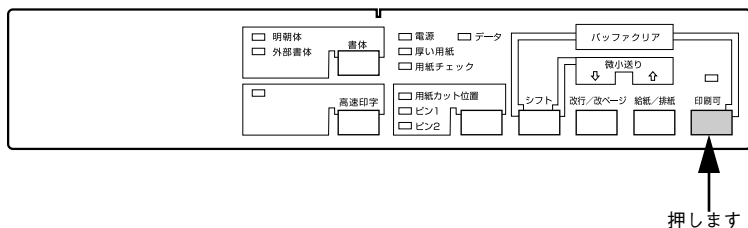
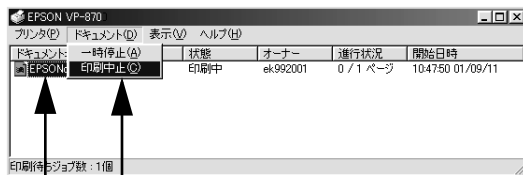
1. ［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダ内の本機のアイコンをクリックしてから [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] を選択します。

2. ［新しい用紙を作成する］チェックボックスをチェックしてから、以下の項目を設定します。

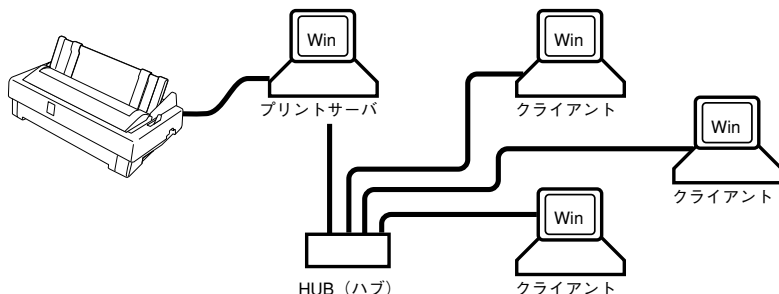
用紙の説明：テキストボックスに登録する用紙の名称を入力します。ここで入力した名称がユーザー定義の用紙サイズの名称になり、プリンタドライバの［用紙サイズ］一覧に表示されます。

寸法：　単位と用紙サイズを設定します。

3. 入力が終了したら、［用紙の保存］または［OK］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

1. **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

2. **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**
   削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

プリンタを共有するには

Windows（Windows 3.1/NT3.51 を除く）の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

☞ 本書 64 ページ「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
☞ 本書 68 ページ「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP）」

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 69 ページ「クライアントの設定」

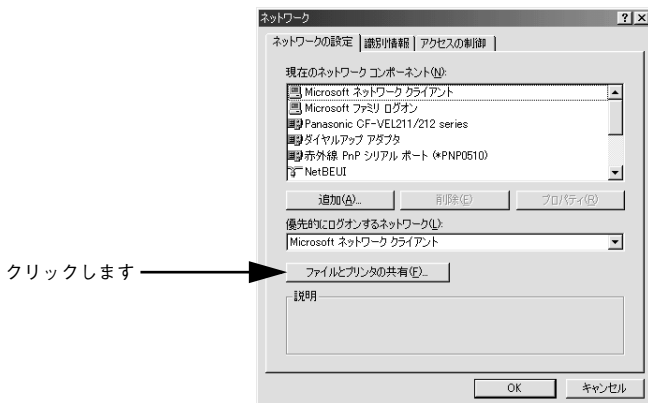
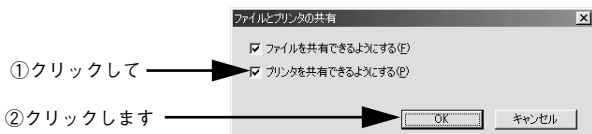
- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 同梱 CD-ROM に収録されているプリンタドライバを使用する Windows 95/2000 と、OS 標準搭載のプリンタドライバを使用する Windows NT4.0/XP が混在する環境の場合、各プリンタドライバの用紙仕様などが異なるためサーバとクライアント間でデータの受け渡しが正しく行えない場合があります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）

Windows 95/98/Me でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4. ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- OS のセットアップディスクまたはインストールディスクの［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 お使いのプリンタのアイコンをクリックして、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照して設定ください。

本書 69 ページ「クライアントの設定」

プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP）

Windows NT4.0/2000/XP のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

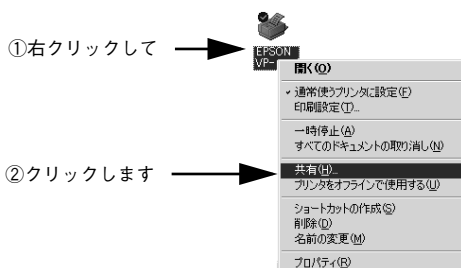
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

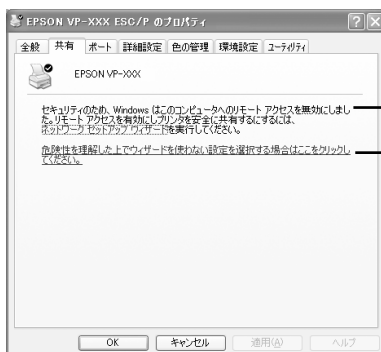
- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 お使いの機種のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

ポイント

Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

ポイント

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- ［代替ドライバ］/［ほかのバージョンのWindows のドライバ］は選択しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。

本書 69 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

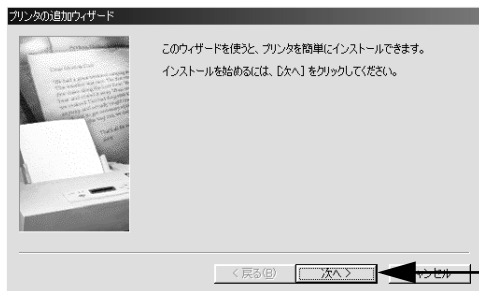
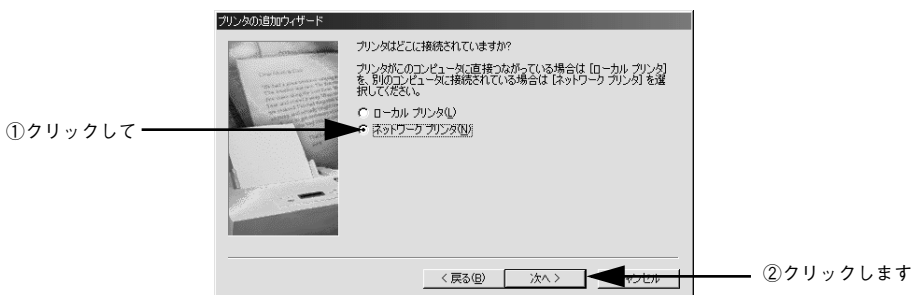
ポイント

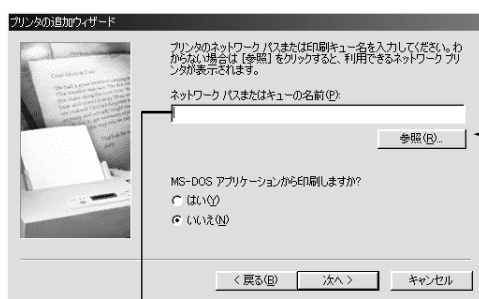
Windows NT4.0/ 2000/XP の場合、管理者権限のあるユーザー（Administrators）でログオンする必要があります。

Windows 95/98/Me クライアントでの設定

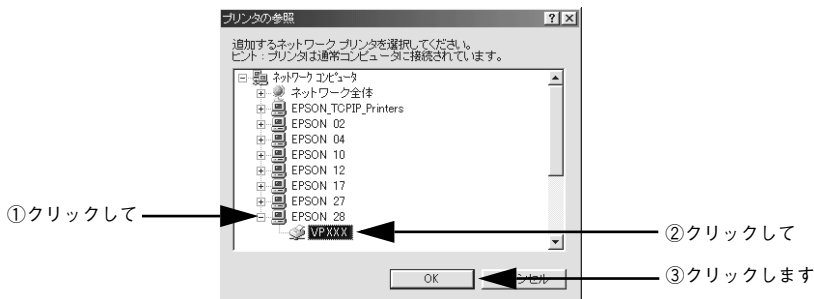
Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

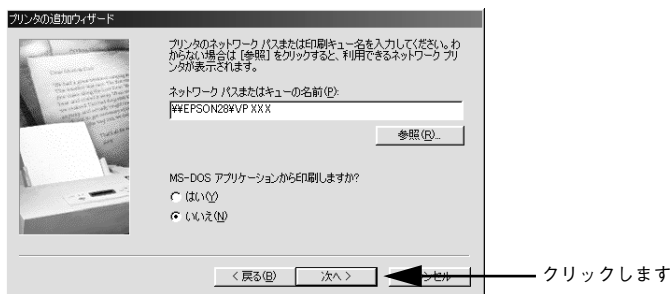
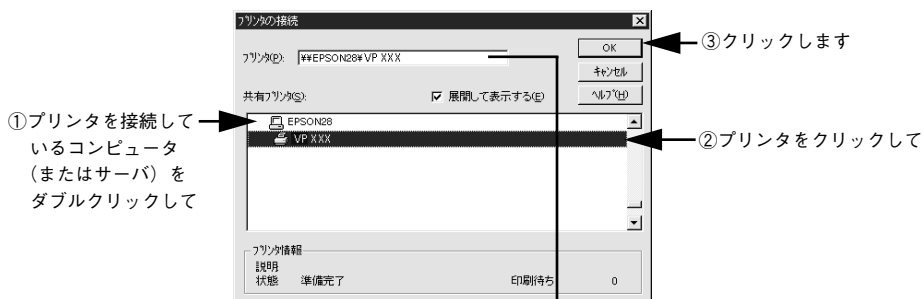
1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

この後は、77 ページの 5 に進みます。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

❹ プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

この後は、77 ページの ❺ に進みます。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

- Windows 2000 の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

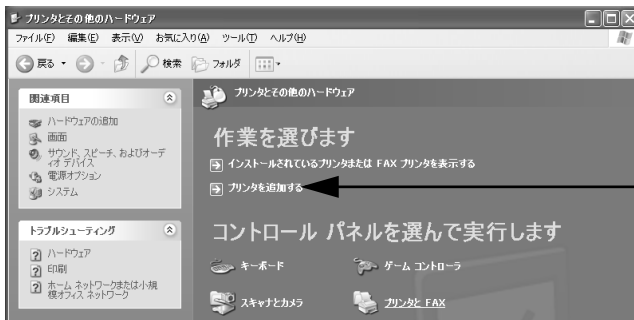
- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

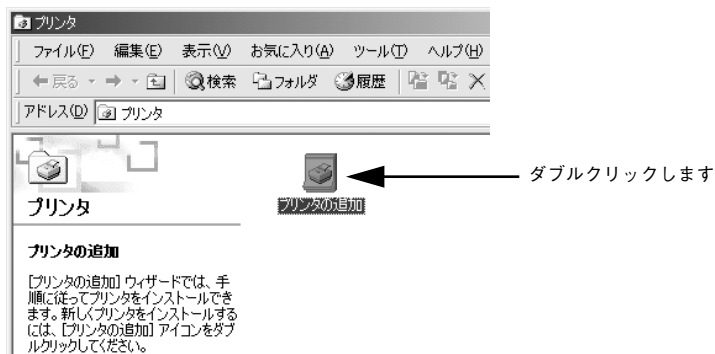
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

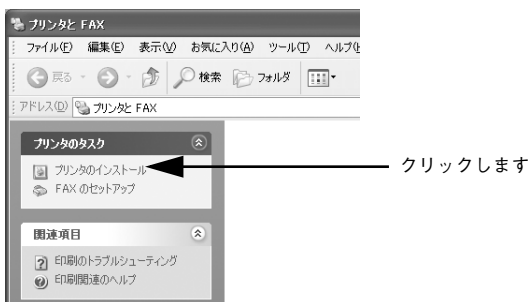
ポイント

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

2 **プリンタの追加ウィザードを起動します。**

- **Windows 2000 の場合**

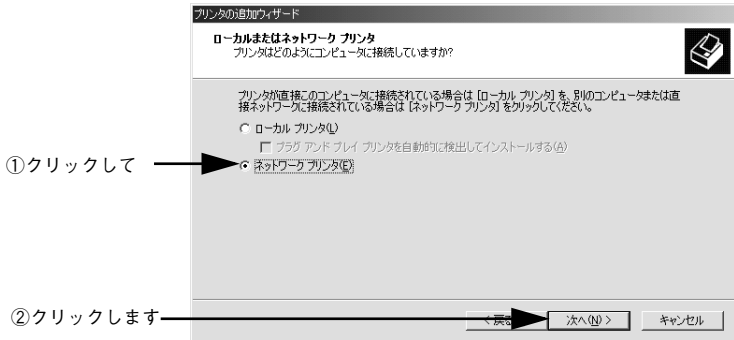
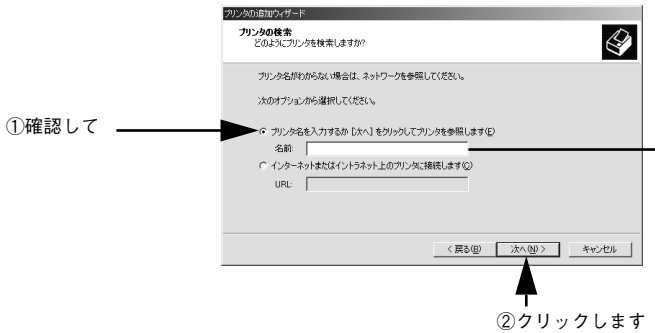
① [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

- **Windows XP の場合**

① [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

3 **使用する共有プリンタを探します。**

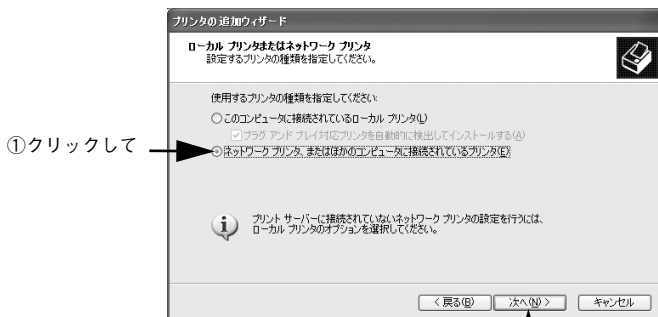
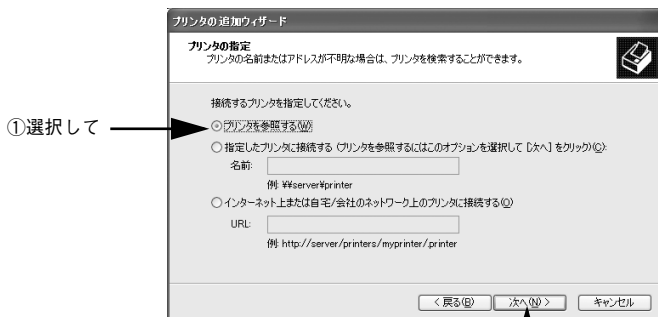
- **Windows 2000の場合**

①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

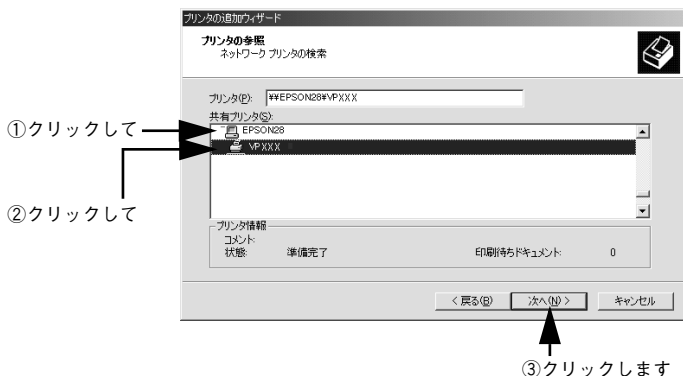
ポイント

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は、[指定したプリンタに接続する] をクリックして [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

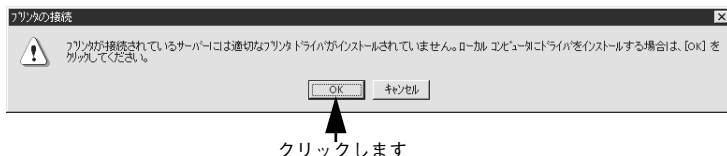
4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例>Windows 2000

ポイント

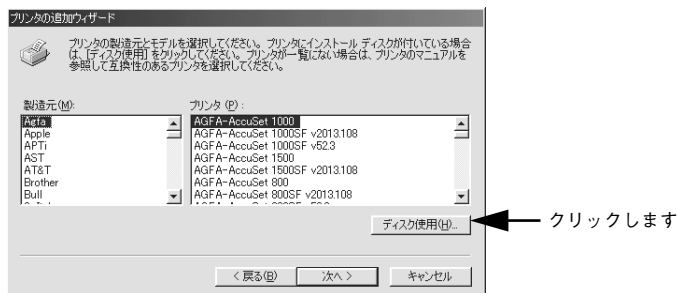
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

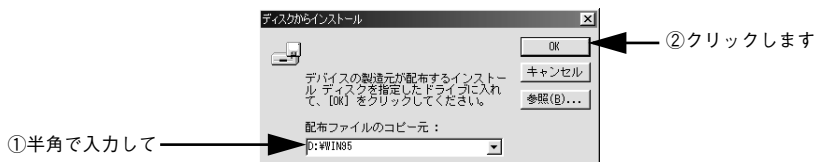
5 ［OK］ボタンをクリックします。

クリックします

ポイント

プリンタを直接接続しているコンピュータにプリンタドライバがインストールされていて、そのコンピュータとお使いのコンピュータの OS が同じ場合、プリンタドライバは自動的にインストールされ、上の画面は表示されません。また、以降の手順も必要ありません。

❻ お使いのプリンタを選択します。

Windows NT4.0/XP の場合は、表示されるプリンター覧からお使いのプリンタ名を選択して ❿ へ進みます。
Windows 95（98/Me）/2000 の場合は、以下の画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。
EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMからプリンタドライバをインストールします。

❼ EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

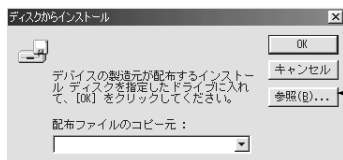
❽ プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

セット先 ドライブ例	Windows 95* （Windows 98/Me）	Windows 2000
D ドライブ	D:¥WIN95	D:¥WIN2000
E ドライブ	E:¥WIN95	E:¥WIN2000

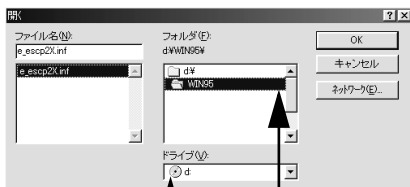
* Windows 98/Me は、Windows 95 用プリンタドライバを代用することが可能。

以下のプリンタを選択します。

	Windows 95* （Windows 98/Me）	Windows 2000
選択するプリンタ名	EPSON ESC/P24（80）	EPSON VP-870

*「EPSON ESC/P24（80）」が表示されない場合は「EPSON VP-870」を選択してください。

入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

<例>

Windows 2000 をお使いの場合は、インストールの途中で［デジタル署名が見つかりませんでした］というダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］ボタンをクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

9 **お使いのプリンタ名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

10 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

プリンタ接続先の設定

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。パラレルケーブルで接続している場合は、インストール時の設定で使用できますので変更は不要です。シリアルケーブル接続の場合は、COM ポートに設定します。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能設定を確認してください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
  ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 **設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

［詳細］/［ポート］タブをクリックして設定を変更します。

変更後［OK］ボタンをクリックすると設定は終了です。

＜Windows 95/98/Me の場合＞　　＜Windows 2000 の場合＞

ここで説明する以外の項目については、通常設定変更する必要はありません。

① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を選択します。表示されるポートの種類は、ご利用のコンピュータによって異なります。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのポートに接続した場合は、LPT1 の設定でご使用ください。

PRN	EPSON PC シリーズ /NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
LPT	通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。
COM	シリアルポートに接続している場合に選択します。このポートに接続する場合は、シリアルポートの通信設定とプリンタの通信設定を合わせる必要があります。
EPT	EPSON プリンタでは使用しません。
FILE	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。
¥¥サーバ名など ¥プリンタ名など	ネットワーク上のパスを指定したポートです。パスによって指定されたネットワークプリンタに出力します。

②［ポートの追加］

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

③［ポートの削除］

ポートの一覧から印刷先のポートを削除するときにクリックします。

使用可能な用紙と給排紙

使用可能な用紙

本機では一般的な連続紙や単票紙のほかに、複写紙やラベル、ハガキなどの用紙も使用できます。説明をよくお読みいただき正しい用紙をご使用ください。

- カットシートフィーダ（オプション）で使用できる用紙の詳細については、以下のページを併せてお読みください。
  本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下の項目をご参照ください。
  本書 161 ページ「用紙詰まりの予防」
- Windows NT3.51/NT4.0/XP でお使いの場合、OS 標準搭載のプリンタドライバを使用するため、使用できる用紙サイズ等に制限があり、プリンタドライバに表示される用紙しか使用できません。

連続紙（連続複写紙）

- プッシュトラクタでプリンタ前面、後方から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、底面から給紙します。
- 上質紙*、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 最大 4 枚までの複写紙（オリジナル +3 枚）を使用することができます。
- スプロケット穴は真円形のものを使用してください。
- 再生紙は一般室温環境（温度 15 ～ 25℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。

* 上質紙：上質紙や事務用普通紙（複写紙などで使用するもの）を総称して表記します。

- 用紙の表面に、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 綴じ穴は、直径 5mm 以下のものをご使用ください。

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	101 ～254mm｛4～ 10 インチ｝	
折り畳み長	101 ～558.8mm｛4～ 22 インチ｝	
用紙厚	0.065 ～0.32mm	
用紙連量 *	45～ 70kg （坪量 52.3～ 82g/m²）	34 ～50kg < 1 枚当たり > （坪量40 ～ 58.2g/m²）

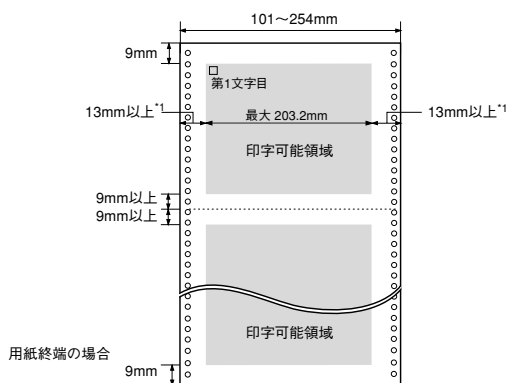
* 連量：四方判（788x1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

連続複写紙の推奨組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43
2 枚目	―	43	34	34
3 枚目	―	―	43	34
4 枚目	―	―	―	43

印字領域

以下の領域に印刷することができます。

*1 用紙幅が 229.2mm より大きい場合は、余白が広くなります。

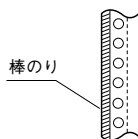
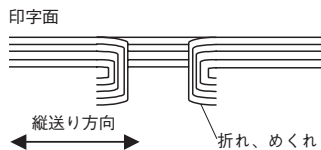
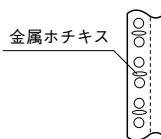
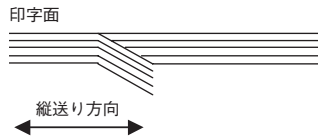
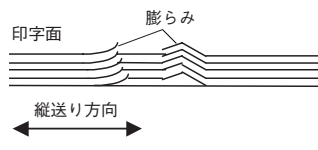
連続複写紙の綴じ方

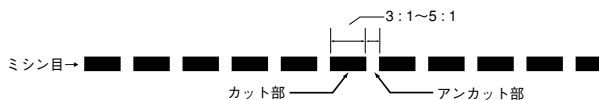
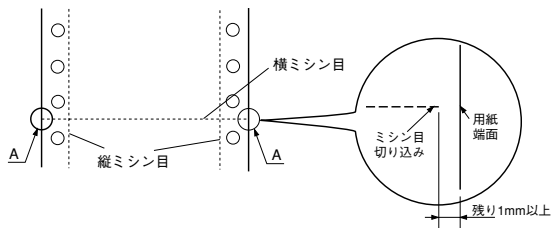
複写紙を使用する場合は、必ず以下の綴じ方の連続紙を使用してください。本機で最も推奨する綴じ方は両側点のり綴じ（千鳥綴じ）です。

名称	両側点のり綴じ （千鳥綴じ）	両側紙ホチキス綴じ （ダブルギャザー）	片側点のり綴じ（千鳥）＋ 片側紙ホチキス綴じ （ダブルギャザー）
綴じ方	25.4mm(1インチ)以下	76.2mm(3インチ)以下 印字面	25.4mm(1インチ)以下 76.2mm(3インチ)以下 印字面

注意

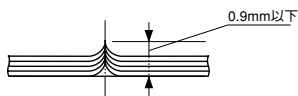
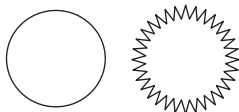
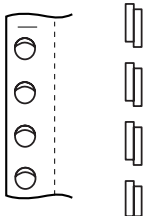
次の綴じ方をしている用紙や、折れ、めくれ、印字面への膨らみのある用紙は使用しないでください。

- 棒のり綴じ
- 金属ホチキス
- 紙ホチキス（シングルギャザー）
- 片側のみ綴じたもの（片側フリー）
- テープホチキス

ミシン目の入れ方

- ミシン目のカット、アンカットの比率は約３：１～５：１としてください。

- 横ミシン目の両端部Aのアンカット寸法は1mm以上としてください。

- 縦ミシン目と横ミシン目との交点はカットしないでください。

折り畳み部分のふくらみ

連続紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、0.9mm 以下のものを使用してください。

スプロケット穴の形状

スプロケット穴の形状は以下のような真円形のものを使用してください。

スプロケット穴の形状

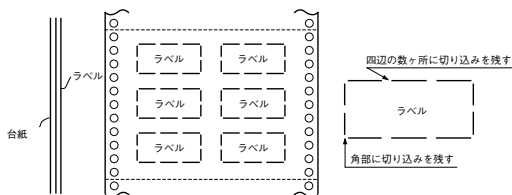
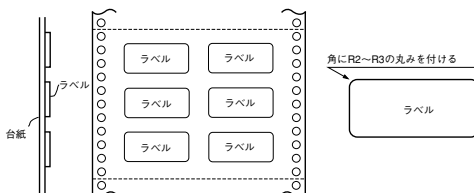
ラベル連続紙

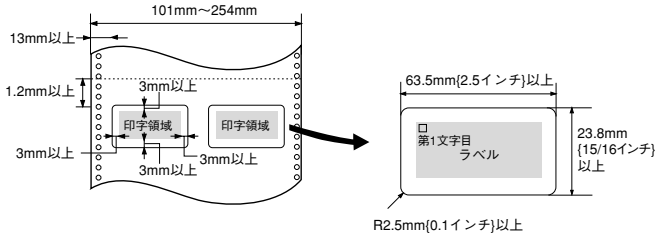
- ラベル紙は、プッシュトラクタでプリンタ前面から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、底面から給紙します。プリンタ後方から給紙することはできません。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- プリンタ底面または後方からラベル紙を引き抜かないでください。
- 使用しないときは、プリンタから取り外してください。
- 台紙または印字領域以外の部分には印字しないでください。
- 単票ラベル紙は使用できません。
- ティアオフ機能は使用しないでください。
- アジャストレバーを設定して印刷してください。
  本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101 ～254mm｛4～ 10 インチ｝
台紙折り畳み長	101 ～558.8mm｛4 ～22 インチ｝
用紙厚（台紙を含む）	0.16～ 0.19mm（台紙0.07 ～ 0.09mm）
用紙連量	55kg（坪量68g/m²）

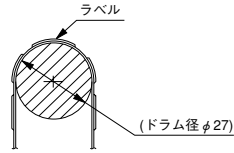
ラベル紙の種類

ラベル紙にはカストリ * なしの用紙とカストリありの用紙があります。カストリなしの用紙を使用することをお勧めします。

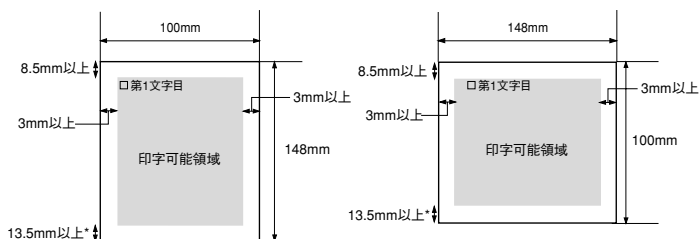
- 台紙全体がシールに覆われているラベル紙（カストリなし）

- 台紙全体がシールに覆われていないラベル紙（カストリあり）
  ラベルの角に R2 ～ 3mm の丸みが付いているラベル紙を使用してください。

* カストリ：ラベル以外の粘着シールをはぎとること。

印字領域と使用能なラベルサイズ

ポイント

次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径 ：φ27mm
巻付角度 ：180˚
巻付時間 ：24 時間
周囲温度 ：40 ℃
周囲湿度 ：30%

ハガキ

- 用紙ガイド（後）またはカットシートフィーダB（オプション）から給紙します。
- 官製ハガキを縦長にセットして給紙する場合は、カットシートフィーダB（オプション）を使ってください。
- 官製ハガキまたは通常ハガキを使ってください。
- 官製往復ハガキは、用紙中央に折り跡がないものを使ってください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- アジャストレバーを設定して印刷してください。
  本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

項目	詳細	
品質	官製ハガキ（通常ハガキ）	官製往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.22mm	

* ハガキ下端から 13.5mm の位置まで印字できますが、下端 22 ～ 13.5mm の範囲は、紙送り制度の保証ができません。

単票紙（単票複写紙）

- 用紙ガイド（前 / 後）またはカットシートフィーダ A/B（オプション）から給紙します。単票複写紙は用紙ガイド（前）から給紙します。カットシートフィーダで使用できる用紙については、以下のページを参照してください。
  本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 最大 4 枚までの複写紙（オリジナル +3 枚）を使用することができます。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。

項目	一般紙（後ろの用紙ガイド）	一般紙（前の用紙ガイド）	複写紙
品質	上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙		ノンカーボン紙、 裏カーボン紙
用紙幅	148～257mm{5.8～10.1インチ}	182 ～257mm{7.2 ～ 10.1 インチ }	
用紙長	100 ～364mm {3.9 ～ 14.3 インチ }	148 ～ 364mm {5.8 ～ 14.3 インチ }	257 ～ 297mm {10.1 ～ 11.7 インチ }
用紙厚	0.065 ～ 0.14mm		0.12 ～0.32mm
用紙連量	45 ～ 78kg（坪量 52.3～ 90g/m²）		34 ～50kg < 1 枚当たり > （坪量 40 ～ 58.2g/m²）

単票複写紙の推奨組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43
2 枚目	―	43	34	34
3 枚目	―	―	43	34
4 枚目	―	―	―	43

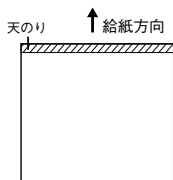
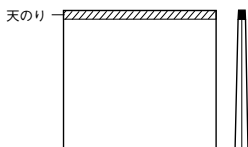
使用できる定形用紙

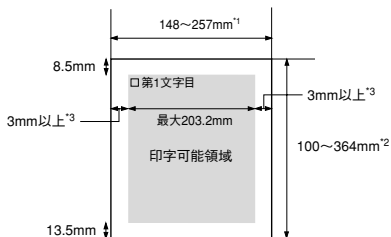
用紙サイズ	後ろの用紙ガイド	前の用紙ガイド	カットシートフィーダ
A4（210 × 297mm）	縦長	縦長	縦長
A5（148 × 210mm）	縦長、横長	―	横長
B4（257 × 364mm）	縦長*	縦長 *	―
B5（182 × 257mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長

* B4 の複写紙は使用できません。

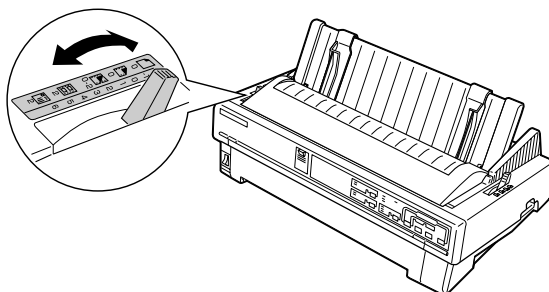
単票複写紙の綴じおよび給紙方向

用紙の上端全面、あるいは側端全面がのり付けされた用紙を使用してください。また、綴じてある方から給紙してください。

単票複写紙（天のり）

- 単票複写紙は、天のり綴じの用紙を使用してください。

- 綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。

印字領域

*1 カットシートフィーダ A（オプション）使用の場合　182 ～ 216mm
*2 カットシートフィーダ A（オプション）使用の場合　182 ～ 356mm、
　カットシートフィーダ B（オプション）使用の場合　210 ～ 356mm
*3 用紙幅が 257mm より大きい場合は、6mm以上になります。

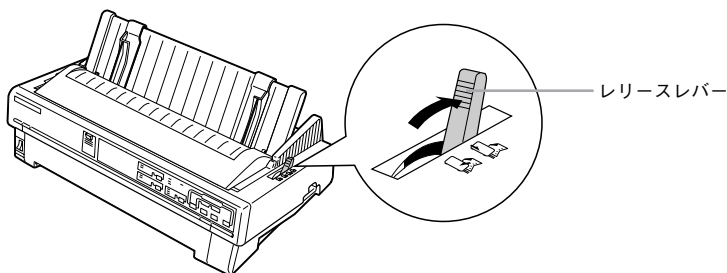
アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

用紙の種類 / アイコン		用紙厚（mm）	設定値
単票紙 /		0.06 ～0.12	0
連続紙 /		0.06 ～0.12	0
複写紙 /	2 枚	0.06 ～0.12	0
	3 枚	0.13 ～0.17	1
	4 枚	0.18 ～0.25	2
ラベル /		0.16 ～0.19	2
ハガキ /		0.22	2
厚めの用紙		0.26 ～0.32	3

- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印刷可能領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印刷可能領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 上記の表は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

厚めの複写紙（0.26mm ～ 0.32mm）を設定値 3 で印刷してもきれいに印字されないときは、設定値 4、5、6の最適な設定値をお選びください（設定値 2 以降は印刷速度が遅くなります）。

給紙経路の設定方法

給紙経路に合わせてレリースレバーを切り替えます。

使用する用紙と給紙経路

	給紙経路	レリースレバーの設定	給紙方法
単票紙			用紙ガイド（前後）またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
連続紙			プリンタ前面から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
			プリンタ後方から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
			プリンタ底面から給紙します。トラクタなどの部品を付け替える必要があります。

連続紙のセットと排紙

本機は、トラクタユニットを付け替えることで、プッシュトラクタ（前）、プッシュトラクタ（後）、プルトラクタ、プッシュプル（前）、プッシュプル（後）、プッシュプル（前後）6 つの給紙方法で連続紙を給紙することができます。
☞ 本書 93 ページ「給紙経路の設定方法」

ポイント

工場出荷時は、プッシュトラクタ（前後）位置にトラクタユニットが取り付けられています。

操作上のご注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、［給紙 / 排紙］スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

連続紙を使用する前に

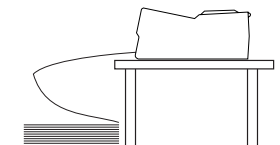
使用する連続紙が以下の条件にあてはまる場合はプリンタの初期設定を変更してください。
☞ 本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」

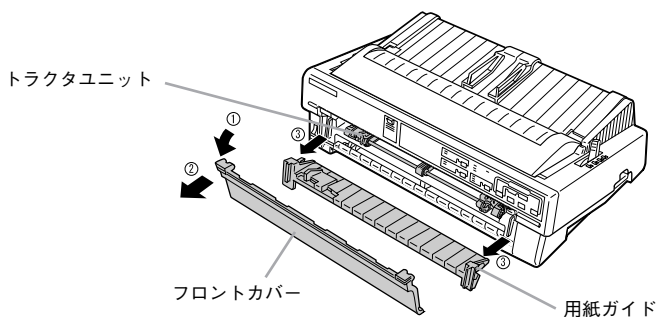
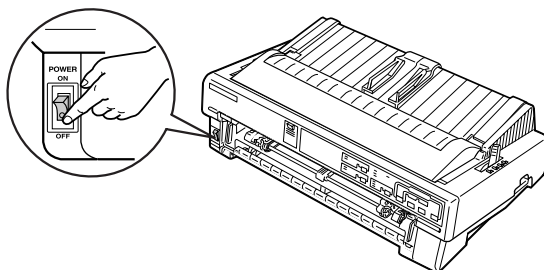
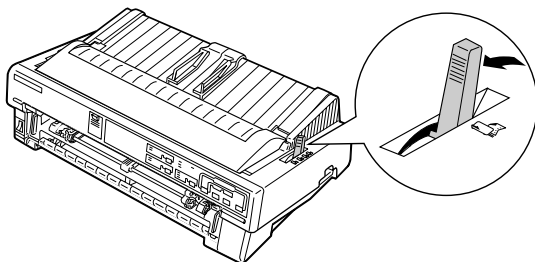
条件	ディップスイッチ	設定
連続紙のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）が 12 インチ（30.5cm）以上の場合	SW2-1	ON
連続紙のミシン目の前後 1 インチ（2.54cm）の範囲に印刷したくない場合	SW2-2	ON
自動ティアオフ機能を使用したい場合	SW2-3	ON

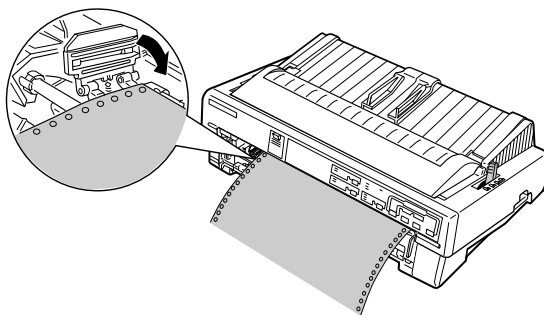
※ 初期設定ではすべて OFF に設定されています。

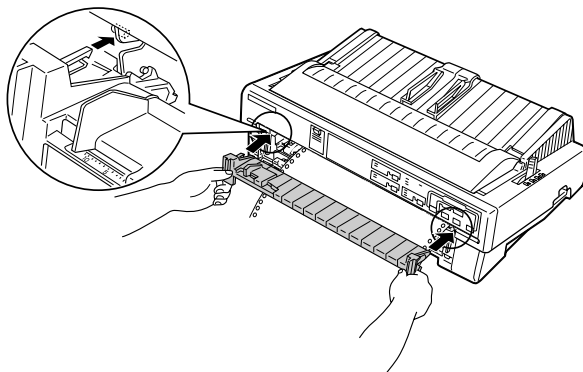
連続紙のセット（プッシュトラクタ）

プッシュトラクタ（前）からの給紙

プリンタ前方から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 フロントカバーと用紙ガイド（前）を外し、トラクタユニットがプッシュトラクタ（前）位置に取り付けられていることを確認します。

2 ［電源］スイッチをオフにします。

3 レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（ ）側に設定します。

4 連続紙をトラクタユニットにセットします。

本書 109 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。

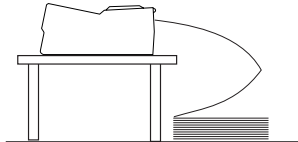
5 用紙ガイド（前）を取り付け、次にフロントカバーを取り付けて閉じます。

6 ［電源］スイッチをオンにします。

［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

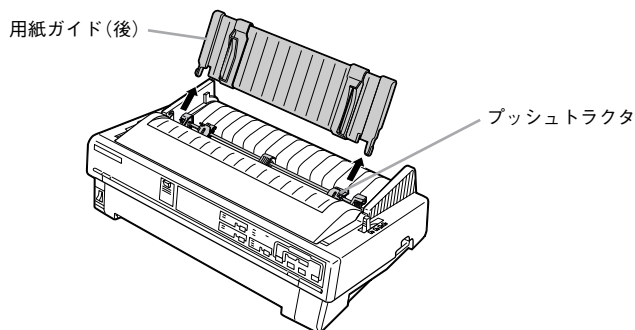
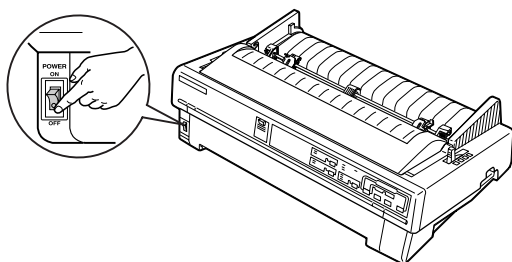
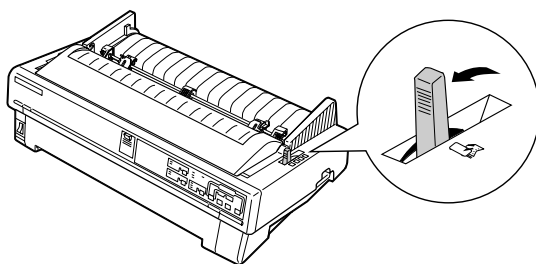
- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

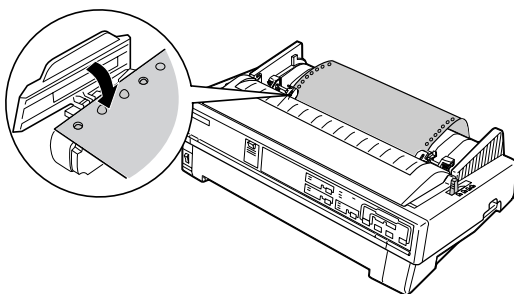
- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  本書 115 ページ「ティアオフ機能」

プッシュトラクタ（後）からの給紙

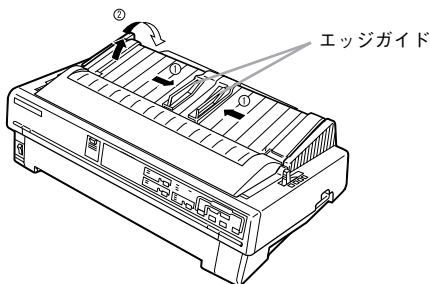
プリンタ後方から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

プッシュトラクタ（後）からラベル紙を給紙することはできません。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1. 用紙ガイド（後）を外し、トラクタユニットがプッシュトラクタ（後）位置に取り付けられていることを確認します。

2. ［電源］スイッチをオフにします。

3. レリースレバーをプッシュトラクタ（後）（ ）側に設定します。

4 **連続紙をトラクタユニットにセットします。**

☞ 本書 109 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。

5 **用紙ガイド（後）を取り付け、左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動し、後ろに少し引いて倒します。**

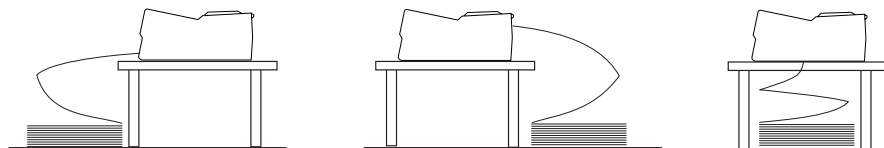
用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

6 **［電源］スイッチをオンにします。**

［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞ 本書 115 ページ「ティアオフ機能」

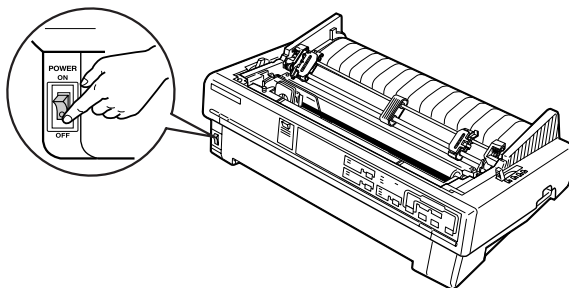
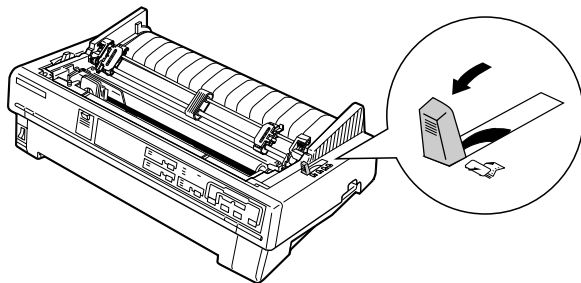
連続紙のセット（プルトラクタ）

プリンタの前面、後方、底面から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために以下のような配置でプリンタをお使いください。

プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

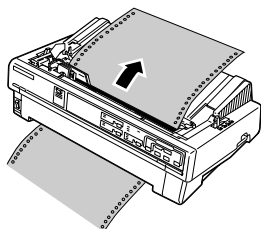
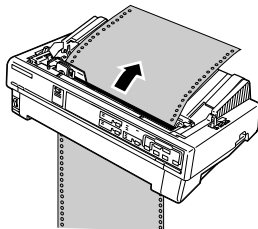
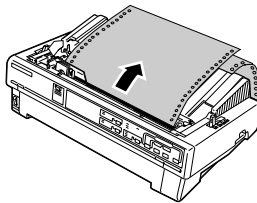
- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 トラクタユニットをプルトラクタ位置へ付け替えます。

以下のページを参照して、付け替えてください。
☞ 本書 106 ページ「トラクタユニットの付け替え」

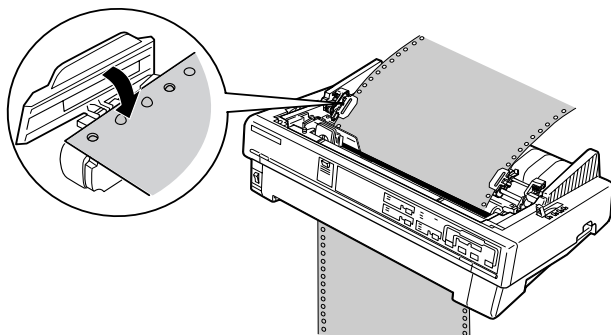
2 ［電源］スイッチをオフにします。

3 **レリースレバーをプルトラクタ（ ）位置に設定します。**

4 **連続紙をプリンタに差し込みます。**

使用したい給紙経路から連続紙を差し込み、1 ページ目のミシン目がリボンと同じ位置になるまで引き出します。
プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

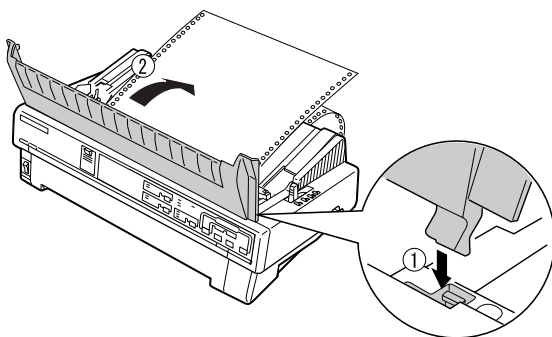
＜プリンタ前部から給紙＞　＜プリンタ底部から給紙＞　＜プリンタ後部から給紙＞

印刷位置目盛りについては以下のページを参照してください。
☞本書 119 ページ「給紙位置（横方向）の調整」

5 連続紙をトラクタユニットにセットします。

印刷位置を合わせ、連続紙がたるんでいる場合は、後ろから少し引いてたるみを取ります。

本書 109 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

注 意

プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。
本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

6 プリンタカバーを取り付けて閉じます。

7 [電源] スイッチをオンにします。

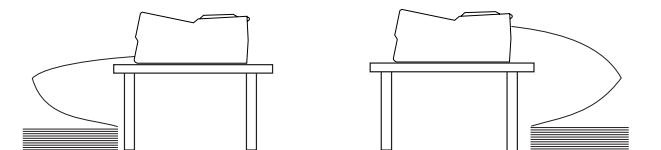
[電源] ランプと [印刷可] ランプが点灯します。印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

注 意

- プリンタの電源スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  本書 115 ページ「ティアオフ機能」

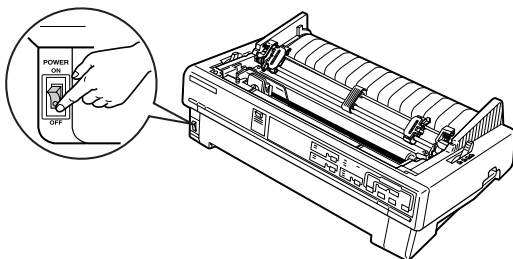
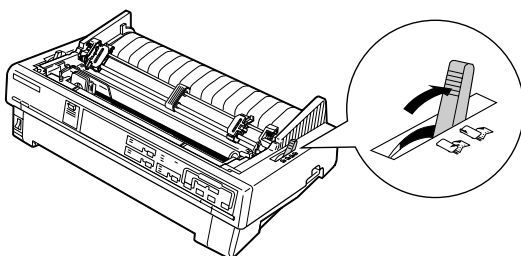
連続紙のセット（プッシュ / プルトラクタ）

一つのトラクタをプッシュトラクタ（前または後）位置に取り付け、もう一つをプルトラクタ位置に取り付けると、プッシュ・プルトラクタで紙送りができ、連続紙の紙送り精度を向上させることができます。
プリンタの前面と後方から連続紙を給紙します。プルトラクタを取り付けたまま、プッシュトラクタ（前）とプッシュトラクタ（後）からも給紙することができます。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

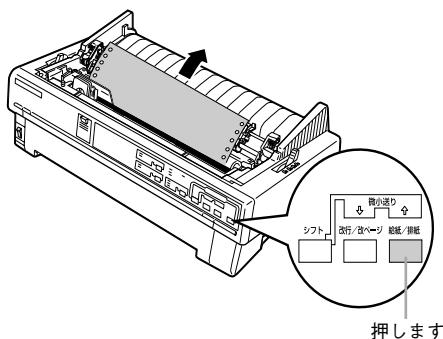
1 トラクタユニットを付け替えます。

以下のページを参照して、付け替えてください。
本書 106 ページ「トラクタユニットの付け替え」

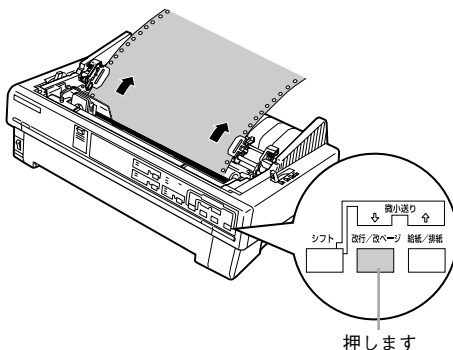
2 ［電源］スイッチをオフにします。

3 レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（　）またはプッシュトラクタ（後）（　）側に設定します。

4 ［電源］スイッチをオンにします。

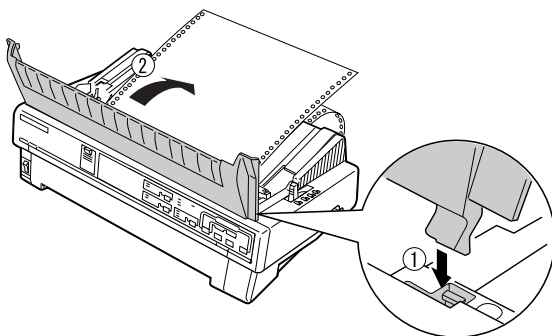
［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。

5 連続紙をプリンタに差し込み、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を給紙します。

使用したい給紙経路から連続紙を差し込みます。
プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

ポイント

- 印刷位置目盛りについては以下のページを参照してください。
  本書 119 ページ「給紙位置（横方向）の調整」
- プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

6 **[改行 / 改ページ]スイッチを 2 秒以上押して用紙を1 ページ分送って、プルトラクタにセットします。**

7 **プリンタカバーを取り付けて閉じます。**

印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

注 意

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

ポイント

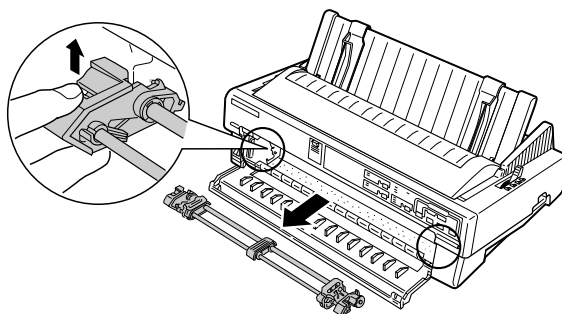
- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
本書 116 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
本書 115 ページ「ティアオフ機能」

トラクタユニットの付け替え

トラクタユニットは自由に付け替えることができます。給紙経路に合わせて取り付け位置を変えてください。
連続紙の給紙方法を変更しない場合は、トラクタユニットの付け替えを行う必要はありません。以下のページを参照して連続紙をセットしてください。
本書 95 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」
本書 100 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

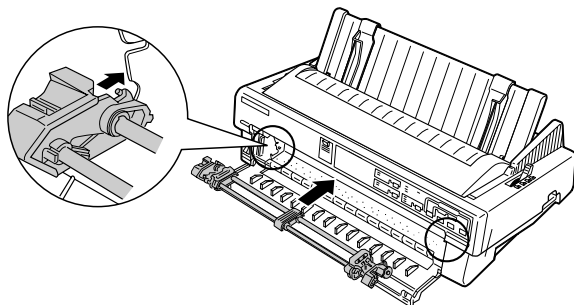
トラクタユニットの取り外し

1. **トラクタユニットの左右のレバーをつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。**

トラクタユニットがどの位置に取り付けられていても同じ手順で取り外せます。イラストはプッシュトラクタ（前）に取り付けられているトラクタユニットを取り外す場合の例です。

次にトラクタユニットを以下の 3 つの位置に取り付けます。
- プッシュトラクタ（前）位置 107 ページ
- プッシュトラクタ（後）位置 107 ページ
- プルトラクタ位置 108 ページ

プッシュトラクタ（前）位置への取り付け

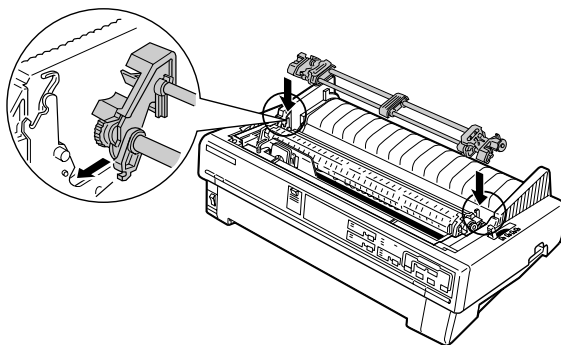
1. フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）を取り外します。

2. トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（前）を、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

本書 95 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

プッシュトラクタ（後）位置への取り付け

1. 用紙ガイド（後）を取り外します。

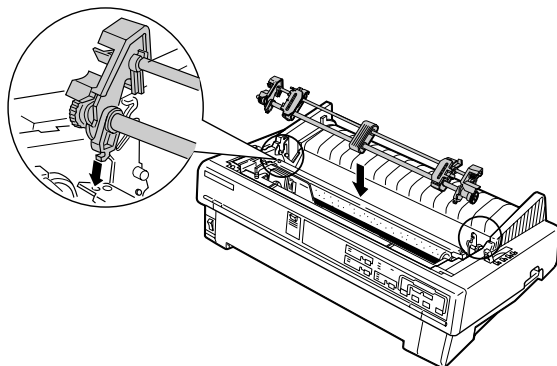
2. トラクタユニットを両手で持ち、図のくぼみにはめ、後ろに倒して取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。

本書 95 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

細部をご覧いただくために、イラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

プルトラクタ位置への取り付け

1. 用紙ガイド（後）、排紙ユニットを取り外します。

2. トラクタのツメをプリンタの穴に引っかけるようにして後ろに倒して、取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 100 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

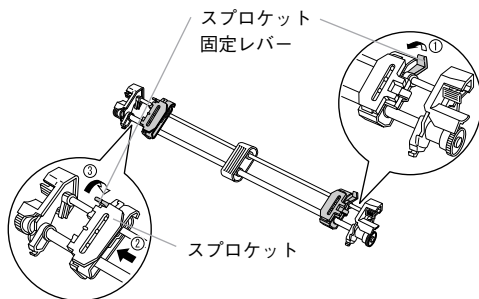
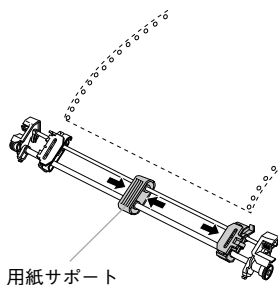
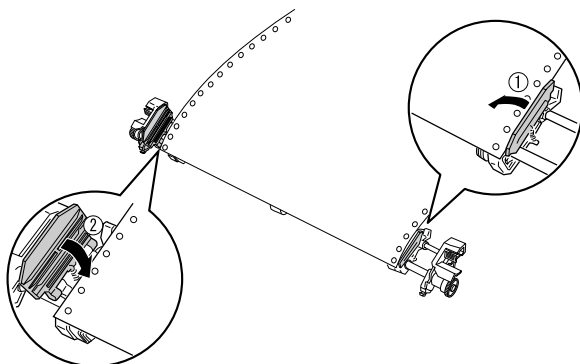
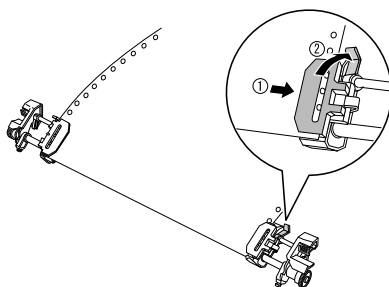
細部をご覧いただくために、イラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

トラクタユニットへの連続紙のセット

トラクタユニットに連続紙をセットします。セット方法は、トラクタユニットをどの位置につけても基本的には同じです（トラクタの向きにより少し違います）。

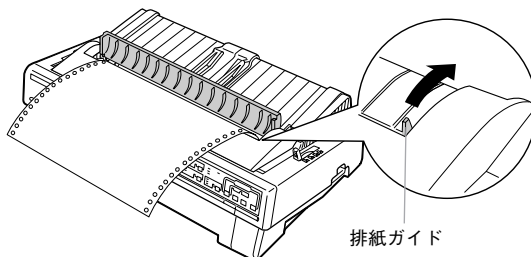
1. **左右のスプロケット固定レバーを手前（前に取り付けた場合は後ろ）に倒してから、左のスプロケットを左側に移動して固定します。**

   左のスプロケットの位置は使用する用紙によって違います。以下のページを参照して、位置を決めてください。

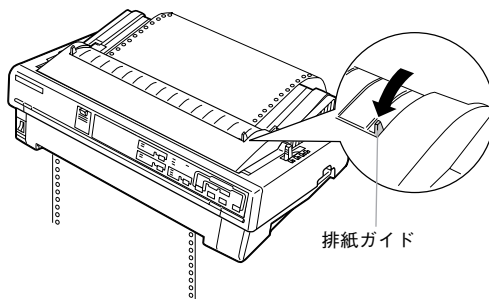
   本書 119 ページ「給紙位置（横方向）の調整」

2. **右のスプロケットを用紙幅に合わせ、用紙サポートを左右のスプロケットの中央に移動します。**

3. 左右のスプロケットカバーを開けます。連続紙の左右 3つの穴と左右のスプロケットのピンを合わせて用紙をセットしてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。

4. 右のスプロケットを連続紙がぴんと張るようにしてから、スプロケット固定レバーを後ろ（前に取り付けた場合は手前）に倒して固定します。

排紙ガイドの使い方

プリンタカバーに付いている排紙ガイドを切り換えることで、連続紙の排紙方向を変えることができます。

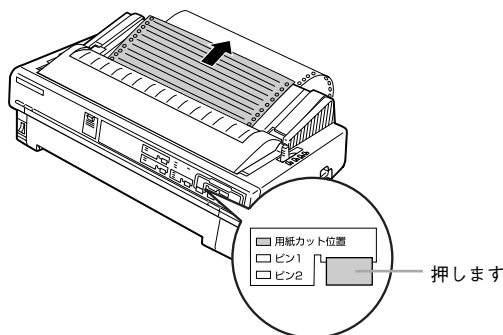
前方に排紙したい場合

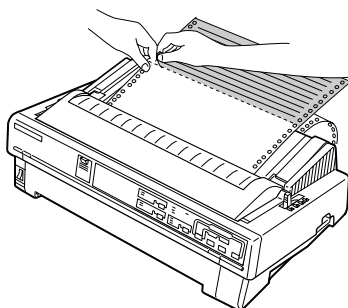
図のようにつまみを持ち、排紙ガイドを上に持ち上げます。

プルトラクタの位置で連続紙を給紙している場合は、前方に排紙することはできません。

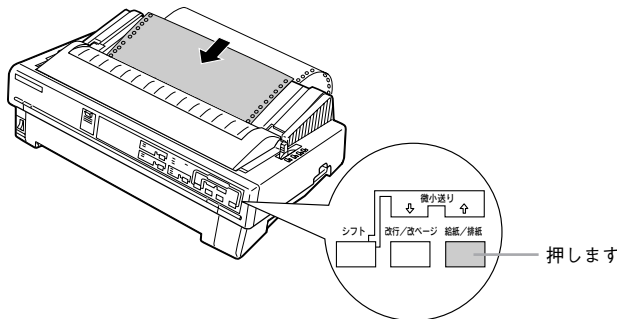
後方に排紙したい場合

図のようにつまみを持ち、排紙ガイドを下におろします。

排紙の仕方

プッシュトラクタでの排紙

1. **印刷が終了したら、[用紙カット位置]スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。**
   [用紙カット位置]ランプが点灯します。

- 上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。ティアオフ機能が自動に設定されていると、印刷終了後、自動的にミシン目カット位置まで連続紙を送ります。
  本書 115 ページ「ティアオフ機能」
- 切断するミシン目が用紙ガイドのペーパーカッターとずれているときは、[シフト]スイッチと[給紙 / 排紙]スイッチまたは[シフト]スイッチと[改行 / 改頁]スイッチを押してミシン目位置を調整してください。
  本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

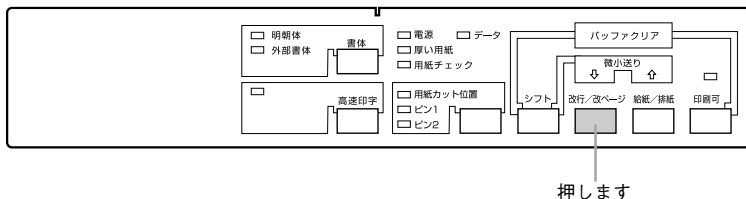
2. **印刷が終了したページをミシン目で切り離します。**

印刷が終わった連続紙は､ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

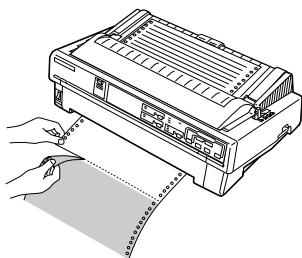
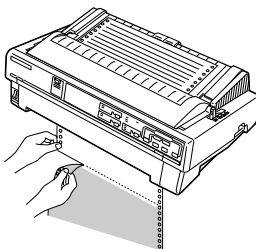
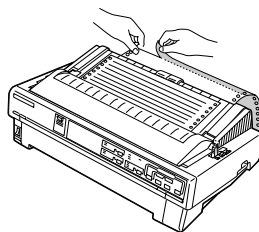
3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押してトラクタユニットまで連続紙を戻します。

［給紙 / 排紙］スイッチは印刷が終了したページを切り離してから押してください。また、2 回以上押さないでください。

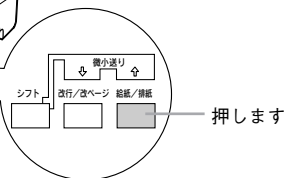
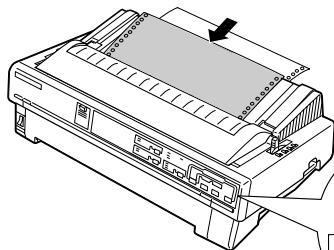
プルトラクタでの排紙

プルトラクタから排紙するときは、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを使用して、プリンタ上面から排紙してください。ティアオフ機能（［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

ラベル紙を、［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてプリンタ後方 / 底面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクタユニット位置で用紙を切り離してから、［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンタ上面から排紙してください。

1 印刷が終了したら、［改行 / 改ページ］スイッチを 2 秒以上押して改ページします。

2 印刷が終了したページをミシン目で切り離します。

＜プリンタ前部から給紙＞　＜プリンタ底部から給紙＞　＜プリンタ後部から給紙＞

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押してトラクタユニットまで連続紙を戻します。

ティアオフ機能

プルトラクタ使用時は、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。特にラベル紙印刷時など印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。

連続紙を簡単かつ無駄なく切り離したいときは、ティアオフ機能を使用します。ティアオフ機能を使用すると印刷終了後に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出すことができます。印刷を再開するときは連続紙を印刷開始位置まで戻しますので、連続紙が無駄になりません。
ティアオフ機能には手動ティアオフと自動ティアオフがあります。自動ティアオフを［ON］に設定すると、印刷の終了時に自動的に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り、印刷再開時に給紙位置まで戻します。ティアオフ機能の初期設定は［OFF］に設定されています。［ON］に設定したいときは、以下のページを参照してください。
本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

- ティアオフ機能は、設定した連続紙ページ長（初期設定：11 インチ）を元に連続紙を送ります。使用する連続紙に合わせてプリンタドライバまたはプリンタ設定値の連続紙ページ長を正しく設定してください。
- Windows で使用する場合は、プリンタドライバの連続紙ページ長設定が有効となります。使用する連続紙に合ったページ長の用紙を選択してください。

手動ティアオフ機能

手動ティアオフ機能を使用する場合は、印刷終了後に［用紙カット位置］スイッチを押して、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出します。操作方法は、以下のページを参照してください。
本書 112 ページ「プッシュトラクタでの排紙」

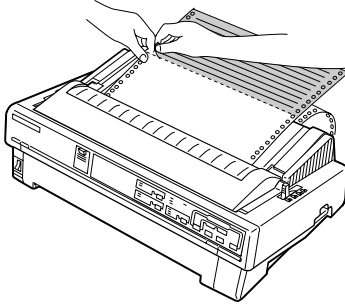
自動ティアオフ機能

自動ティアオフ機能を利用するには、以下のページを参照してプリンタの設定値を変更（自動ティアオフを［ON］に設定）してください。
本書 128 ページ「ディップスイッチでの設定」

1. **印刷を行います。**

印刷が終わり約 3 秒経過すると、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。［用紙カット位置］ランプが点灯します。

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、微小送り機能を使用して調整してください。
本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

2 **連続紙を切り離します。**

3 **次の印刷を行います。**

連続紙が印刷開始位置へ自動的に戻り、印刷が始まります。

［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。電源をオフにする場合は、必ず［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻してください。ただし、プルトラクタから給紙している場合は、［用紙カット位置］スイッチを押さないでください。

用紙位置の微調整

微小送り機能

連続紙の用紙カット位置、給紙位置、ページ途中の用紙位置などを微調整するときは、微小送り機能を使用します。微小送り機能では、1/180 インチ（約 0.14mm）単位で前後両方向に用紙を動かすことができます。

用紙カット位置の微調整

連続紙をミシン目で切り離す際の用紙カット位置を微調整できます。調整した用紙カット位置は、電源スイッチをオフにしても記憶されます。

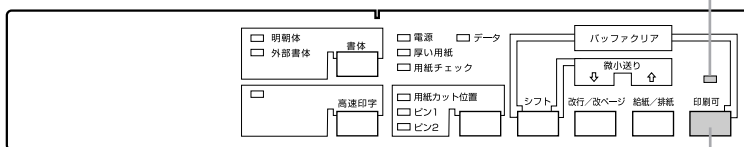
給紙位置（縦方向）の微調整（DOSのみ）

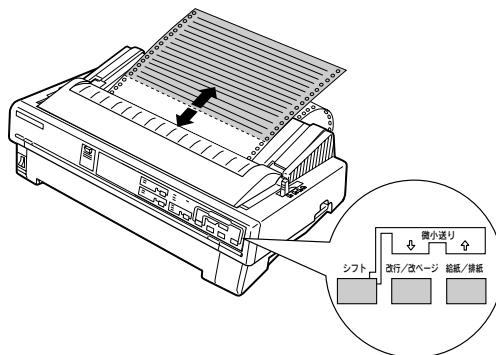
単票紙や連続紙の給紙位置がずれて給紙された場合や、印刷開始位置を 8.5mm、22mm（単票紙のみ）以外に設定したい場合、給紙位置を微調整できます。調整した給紙位置は連続紙の場合は電源をオフにしても記憶されますが、単票紙の場合は記憶されません。

- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の微調整はできません。お使いのアプリケーション上でマージンの設定を行ってください。
- 印刷結果を見て、微小送り機能を使用して印刷位置を合わせることもできます。プレプリントされている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。手順 2 から始めてください。

1 給紙位置または用紙カット位置の調整の準備をします。

- 給紙位置を調整する場合は、用紙を給紙します。厚い用紙ランプが点滅します。
  ☞ 本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」
  ☞ 本書 94 ページ「連続紙のセットと排紙」
- 用紙カット位置を調整する場合は、ティアオフ機能を使用して連続紙のミシン目を用紙カット位置へ送ります。用紙カット位置ランプは点灯し、厚い用紙ランプは点滅します。

ポイント
印刷可ランプが消灯または点灯しているときは微小送り機能は使用できません。[印刷可] スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。

2 位置（縦方向）を合わせます。

[シフト] スイッチと [給紙 / 排紙] スイッチを押すと、用紙は用紙ガイド側へ進みます。
[シフト] スイッチと [改行 / 改ページ] スイッチを押すと、用紙はリアプッシュトラクタ側へ進みます。

3 用紙位置を確認します。

⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、触らないでください。開けたプリンタカバーは印刷前に必ず閉じてください。

- 微調整できる範囲は以下の通りです。
  給紙位置：
  連続紙　　4.2 〜 33.9mm（工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
  単票紙　　4.2 〜 33.9mm（工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
  用紙カット位置：
  − 25.4 〜＋ 25.4mm（工場出荷時の基準位置は 0mm）
- 給紙位置または用紙カット位置を微調整するとき、前後どちらの方向に用紙を動かしても、途中でブザーが鳴り一旦停止する位置があります。これは基準位置ですので微調整時の目安としてください。また、前後どちらの方向にも微調整できる限度があります。上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、用紙はそれ以上動かなくなります。
  カットシートフィーダ（オプション）の場合、給紙された位置から逆方向には 8.5mm までとなります。

4. **［印刷可］スイッチを押します。**

微調整した給紙位置および用紙カット位置の設定は、［電源］スイッチをオフにしても記憶されます。

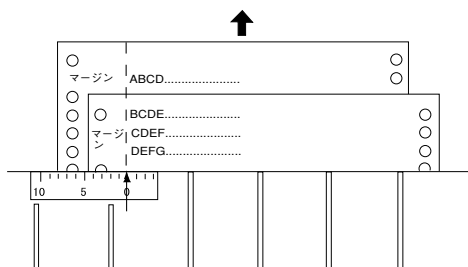
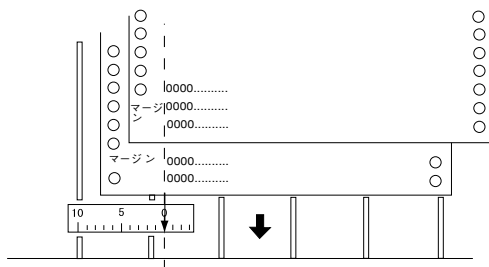
- 単票紙の場合は、ディップスイッチ SW1-7 の設定値となります。
- ［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。電源をオフにする場合は、必ず［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻してください。ただし、プルトラクタから給紙している場合は、［用紙カット位置］スイッチを押さないでください。

給紙位置（横方向）の調整

連続紙の給紙位置（横方向）を調整する場合は、フロントカバー裏またはプリンタ後部の印刷位置合わせの目盛りを目安にスプロケットを移動して調整します。

プリンタドライバを経由して印刷している場合は、用紙の端を［0］に合わせ、アプリケーション上で余白（マージン）を設定して印刷してください。

目盛りの［0］の位置が、1桁目の印刷開始位置です。目盛りの間隔は2.54mm（1/10インチ）になっています。連続紙の端を目盛りの［10］位置に合わせると、印刷開始位置までの余白（マージン）が25.4mm（1インチ）に設定されたことになります。

<フロントカバー裏>

<プリンタ後部>

単票紙のセットと排紙

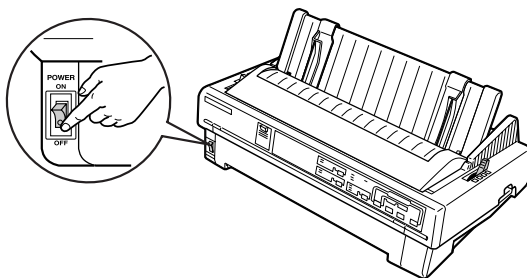
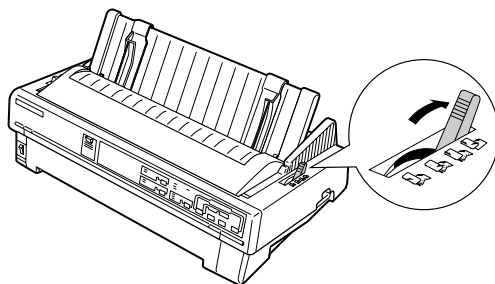
単票紙は用紙ガイド（後）と用紙ガイド（前）から給紙することができます。
用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。
単票紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダをご利用ください。単票紙を連続して給紙することができます。
本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」

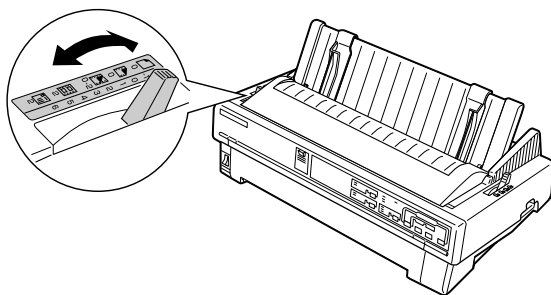
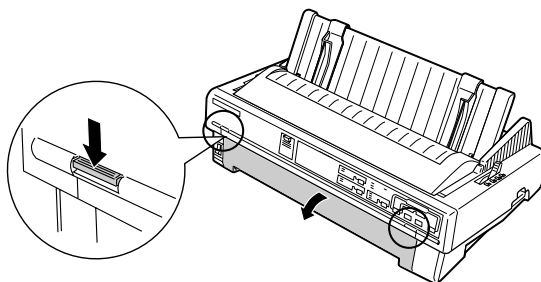
操作上のご注意

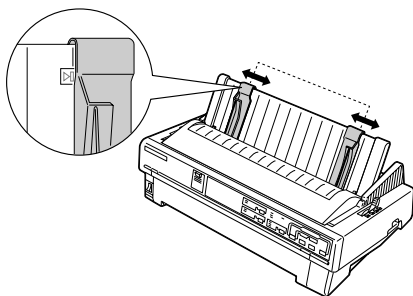
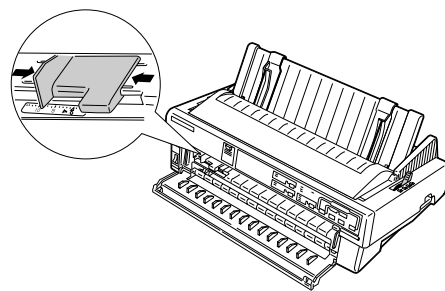
印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

単票紙のセット

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. レリースレバーを単票紙側（）に倒します。

3 **使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。**

☞ 本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **用紙ガイド（前）から給紙する場合は、フロントカバーを開けます。**

5 **エッジガイド位置を単票紙のサイズに合わせて調整します。**

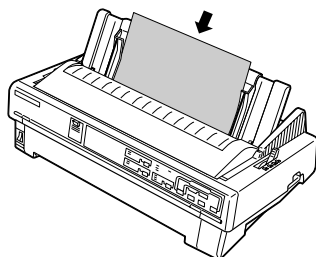
エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

<用紙ガイド（後）>　　<用紙ガイド（前）>

ポイント

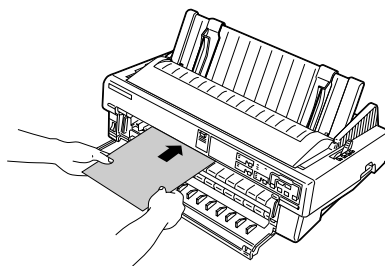
- エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。
- B4 縦の単票紙をセットする場合は、エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）の左側にずらして紙幅に合わせてください。

6 ［電源］スイッチをオンにします。

7 単票紙を手差し給紙します。

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

<用紙ガイド（後）>

<用紙ガイド（前）>

注意

プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

ポイント

DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。

☞本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

8 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

排紙の仕方

印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。
印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

ポイント

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回して排紙しないでください。
- 印刷途中で排紙する場合は、［印刷可］スイッチを押して印刷を中断してから、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。このとき、印刷データがバッファに残っている場合があります。残っている印刷データを消す場合は、［シフト］スイッチを押しながら［印刷可］スイッチを押して、バッファをクリアしてください。

連続紙（プッシュトラクタ）と単票紙の切り替え

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票紙の給紙を切り替えて単票紙に印刷することができます。

オプションのカットシートフィーダとプッシュトラクタ（後）を使用する場合、連続紙をプッシュトラクタ（後）にセットしてからカットシートフィーダを取り付けてください。

連続紙から単票紙への切り替え

連続紙の先端がプッシュトラクタ（後）の位置にある場合は、4 へ進んでください。

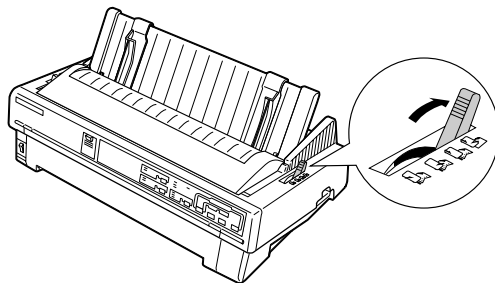
1. **連続紙の印刷が終了したら、[改行 / 改ページ] スイッチを押して、ミシン目カット位置まで紙送りします。**
[改行 / 改ページ] スイッチは継続的に押すと改行し、約 2 秒間押し続けると改ページします。ティアオフ機能を自動に設定している場合は [改行 / 改ページ] スイッチを押す必要はありません。

2. **連続紙を切り離します。**

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

3. **[給紙 / 排紙] スイッチを押します。**
セットした連続紙はトラクタの位置まで戻りますが、トラクタからは外れません。

ラベル使用時は [給紙 / 排紙] スイッチを押さないでください。

4 **レリースレバーを単票紙側（ ）に設定します。**

ポイント

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを設定してください。
本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」

5 **カットシートフィーダ（オプション）を使用しない場合は、用紙ガイド（後）を起こします。前から給紙する場合は、フロントカバーを開けます。**

6 **単票紙を用紙ガイド（前または後）またはカットシートフィーダ（オプション）にセットします。**

用紙ガイド（前または後）にセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせてから、単票紙を奥まで差し込みます。約 2 秒後、用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」
本書 144 ページ「カットシートフィーダの使い方」

7 **印刷を実行します。**

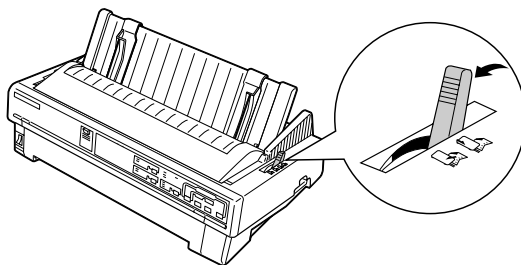
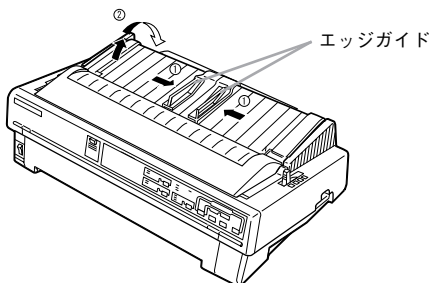
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

連続紙はあらかじめセットしておいてください。
本書 95 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

1. **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**
   印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2. **［電源］スイッチをオフにします。**

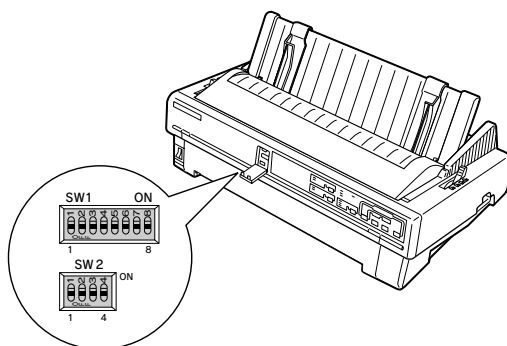
3. **レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（ ）またはプッシュトラクタ（後）（ ）側に設定します。**

4. **左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置まで移動します。用紙ガイド（後）は少し後ろに引いて倒します。**

5. **印刷を実行します。**
   印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

プリンタ設定値の変更

プリンタ設定の方法

プリンタの設定を変更する方法について説明します。プリンタの設定を変更する方法は、以下の2通りがあります。

ディップスイッチで設定する

操作パネル横のディップスイッチを使って、プリンタの初期設定値（[電源] スイッチをオンにしたときの設定）を変更します。

プリンタドライバで設定する

Windows でお使いの場合、通常の印刷で必要な設定はアプリケーション上あるいはプリンタドライバから変更することができます。

プリンタドライバからの設定は、ディップスイッチでの設定より優先されます。プリンタドライバから設定できない項目についてはディップスイッチで設定します。

給紙方法の設定は、プリンタ本体のレリースレバーの設定と合わせてください。

ディップスイッチでの設定

ここでは、ディップスイッチでのプリンタ設定値の変更について説明します。

プリンタドライバ上からも設定できる項目については、プリンタドライバでの設定が優先されます。

設定内容

ディップスイッチ SW1

番号	機能	ON	OFF
SW1-1	英数カナ文字品位	ドラフト	高品位
SW1-2	縮小	指定	解除
SW1-3	文字コード表	拡張グラフィックス	カタカナ
SW1-4	固定	ー	常時 OFF
SW1-5	固定	ー	常時 OFF
SW1-6	単方向印字	指定	解除
SW1-7	単票紙の給紙位置	22mm	8.5mm
SW1-8	ESC/P スーパー機能	設定	解除

ディップスイッチ SW2

番号	機能	ON	OFF
SW2-1	連続紙ページ長	12 インチ	11 インチ
SW2-2	ミシン目スキップ	設定	解除
SW2-3	自動ティアオフ機能	設定	解除
SW2-4	自動改行	する	しない

（網掛け）は購入時の設定です。

- SW1-4、SW1-5 の設定は固定です。絶対に変更しないでください。
- ［ESC/P スーパー機能］が［ON］で PC-PR 系用アプリケーションソフトウェアを使用しているときには、［文字コード表］の設定は無効です。

機能

それぞれのディップスイッチの機能は以下の通りです。

SW1-1　英数カナ文字品位

英数カナ文字の印刷品位を選択します。

ON	ドラフト
OFF	高品位

SW1-2　縮小

10CPI、12CPI* 文字の縮小を指定するかしないかを選択します。

ON	指定
OFF	解除

* Character Per Inch。1 インチの範囲にプリントできる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使う。

SW1-3　文字コード表

英数カナ文字コード表を選択します。

ON	拡張グラフィックスコード表（国際文字はアメリカ） IBM PCなどの海外コンピュータ使用時に選択します。
OFF	カタカナコード表（国際文字は日本） エプソンPCシリーズや、NEC PC-9800シリーズなどの国内コンピュータ使用時に選択します。

SW1-6　単方向印字

以下の印字を単方向で印字するかしないかを選択します。

- ビットイメージ
- 拡張グラフィックスコード表の B0H ～ DFH、F4H、F5H
- 英数カナ文字、漢字の縦倍拡大

ON	設定（コントロールコード［ESC U］の指定は無視します）
OFF	解除

SW1-7　単票紙の給紙位置

単票紙の給紙位置を選択します。8.5mm、22mm 以外に設定する場合は以下のページを参照してください。

本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

ON	22mm
OFF	8.5mm

SW1-8　ESC/P スーパー機能

コンピュータまたは使用するアプリケーションソフトのプリンタ設定により設定を変更します。

☞ 本書 36 ページ「DOS 環境」

ON	ESC/P スーパー機能をオンに設定します。 ESC/P と PCPR201H（エミュレーションモード）を自動判別します。PCPR201H（エミュレーションモード）プリンタを選択して印刷するときは、[ON] のまま使用します。 また、国内版の DOS アプリケーションソフトから印刷する場合で、エプソンプリンタを選択しても正しく印刷できないときにも、[ON] のまま使用します。
OFF	使用するオペレーティングシステム（Windows）やソフトウェアのプリンタ設定で ESC/P コントロールコードを使用しているときは、[OFF] に設定します。 海外版の DOS アプリケーションソフト使用にも [OFF] に設定します。

SW2-1　連続紙ページ長

連続紙のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を選択します。ティアオフ機能やミシン目スキップの機能を利用する場合は、機能が正しく動作するよう、用紙に合ったページ長を選択してください。

ON	12 インチ（304.8mm）
OFF	11 インチ（279.4mm）

SW2-2　ミシン目スキップ

連続紙のミシン目の前後 1 インチ（25.4mm）の範囲には印刷できません。設定する場合は、連続紙ページ長（SW2-1）も合わせて設定してください。

ON	設定
OFF	解除

SW2-3　ティアオフ機能

ティアオフ機能を設定または解除します。設定する場合は、連続紙ページ長（SW2-1）も合わせて設定してください。ラベル紙を使用するときは必ず [OFF] に設定してください。

☞ 本書 115 ページ「ティアオフ機能」

ON	設定 印刷の終了や開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。
OFF	解除

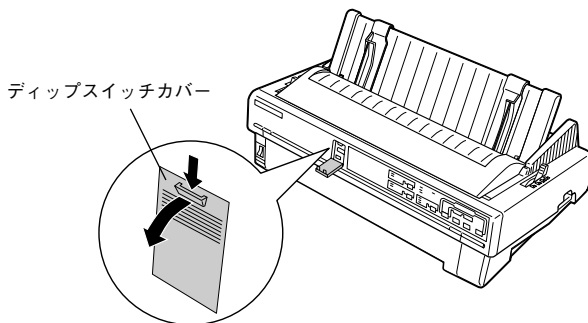
SW2-4　自動改行

キャリッジリターン（CR）コードが入力されたときの改行動作を選択します。DOS や Windows で使用する場合は、[OFF] のまま使用します。

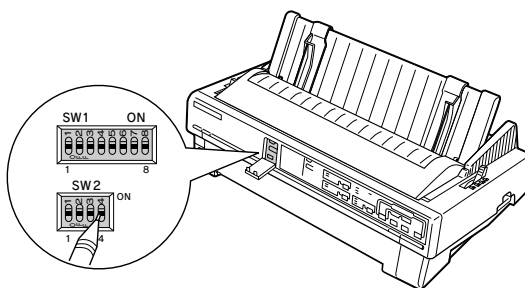
ON	CR コードで改行する
OFF	CR コードで改行しない

設定値の変更方法

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. ディップスイッチカバーを開けます。

3. ディップスイッチを変更します。

先の細いものでディップスイッチを変更します。設定内容は以下のページを参照してください。

本書 128 ページ「設定内容」

4. 設定が終了したら、ディップスイッチカバーを閉じてから［電源］スイッチをオンにします。

［電源］スイッチをオンにすると、設定した内容がプリンタのメモリに記憶されます。

16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに便利です。

1. **［改行 / 改ページ］スイッチと［給紙 / 排紙］スイッチの両方を押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**
   ブザーが 3 回鳴り、［用紙チェック］ランプが点灯します。

2. **用紙をセットします。**

3. **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
   受信したデータは、16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

ポイント

- 印刷終了時プリンタ内に用紙が残った場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。
- 印刷を中止する場合は、［印刷可］スイッチを押します。再度［印刷可］スイッチを押すと印刷を再開します。

4. **［電源］スイッチをオフにします。**

ポイント

- 用紙がなくなると印字を中断します。この場合は、［電源］スイッチをオフにしないで新しい用紙を給紙します。
- ［高速印字］スイッチ、［書体］スイッチは操作できません。

オプションと消耗品

オプションと消耗品の紹介

本機で使用できる、オプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2003年2月現在のものです。

ケーブル

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、ご利用のコンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるケーブルは次の通りです。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC-98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1
		EPSON PC シリーズNOTE	市販品（ハーフピッチ20 ピン）をご使用ください。	*1
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	*1*2
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ20 ピン）をご使用ください。	*1*2

*1 拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。
*2 ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ (ハードウェアキー) などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、データ転送が正常にできない場合があります。

シリアルインターフェイスケーブル

オプションのシリアル I/F カードを使用してコンピュータと接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。DOS/V 機と本機を接続する場合は、市販の D-Sub9-25 をお使いください。

型　番	名　称
PRCB7	RS-232C クロスケーブル（5m）

インターフェイスカード

パラレル以外のインターフェイスケーブルを使用するときは、オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

☞ 本書 155 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

型　番	名　称
PRIF3	タイプ B シリアル I/F カード
PRIF4	タイプ B 32KB シリアル I/F カード
PRIF5N*1	タイプ B IEEE1284 双方向パラレル I/F カード
PRIF6	タイプ B 32KB IEEE488 I/F カード

*1 単方向通信のみ可能です。

カットシートフィーダ

単票紙を連続して印刷することができます。カットシートフィーダの詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」

型　番	名　称
VP870CSFA	カットシートフィーダ　単票紙用
VP870CSFB	カットシートフィーダ　ハガキ対応

トラクタユニット

標準のトラクタユニットと組み合わせて使用することにより、連続紙の紙送り精度を向上させます。トラクタユニットの取り付け方法などにつきましては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 106 ページ「トラクタユニットの付け替え」

型　番	名　称
VP870TU	トラクタユニット

リボンカートリッジ / リボンパック

リボンカートリッジは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。
☞ 本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

型　番	名　称
#7753	リボンカートリッジ（黒）
#7755	リボンパック

LocalTalk I/F セット 2

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズに接続して LocalTalk プリンタとして使用できます。LocalTalk I/F カードとプリンタドライバがセットになっています。

型　番	名　称
LTIFS2	Macintosh 用 LocalTalk I/F セット 2

フォントカートリッジ

漢字ゴシック体を印刷することができます。
☞ 本書 154 ページ「フォントカートリッジの取り付け」

型　番	名　称
PRFC5	フォントカートリッジ

EPSON Link3

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズに接続するためのオプションです。パラレルインターフェイスコネクタに接続するケーブルとプリンタドライバを同梱しています（ただし、LocalTalk プリンタとしては使用できません）。

型　番	名　称
ELINK3	Macintosh 用プリンタアダプタ

ESC/P リファレンスマニュアル

エプソンプリンタのコントロールコードである EPSON ESC/P24-J84 を中心に解説しています。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

型　番	名　称
ESCPV2ML	ESC/P リファレンスマニュアル

ポイント

上記のマニュアルにつきましては、エプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライ（株）のお問い合わせ先は、「スタートアップガイド」の裏表紙をご覧ください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

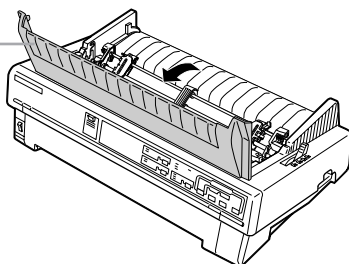
⚠注意

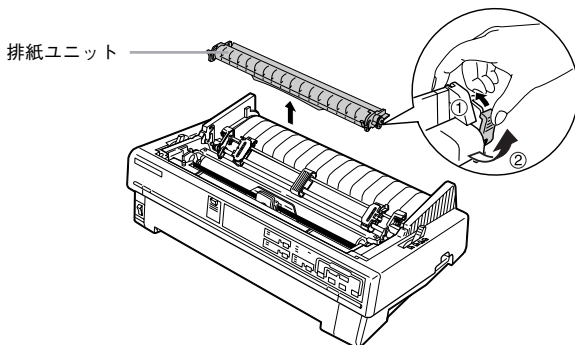
- プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源がオンの状態でリボンカートリッジを交換すると故障の原因になりますので、必ず電源がオフの状態で行ってください。

- リボンパック（#7755）をご使用になると、カートリッジ内部のリボンだけを交換することができます。リボンを 4 回交換したら、新しいリボンカートリッジと交換してください。
- リボンカートリッジは純正品（型番：#7753（黒））をご使用になることをお勧めします。

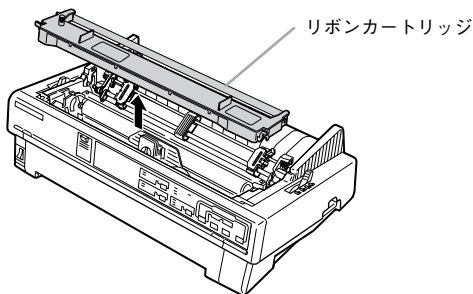
1 ［電源］スイッチをオフにします。

2 プリンタカバーを開けます。

ゆっくりと手前に起こして開けます。

3 **排紙ユニットを取り外します。**

排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

細部をご覧いただくために、以降のイラストはプリンタ カバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

4 **リボンカートリッジを取り外します。**

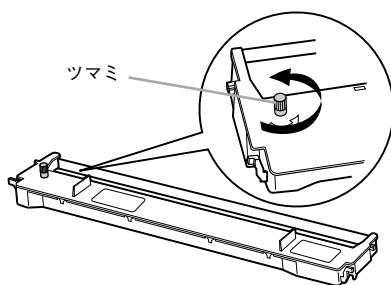
リボンカートリッジの両端を持ち、上に引き上げるようにして取り外します。

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みリボンカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

回収ポストの設置店は、以下のホームページ上で確認できます。

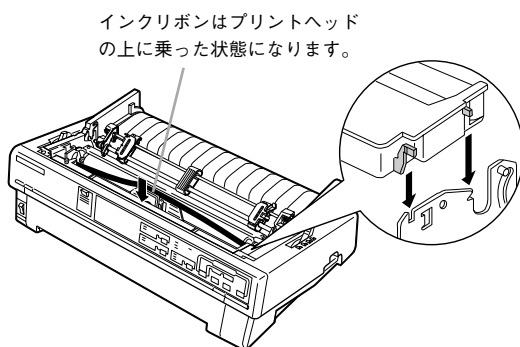
http://www.i-love-epson.co.jp

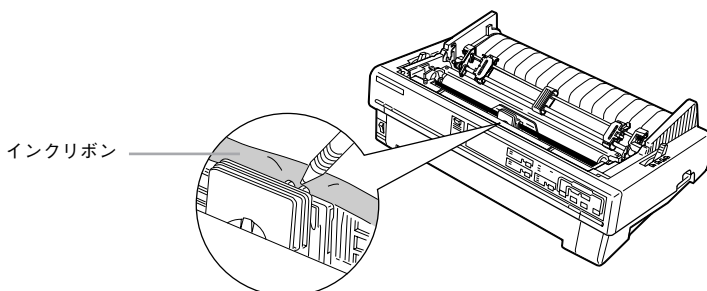
回収できないときは、ポリ袋などに入れて地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

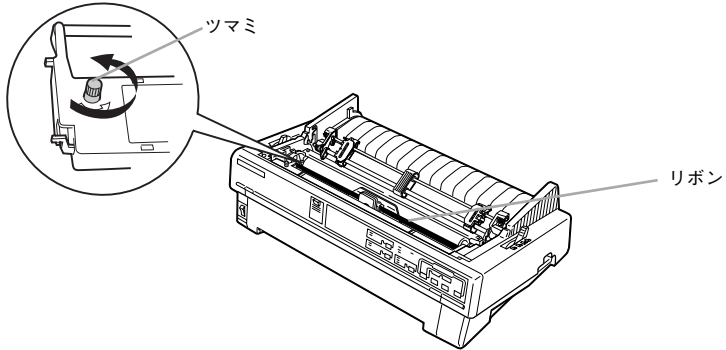
5 **新しいリボンのたるみを取ります。**

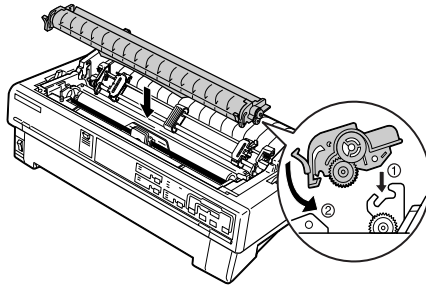
ツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。

6 **リボンカートリッジを取り付けます。**

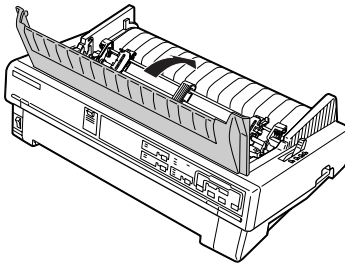
プリンタ両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

7 **インクリボンをプリントヘッドの奥（印刷面側）に送り込みます。**

インクカートリッジのツマミを回しながらボールペンなどを使って、奥側に送り込みます。

8 リボンのたるみを取ります。

再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

9 排紙ユニットを取り付けます。

排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

10 プリンタカバーを閉じます。

以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。

カットシートフィーダの取り付けと使い方

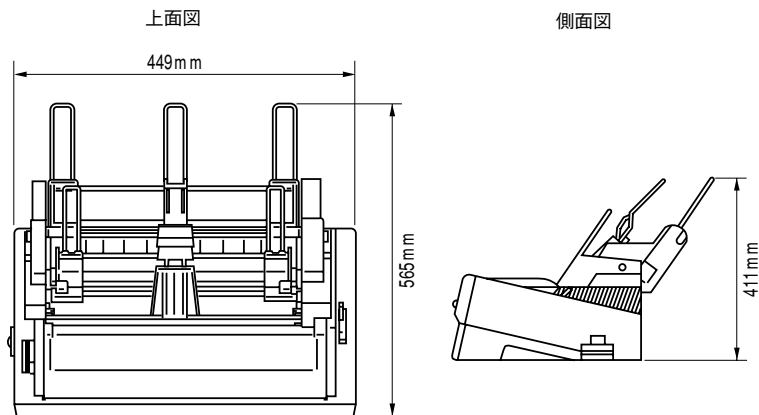
カットシートフィーダは、単票紙を連続して給紙することのできるオプションです。カットシートフィーダには以下の2種類があります。カットシートフィーダBはハガキにも対応しています。

- カットシートフィーダA（型番：VP870CSFA）
- カットシートフィーダB（型番：VP870CSFB）

仕様

使用できる用紙

カットシートフィーダ	紙種	用紙幅（mm）	用紙長（mm）	用紙厚（mm）	容量
VP870CSFA	上質紙 再生紙	182～216	182～356	0.07～0.12	最大50枚 （70kg/紙）
VP870CSFB	上質紙 再生紙	182～216	210～356	0.07～0.12	最大150枚 （70kg/紙）
	ハガキ	100	147	0.22	50枚以下 165kg相当

外形寸法

カットシートフィーダA/B（VP870CSFA＋VP870CSFB）取り付け時

重量

カットシートフィーダA：約0.55Kg
カットシートフィーダB：約1.55Kg

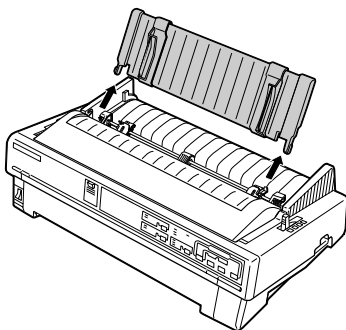
カットシートフィーダの取り付け

カットシートフィーダをプリンタに取り付けます。

カットシートフィーダ A

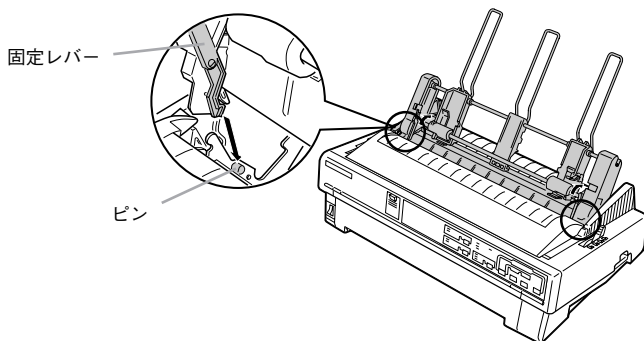
1. **カットシートフィーダを組み立てます。**
   カットシートフィーダの取扱説明書に従って、カットシートフィーダを組み立てます。

2. **［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。**

3. **用紙ガイド（後）を取り外します。**
   上に引き上げ、手前にずらして取り外します。

ポイント

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、スプロケットカバーが閉められていること、スプロケットが固定されていることを確認します。
- 連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダを取り付ける前に連続紙をセットします。

4 カットシートフィーダを取り付けます。

カットシートフィーダを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダ固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

カットシートフィーダを取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。

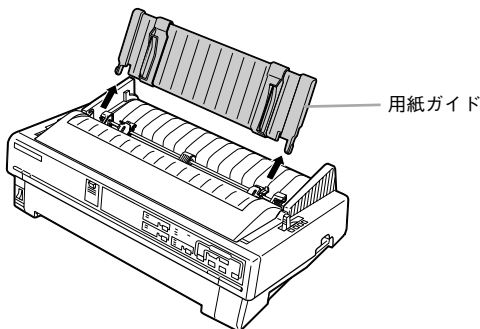
カットシートフィーダ B

1 カットシートフィーダを組み立てます。

カットシートフィーダの取扱説明書に従って、カットシートフィーダを組み立てます。

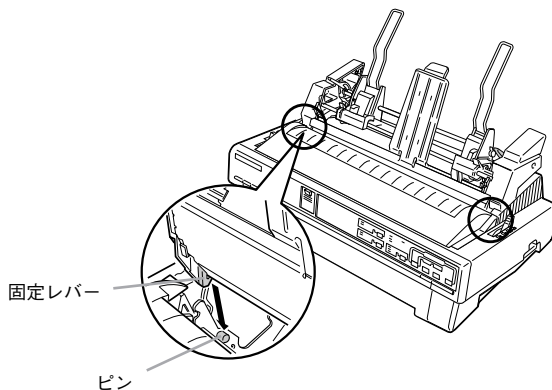
2 ［電源］スイッチがオフになっていることを確認します。

3 用紙ガイド（後）を取り外します。

上に引き上げ、手前にずらして取り外します。

ポイント

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、スプロケットカバーが閉じていること、スプロケットが固定されていることを確認します。
- 連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダを取り付ける前に連続紙をセットします。

4 カットシートフィーダを取り付けます。

カットシートフィーダを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダ固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

ポイント

カットシートフィーダの取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。

カットシートフィーダの使い方

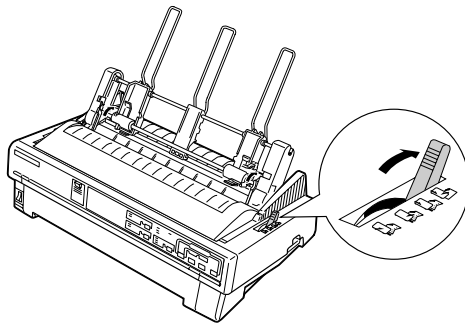
カットシートフィーダに単票紙やハガキをセットします。カットシートフィーダ A とカットシートフィーダ B を組み合わせてダブルビンカットシートフィーダとして使用することもできます。
☞ 本書 152 ページ「ダブルビンカットシートフィーダ」
カットシートフィーダ使用時でも連続紙を使用できます。
☞ 本書 123 ページ「連続紙（プッシュトラクタ）と単票紙の切り替え」

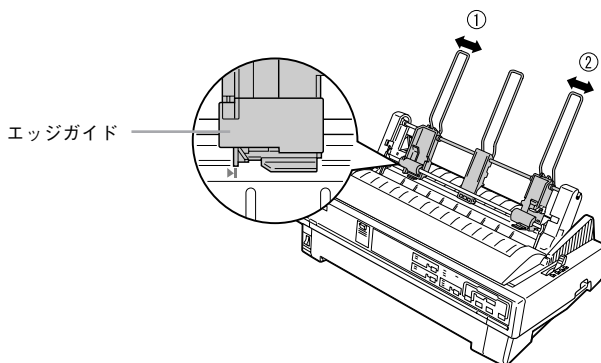
カットシートフィーダ A

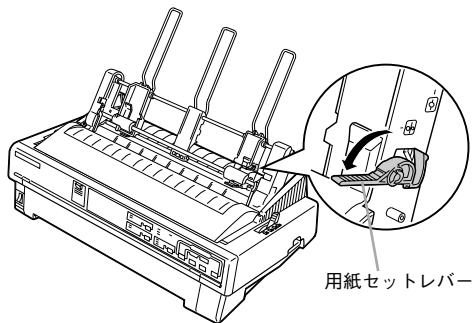
カットシートフィーダ A には、単票紙を最大 50 枚（70kg/ 紙）セットできます。

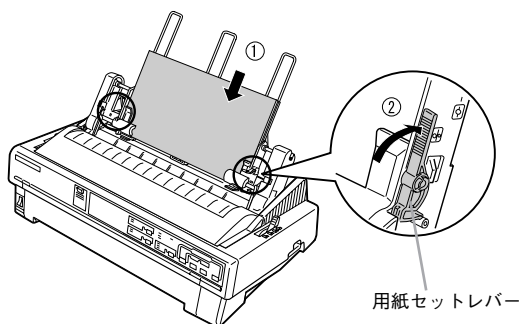
単票紙のセット

1 ［電源］スイッチをオフにします。

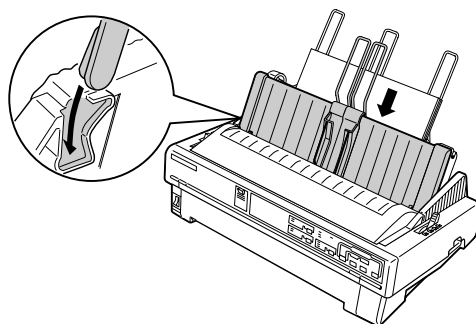
2 **レリースレバーを単票紙（ ）位置に設定します。**

3 **カットシートフィーダのエッジガイドの位置を調整します。**

カットシートフィーダのエッジガイド（左）の位置をマーク（ ）に合わせてからカットシートフィーダのエッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動します。

カットシートフィーダのセンターサポートは、用紙幅に合わせたエッジガイド（右）および（左）の中央に合わせてください。センターサポート位置が片寄っていると正しく給紙されないことがあります。

4 **用紙セットレバーを手前に倒します。**

5 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。
カットシートフィーダのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて左右の用紙セットレバーを起こします。

用紙とカットシートフィーダのエッジガイドとの間にすき間がある場合は、カットシートフィーダのエッジガイド（左）を右へ動かしてすき間をなくしてください。カットシートフィーダのエッジガイドを用紙に強く押し付けた状態で給紙すると、給紙不良を起こすことがあります。

6 **用紙ガイドをカットシートフィーダに取り付けます。**

エッジガイドは中央に寄せてください。

ポイント	カットシートフィーダから給紙された用紙は、用紙ガイド上に排紙されます。用紙ガイドで保持できる用紙枚数は、カットシートフィーダにセットできる用紙容量（紙厚 5mm 以下）の約半分の用紙枚数（紙厚 2.5mm 以下）です。

7 **［電源］スイッチをオンにします。**

コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。

カットシートフィーダ B

カットシートフィーダB には、単票紙を最大 150 枚（70kg/ 枚）、ハガキを最大 50 枚（165kg 以下）セットすることができます。

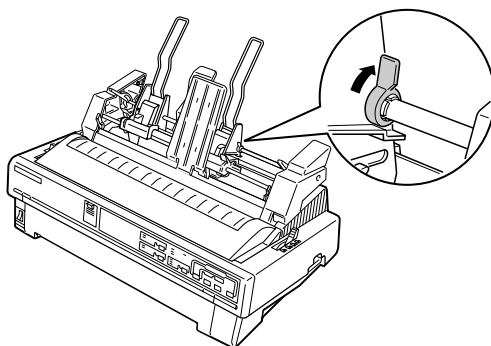
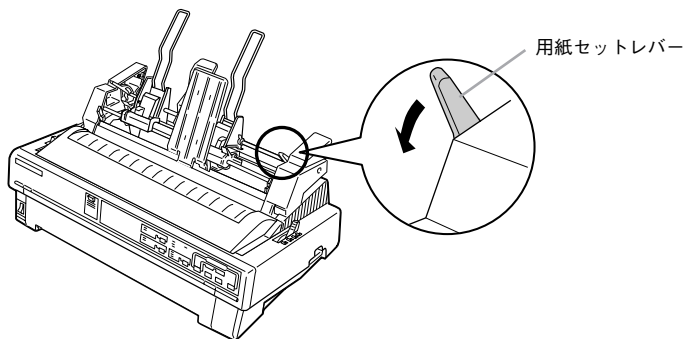
単票紙のセット

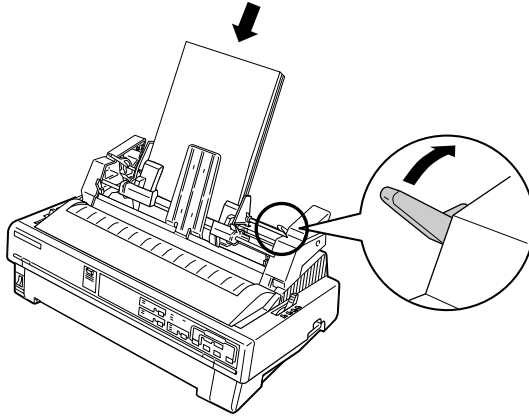
1 **［電源］スイッチをオフにします。**

2 **レリーズレバーを単票紙（ ）位置に設定します。**

3 **カットシートフィーダのエッジガイドの位置を調整します。**

固定レバーを手前に倒してから、エッジガイド（左）の位置をマーク（▶I）に合わせ、エッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動します。

4 **固定レバーを後ろに倒して固定します。**

5 **用紙セットレバーを手前に倒します。**

6 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。
カットシートフィーダのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて、左右の用紙セットレバーを後ろに倒します。

ポイント

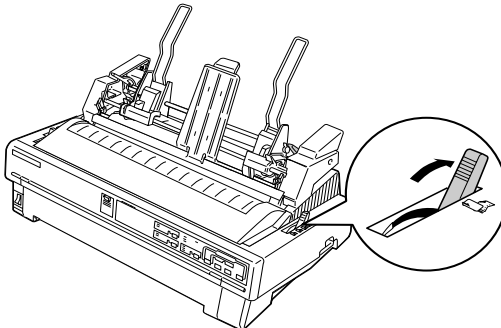
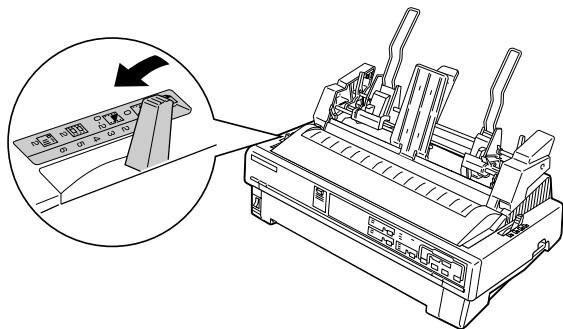
セットした用紙が多すぎると、用紙セットレバーを完全に閉じることができません。用紙枚数を減らしてください。

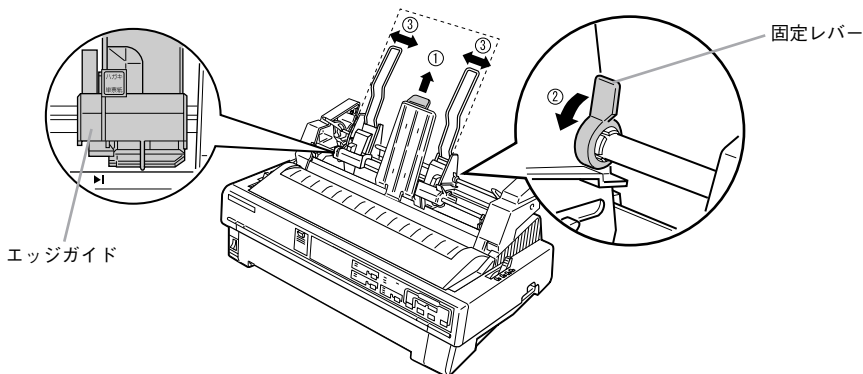
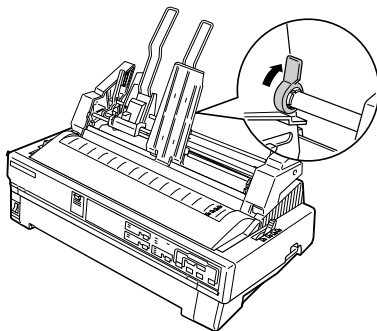
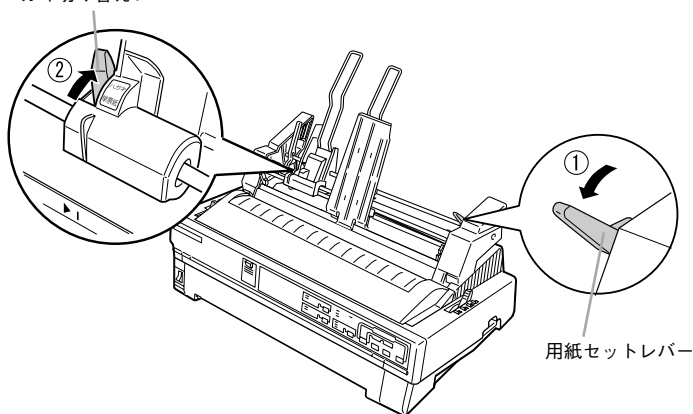
7 **［電源］スイッチをオンにします。**

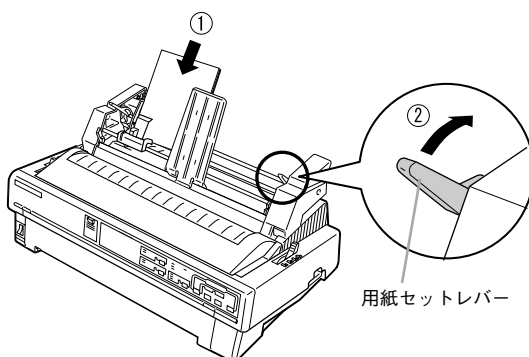
コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。

ハガキのセット

1 **［電源］スイッチをオフにします。**

2 **レリースレバーを単票紙（ ）位置に設定します。**

3 **アジャストレバーを「2」に設定します。**

4 **用紙サポートを取り外し、カットシートフィーダのエッジガイドの位置を調整します。**

固定レバーを手前に倒してから、エッジガイド（左）の位置をマーク（▶|）に合わせ、エッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動します。

5 **固定レバーを後ろに倒して固定します。**

6 **用紙セットレバーを手前に倒し、左右のハガキ切り替えレバーを後ろに倒します。**

7 **ハガキをセットします。**

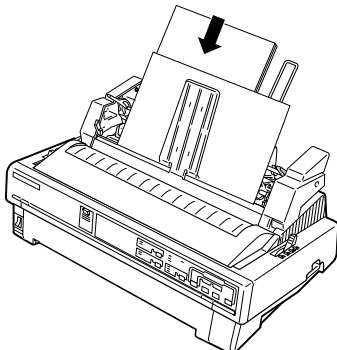
ハガキはよくさばいてからハガキの端をそろえてセットします。
カットシートフィーダのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて、左右の用紙セットレバーを後ろに倒します。

セットした用紙が多すぎると、用紙セットレバーを完全に閉じることができません。用紙枚数を減らしてください。

8 **［電源］スイッチをオンにします。**

コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。

単票紙の手差し給紙

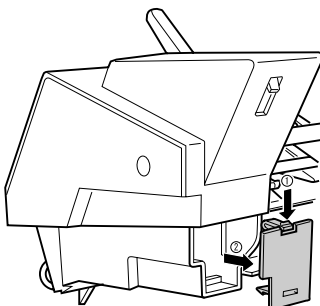
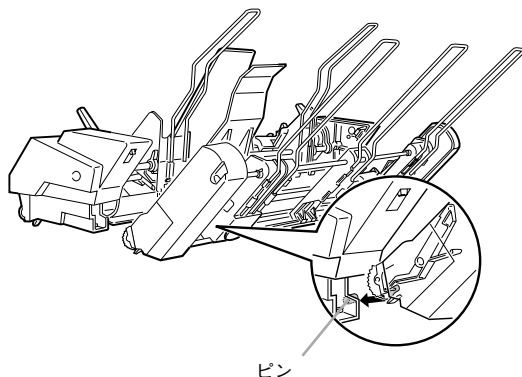
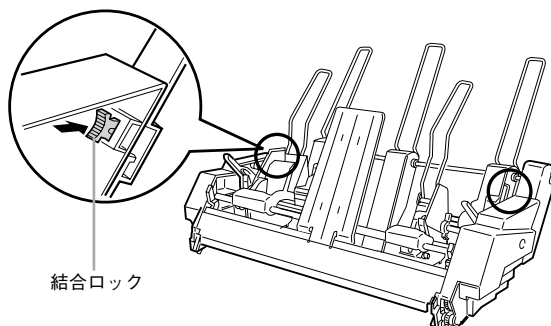
カットシートフィーダを取り付けたまま、単票紙を用紙ガイド（前）またはカットシートフィーダから手差し給紙することができます。用紙ガイド（前）からの給紙については、以下のページを参照してください。カットシートフィーダから給紙するには、スタッカサポートとエッジガイドの間に用紙をセットします。

本書 120 ページ「単票紙のセット」

ポイント

- 印刷が1枚を超える場合、2枚目からは自動的にカットシートフィーダから給紙されます。
- 2 枚以上連続して手差し給紙するときは、カットシートフィーダの用紙セットレバーを手前に倒して、カットシートフィーダから給紙できないようにしてください。

ダブルビンカットシートフィーダ

カットシートフィーダAとカットシートフィーダB の２つを組み合わせて使用することにより、より多量の単票紙を印刷することができ、便利です。

1. カットシートフィーダ B の後ろのカバーを取り外します。

2. カットシートフィーダＢの後ろのピンにカットシートフィーダ Ａを取り付けます。

3. カットシートフィーダＢにある左右の結合ロックを押し､2 つのカットシートフィーダを結合します。

4. ダブルビンカットシートフィーダを取り付けます。

プリンタへの取り付け方法は、カットシートフィーダＢと同じです。

☞ 本書 142 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

用紙のセット方法はそれぞれのカットシートフィーダと同じです。

☞ 本書 144 ページ「カットシートフィーダの使い方」

- 給紙装置の選択は、[用紙カット位置］スイッチまたはコントロールコードで行います。カットシートフィーダ A は［ビン 2]、カットシートフィーダ B は［ビン 1］となります。
- カットシートフィーダを取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の手順で行ってください。

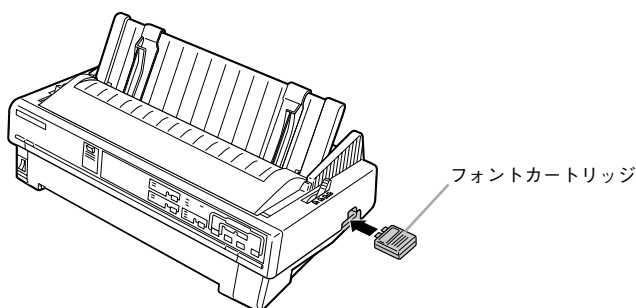
フォントカートリッジの取り付け

オプションのフォントカートリッジを取り付けると、印刷する文字の書体を変えることができます。

ポイント

- プリンタの電源がオンの状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源をオフにして行ってください。
- 書体の選択は、[書体] スイッチまたはコントロールールコードで行います。

1. [電源] スイッチをオフにします。

2. フォントカートリッジをプリンタ右側にあるフォントカートリッジスロットに差し込みます。

ポイント

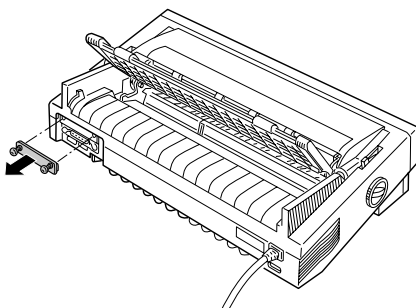
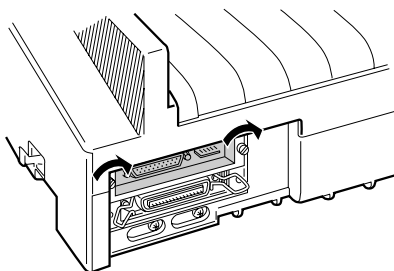
- フォントカートリッジの取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の手順で行ってください。
- Windows 環境でお使いの場合は、プリンタドライバでフォントカートリッジの設定を行ってください。

インターフェイスカードの取り付け

パラレル以外のインターフェイスケーブルを使用するときは、オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

1 ［電源］スイッチをオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続されているインターフェイスケーブルを取り外します。

プリンタの電源がオンの状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源をオフにして行ってください。

2 オプションインターフェイス用のコネクタカバーを取り外します。

3 インターフェイスカードを差し込みます。
インターフェイスカードのコネクタとプリンタ内部のコネクタを合わせるように差し込み、両端のネジでインターフェイスカードを固定します。

PRIF3 シリアルインターフェイスカードについて

VP-870 にシリアルインターフェイスカード（PRIF3）を取り付けて使用する場合の転送速度、X-ON/OFF 送出タイミング、エラー処理は以下の通りです。

転送速度

150BPS、300BPS、600BPS、1200BPS、2400BPS、4800BPS、9600BPS、19200BPS

X-ON/OFF 送出タイミング

X-OFF コードおよびDTR 信号の出力	入力データバッファの空き容量が 256 バイト以下になったとき。
X-ON コードおよび DTR 信号の出力	入力データバッファの空き容量が 512 バイト以下になったとき。

エラー処理

パリティエラーが発生した場合	" * " を印字します。
その他のエラーが発生した場合	オーバーランエラーやフレーミングエラーなどは無視します。

シリアルインターフェイスカード（PRIF3）について詳しくは、PRIF3 の取扱説明書を参照してください。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	お取扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）

送料

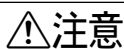
お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

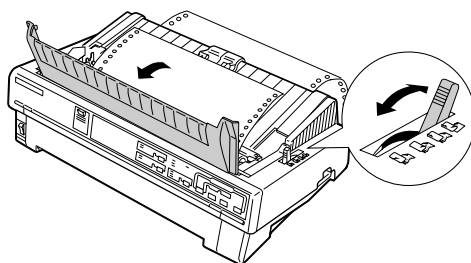
困ったときは

用紙が詰まったときは

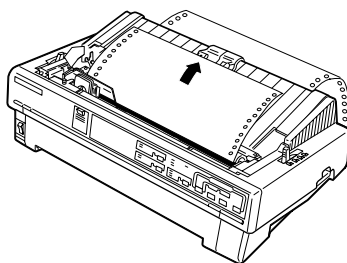
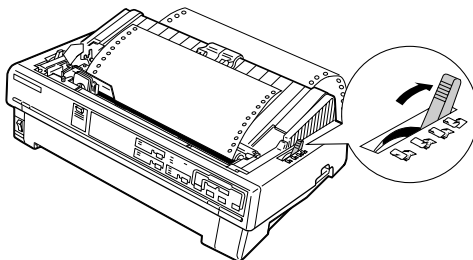
プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

⚠注意　印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

処理方法

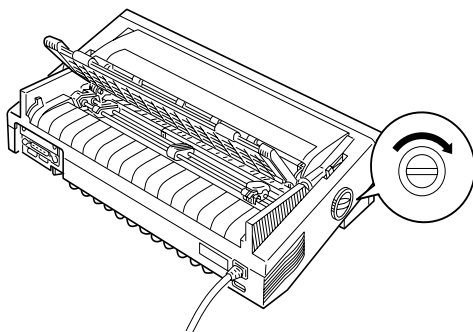
1 ［電源］スイッチをオフにします。

2 プリンタカバーを開けて、給紙方法に合わせてレリーズレバーを設定します。

ポイント　細部をご覧いただくために、以降のイラストはプリンタ カバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

3 詰まっている用紙を取り除きます。

詰まっている用紙を完全に取り除いた場合は、6 へ進みます。上記の方法で取り除けなかった場合、またはプリンタ内に紙くずが残ってしまった場合は、4 に進んでください。

4 レリースレバーをいったん単票紙（ ）位置に戻します。

5 紙送りノブを時計回りに回して用紙を取り除きます。

紙送りノブをゆっくりと回しながら、用紙を静かに引き抜きます。

- 紙送りノブを回すときは、必ず電源をオフにしてください。
- ラベル紙は給紙方向と逆方向に引き抜かないでください。ラベル紙がプリンタ内部に貼り付くことがあります。ラベル紙を取り除く場合は、ラベル紙がプリンタに給紙される手前で切り離してからノブを時計回りに回して用紙を送ってください。

6 ［電源］スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。

7 プリンタカバーを閉じます。

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、次の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  ☞ 本書 83 ページ「使用可能な用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。
  ☞ 本書 94 ページ「連続紙のセットと排紙」
  ☞ 本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- カットシートフィーダ（オプション）に用紙をセットするときは、用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
- 許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダ（オプション）に用紙をセットするときはセットされている用紙がすべて給紙されてから新しい用紙をセットしてください（用紙の追加は重送* の原因となります）。
  ＊ 重送：カットシートフィーダ（オプション）からの給紙する場合に複数枚の紙が送られてしまうことです。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、用紙がなるべく直線になるような給紙経路にしてください。
  ☞ 本書 94 ページ「連続紙のセットと排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れていないことを確認してください。

ランプが点灯しない

［電源］スイッチをオンにしても操作パネルのランプが 1 つも点灯しないときは、次の 3 点を確認してください。

電源がコンセントから抜けていませんか？

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチをオンにします。
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確認して、正しい電圧で使用してください。

以上 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオン（ー）にしてもランプが点灯しない場合は、保守契約店または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては以下のページを参照してください。
本書 215 ページ「保守サービスのご案内」

ランプが点灯していても印刷できない

リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう

リボンカートリッジが正しく取り付けられていますか？

以下のページを参照してリボンカートリッジを正しく取り付けてください。

本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 134 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

コンピュータとプリンタはケーブルで直接接続していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファおよび延長ケーブル、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）を使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。

プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直接接続し、正常に印刷できるか確認してください。

プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう

本機用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

本機用の Windows（Windows 3.1/NT3.51 を除く）プリンタドライバがコントロールパネルやアプリケーションで、通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

①［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

☞ 53 ページ

②使用するプリンタ名を選択し［ファイル］メニューを確認します。

［通常使うプリンタ］の設定になっているか確認します。

Windows 3.1/NT3.51 の場合は、プリントマネージャにプリンタが登録されていることを確認してください。

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

エラーが発生していないか確認しましょう（プリンタ側）

［印刷可］ランプが点滅して印刷しない、あるいは印刷が突然止まった場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。このような場合は、ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

［印刷可］ランプが消えていませんか？

［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

用紙がなくなっていませんか？

用紙をセットしてください。用紙をセットし直したときは、一旦［電源］スイッチをオフにしてからしばらく待ち、再度［電源］スイッチをオンにしてください。

[レリースレバー] の設定が合っていますか？

レリースレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。

本書 93 ページ「給紙経路の設定方法」

用紙やリボンや保護材などが詰まっていませんか？

［電源］スイッチをオフにし、プリンタカバーを開けて取り除いてください。

プリンタがハング（異常な状態で停止）していませんか？

一旦［電源］スイッチをオフにしてからしばらく待ち、再度［電源］スイッチをオンにしてください。

エラーが発生していないか確認しましょう

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書 80 ページ「プリンタ接続先の設定」

プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。印刷を開始するためには［一時停止］のチェック（✓）を解除するか［再開］を選択してください。

本書 62 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生していませんか？

以下の項目を確認してください。

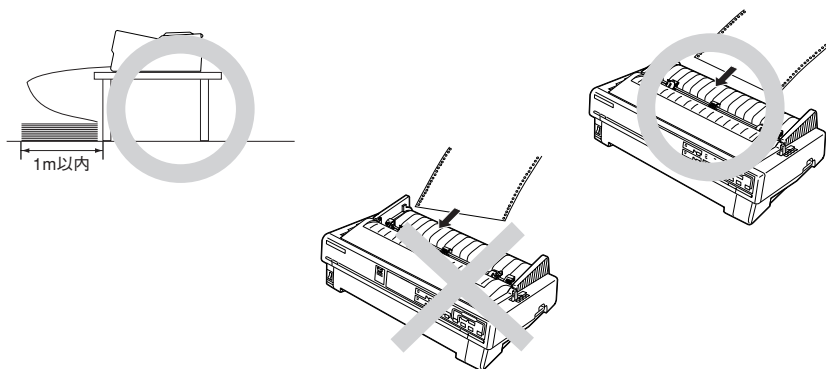
- ［プリンタ］フォルダからプリンタドライバを開き、［詳細］タブの［印刷先のポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- ［プリンタ］フォルダからプリンタドライバを開き、［詳細］タブの［スプールの設定］で［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- 本機は ECP モードに対応しておりません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS 設定をノーマルまたはスタンダードモードに変更してください。BIOS 設定についての詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

紙送りがうまくいかない

仕様に合った用紙を使用していますか？

用紙の厚さ、枚数や紙質など仕様に合った用紙を使用してください。
使用可能な用紙については以下のページを参照してください。
本書 187 ページ「プリンタの仕様」

連続紙の置き場所に問題はありませんか？

連続紙が引っかからないように、連続紙の置き場所は、プリンタから 1m 以内の場所でプリンタに対してまっすぐ給紙される位置に置いてください。
連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

エッジガイドの間隔は適切ですか？

単票紙がスムーズに給紙できるよう、エッジガイドの間隔を調整してください。
エッジガイドの間隔が狭すぎると用紙が詰まることがあります。逆に広すぎると用紙が傾いて給紙されることがあります。

手差し給紙で、単票紙はしっかりと差し込まれていますか？

手差し給紙するときは、用紙ガイドに用紙をセットし、用紙の端部中央を指で押すように差し込んでください。
本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」

連続紙がトラクタから外れていませんか？

連続紙をトラクタに正しくセットし直してください。
本書 109 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

連続紙が傾いた状態でトラクタにセットされていませんか？

連続紙の両端の穴が左右ずれた状態でトラクタにセットされていると正常な紙送りが行えません。
左右のスプロケットのゴムピンの位置を揃えてからセットしてください。

連続紙をセットする際のスプロケットの間隔は適当ですか？

連続紙がたるんだり、強く張りすぎたりしないように左右のスプロケットの位置を調整してください。
☞ 本書 94 ページ「連続紙のセットと排紙」

レリースレバーの設定が合っていますか？

レリースレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。
☞ 本書 93 ページ「給紙経路の設定方法」

排紙が正常にできない

［改行 / 改ページ］スイッチを使用して排紙していませんか？

単票紙を排紙する場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを使用してください。

印刷が終わると急に紙送りされませんか？

自動ティアオフ機能が設定されています。設定を解除する場合は、ディップスイッチでプリンタ設定を変更してください。

☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

ミシン目スキップ（25.4mm｛1 インチ｝幅の空白行）が実際のミシン目とズレていませんか？

以下の 3 点を確認してください。

- プリンタ設定の［連続紙ページ長］をお使いの用紙サイズと合わせてください。
  ☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
- ソフトウェア上の用紙サイズまたはページ長（連続紙）と、実際に使用している用紙サイズまたは用紙の長さを合わせてください。
  ☞ 本書 194 ページ「コントロールコード表」
- 給紙位置を調整してください。
  ☞ 本書 116 ページ「用紙位置の微調整」

連続紙が排紙されずに給紙位置に残っていませんか？

排紙する前に印刷が終了している連続紙をミシン目で切り離してください。

ラベル紙が詰まったり引っかかったりしませんか？

ラベル紙を［給紙 / 排紙］スイッチで排紙（逆送り）すると、プリンタ内部にラベルが貼り付くことがあります。

印刷後のラベル紙を取り出すときは、［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。

ラベル紙からほかの用紙に切り替えるときは、トラクタ側のミシン目で切り離し、ラベル紙を取り除いてください。再度ラベル紙を使用するときは、ラベル紙をセットし直してください。

プリンタ内部にラベル紙が貼り付いて正常に印刷できない場合は、無理に取り除かずに保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては以下のページを参照してください。

☞ 本書 215 ページ「保守サービスのご案内」

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面表示と異なる

本書でご案内しているインターフェイスケーブルを使用していますか？

本書でご案内している推奨ケーブル以外のケーブルを接続に使用すると正常に印刷できない場合があります。

☞ 本書 134 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

文字が化けたり、記号がカタカナで印刷されていませんか？

文字コード表の選択が合っていますか？プリンタ設定の［文字コード表］の設定を確認してください。

☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC tn）により、文字コード表を選択してください。

☞ 本書 194 ページ「コントロールコード表」

特定の文字や記号が違う文字や記号に化けませんか？

国際文字の選択が間違っています。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC Rn）により使用する国の文字に変更してください。

文字が混入したり、まったく違う文字記号に化けていませんか？

- PC-98 系コンピュータを使用しているときは、プリンタ設定の［ESC/P スーパー機能］を［ON］に設定してください。ソフトウェア上のプリンタ設定がエプソンプリンタのとき、または海外版ソフトウェアを使用しているときは、［ESC/P スーパー機能］を［OFF］に設定してください。
  ☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
- コンピュータ側のパラレルインターフェイスの設定が［ECP モード］になっている場合は［ノーマルモード］または［スタンダードモード］に変更してください。設定変更の方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- 書体が違う場合は、操作パネルの［書体］スイッチで書体を選択してください。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC K または FS K）により、書体を選択してください。

画面の表示が旧 JIS 漢字で表示されていませんか？

本機で印刷する漢字は JIS X0208-1983 に準拠しています。旧 JIS との違いについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 207 ページ「旧 JIS（JIS C6226-1978）との違いについて」

印刷位置（結果）が画面表示と異なる

空白行が入ったり、改ページが正しく行われずに印刷されていませんか？

- プリンタドライバから用紙サイズを設定している場合は、正しい用紙サイズを選択してください。
  本書 54 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- アプリケーションソフトやプリンタで設定しているページ長または用紙サイズと実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズが異なっています。
  アプリケーションソフトやプリンタの設定を実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズと合わせてください。
  連続紙のページ長は、プリンタ設定の［連続紙ページ長］で設定してください。
  本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
- プリンタ設定の［ミシン目スキップ］が［ON］に設定されています。プリンタ設定の［ミシン目スキップ］を［OFF］に設定してください。
  本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
- ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コントロールコード（ESC O）によりミシン目スキップを解除してください。
  本書 194 ページ「コントロールコード表」
- Windows 環境の場合：
  - プリンタドライバで設定されている用紙サイズと使用している用紙のサイズを合わせてください。この際、用紙長が一致するサイズを選択してください。
    例えば、用紙幅 7 インチ、用紙長 4.5 インチの連続紙の場合は、用紙サイズの「10 x 4 1/2inch 連続紙」を選択します。
  - 用紙の横方向のサイズに関係なく「10 x XXinch 連続紙」を選択し、右マージンはアプリケーションソフトの設定で行ってください。

行間隔が違っていませんか？

- 改行量の設定が不適切な場合は、行間隔が広くなったり狭くなったりします。アプリケーションソフトの改行量を正しく設定してください。
- すべての行間に空白行が追加される場合は、プリンタ設定の［自動改行］が［ON］に設定されている可能性があります。
  ソフトウェアから改行命令が送られるときは、自動改行する必要はありません。プリンタ設定の［自動改行］を［OFF］に設定してください。
  本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

エッジガイドの位置がガイドマーク に合っていますか？

用紙ガイドまたはカットシートフィーダのエッジガイド位置は、単票紙の左マージン（余白）に影響します。
エッジガイド（右）をガイドマークに合わせてください。もう一方のエッジガイドは用紙の幅に合わせてください。
本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」
本書 144 ページ「カットシートフィーダの使い方」

英文テキストが縮小印刷されていませんか？

英文テキストを縮小印刷する設定になっています。プリンタ設定の［縮小］を［OFF］にしてください。
本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（DC2）により、縮小印刷を解除してください。
本書 194 ページ「コントロールコード表」

連続紙の使用時、スプロケットの位置を確認してください。

連続紙の使用時、スプロケット（左）の位置は、左マージン（余白）に影響します。スプロケットの位置を調整して印刷してください。
本書 94 ページ「連続紙のセットと排紙」

改行されずに重なって印刷されていませんか？

改行命令がコンピュータから送られていません。プリンタ設定の［自動改行］を［ON］に設定してください。
本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

ミシン目付近に印刷されていませんか？

連続紙の実際のページ長とプリンタ設定の［連続紙ページ長］が異なっています。
アプリケーションソフトやプリンタ設定を実際に使用している用紙の長さと合わせてください。

☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」

罫線がずれる

プリンタ設定値の印字方向が双方向に設定されていませんか？

- プリンタ設定の［単方向印字］を［ON］に設定してください。
  ☞ 本書 127 ページ「プリンタ設定の方法」
- ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC U1）により、単方向に設定してください。
  ☞ 本書 194 ページ「コントロールコード表」

罫線が切れたり、印刷がずれたりしていませんか？

アプリケーションソフトのプリンタ設定に問題があります。以下の内容を順番に確認してください。

① アプリケーションソフト上の用紙設定を、プリンタで使用する用紙と合わせてください。

② プリンタにカットシートフィーダを取り付けているときは、アプリケーションソフト上でカットシートフィーダが使用できるかどうか確認してください。
カットシートフィーダが使用可能なときは、ソフトウェア上でカットシートフィーダを使用する設定にしてください。
カットシートフィーダの記載がないときまたはプリンタ設定でPC-PR系のプリンタ（PC-PR201H など）を選択したときは、プリンタからカットシートフィーダを取り外してください。

PC-98 系コンピュータのメモリスイッチの設定は正しいですか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン ＰＣ シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NEC PC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

設定と異なる印刷をする

ディップスイッチ、プリンタドライバ、アプリケーションソフトから異なった条件で設定していませんか？

印刷条件の設定は、ディップスイッチ、プリンタドライバ、アプリケーションソフトそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご使用の状況により異なりますので、設定と違う印刷を行う場合は、各設定を確認してください。

印刷品質がよくない

印刷ムラがある・汚い

横一列にところどころ抜けていませんか？

プリントヘッドのピンが折れています。保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口については以下のページを参照してください。

本書 214 ページ「サービス・サポートのご案内」

印字の下の部分が欠けていませんか？

リボンカートリッジが正しく取り付けられていません。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

斜めの線が入っていませんか？

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

印刷が薄い

印刷が薄くなっていませんか？

- リボンのインクが薄くなっています。
  印刷を中止して、新しいリボンカートリッジと交換してください。
  本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」
- アジャストレバーの設定が適切ではありません。
  アジャストレバーを紙厚に適した設定にしてください。
  本書 92 ページ「アジャストレバーの設定」
- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［ドラフト］になっていませんか？
  ［正式文書］に設定して印刷して
  ください。
  本書 58 ページ「グラフィックス、印刷品質の設定」
- DOS 環境下で高速印字が設定されています。
  操作パネルの［高速印字］スイッチを押して、高速印字の設定を解除してください。
  本書 19 ページ「操作パネル」

プリンタドライバの使い方が分からない

用紙サイズの設定の仕方が分からない

プリンタドライバの用紙設定を確認してください。

定形紙	用紙サイズの一覧からクリックして選択します。一覧にない定形紙の場合は、ユーザー定義サイズで設定する必要があります。
定形外	ユーザー定義サイズで設定してください（連続紙は設定できません）。

本書 60 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

連続紙の場合は、以下の手順に従って設定してください。

① 用紙の横と縦（ミシン目とミシン目の間）のサイズを計ります。

② プリンタドライバ上では、inch　単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 10 ×縦 4.5inch の用紙とします）。

③ プリンタドライバの [用紙サイズ] の一覧から、10 × 4.5inch に合うサイズを選択します（プリンタドライバ上では、4.5inch を 4 1/2inch と分数で表現しています）。

インストールの仕方が分からない

Windows 3.1/95（98/Me）*/2000 をお使いの場合は、本機に添付の EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM に Windows 用プリンタドライバが収録されています。

* Windows 98/Me は Windows 95 用のプリンタドライバを代用することが可能。

前述以外の Windows をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバを使用します。

以下のページを参照して、インストールしてください。

本書 39 ページ「Windows でのセットアップ」

プリンタドライバの入手方法、ダウンロード方法

エプソンディスクサービスまたはエプソン販売のホームページをご利用ください。入手方法、ダウンロード方法について詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 218 ページ「最新のプリンタドライバ入手方法」

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

オプション関係のトラブル

カットシートフィーダで給排紙が正常にできない

給紙されなかったり、用紙チェックランプが点灯しませんか？

- カットシートフィーダが正しく取り付けられていません。
  カットシートフィーダがプリンタ本体に正しく取り付けられていることを確認してください。特に、プリンタ本体とカットシートフィーダのギアがうまくかみ合っていることを確認してください。
  ☞ 本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- カットシートフィーダのエッジガイド間隔が不適切です。
  セットした用紙がなめらかに給紙するようにエッジガイドの間隔を狭すぎず、広すぎずに調整してください。
  ☞ 本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- カットシートフィーダにセットした最後の 1 枚は、給紙されないことがあります。
  カットシートフィーダの用紙が少なくなったら、残っている用紙をすべて取り除き、新しい用紙をセットしてください。用紙が残っている状態で新しい用紙をセットすると、同時に複数枚の用紙が送られてしまい用紙詰まりの原因となることがあります。
- 用紙がブロッキング（くっついている状態）しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

一度に 2 枚以上の用紙が給紙されませんか？

- カットシートフィーダにセットされている用紙の枚数が多すぎます。
  セットされている用紙の枚数を減らしてください。セットできる用紙の枚数は以下のページで確認してください。
  ☞ 本書 141 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 用紙がブロッキング（くっついている状態）しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

単票紙を手差し給紙していませんか？

カットシートフィーダから手差し給紙はできません。
手差し給紙する場合は、用紙ガイド（前）から行ってください。
本書 120 ページ「単票紙のセットと排紙」

レリースレバーが単票紙（ ）位置になっていますか？

- カットシートフィーダから給紙する時は、レリースレバーを単票紙（ ）位置に設定してください。
- レリースレバーが単票紙（ ）になっているにもかかわらず、連続紙が給紙されてしまったときは、連続紙が完全に後方へ排紙されていなかったことが考えられます。レリースレバーを切り替える前に、[給紙 / 排紙] スイッチを押して、連続紙をトラクタの位置まで完全に戻してからレリースレバーを切り替えてください。

プルトラクタユニットを使用して紙送りがうまくできない

プッシュトラクタ（後）とプルトラクタユニットの間で連続紙がたるんでいませんか？

連続紙のたるみを取り除いてから給紙してください。

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本機のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

フォントカートリッジの文字が印刷されない

外部書体が選択されていますか？

- 操作パネルの［書体］ボタンを押して［外部書体］に設定してください。
  本書 19 ページ「操作パネル」
- ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（FSK1、ESC K1）により外部書体に設定してください。
  本書 194 ページ「コントロールコード表」

フォントカートリッジが正しく取り付けられていますか？

フォントカートリッジがプリンタ本体に正しく取り付けられていることを確認してください。

本書 154 ページ「フォントカートリッジの取り付け」

その他のトラブル

印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった

- 印刷中に印刷可ランプが点滅して印刷速度が遅くなったり、印刷が停止した場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。
- 低温環境下でプリンタを動作させると、コールドモード（プリントヘッドの温度が許容範囲以下になっているために、自動的に印刷速度を低速にしている状態）になる可能性があります。プリントヘッドの温度が上がると、自動的に通常の印刷速度に戻りますので、しばらくそのままで印刷を継続してください。
  また、複写枚数の多い用紙や厚い紙などに印字する場合、印刷品質を確保するために印刷速度を落として動作することがあります。故障ではありませんので、安心してお使いください。

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本機からアースを取る場合には、エプソンの修理窓口までお問い合わせください。

どうしても解決しないときは

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→動作確認実行

本機は、プリンタの機能が正常に動作しているかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。

1. **［電源］スイッチをオフにし、インターフェイスケーブルを外します。**

2. **［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

3. **単票紙をセットします。**
   自動的に用紙を給紙し、動作確認を開始します。印刷しないときは［電源］スイッチをオフにして ② からやり直してください。

   正常に印刷できない場合
   保守契約（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては、以下のページを参照してください。
   本書 215 ページ「保守サービスのご案内」

   正常に印刷できる場合
   プリンタは故障していません。続いて、プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。判断のしかたは、次の項目を参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows （3.1/NT3.51 を除く）標準添付のワードパッドで簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

ワードパッドを起動した後、数文字入力してからファイルメニューの［印刷］を実行します。

正常に印刷できない場合

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンなどに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる場合

- プリンタドライバをバージョンアップすることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。
- お使いのアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合わせ先へご相談ください。

それでもトラブルが解決できない場合は、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターの問い合わせ先は、スタートアップガイドの裏表紙にあります。
お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

付録

プリンタのお手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。

- ［電源］スイッチをオフにして、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

⚠警告　プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉じてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

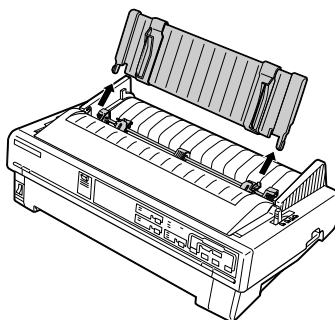
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- 固いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要な場合には、販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。

プリンタの運搬

本機を輸送する場合は､プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

1. **［電源］スイッチをオフにします。**
   用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を取り除いておきます。
   カットシートフィーダを取り付けてある場合は、取り外します。

2. **電源プラグとインターフェイスケーブルを外します。**
   電源プラグをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

3. **用紙ガイド（後）を取り外します。**
   取り外しの方法は、取り付けの逆の手順で行ってください。
   本書 25 ページ「用紙ガイド（後）の取り付け」

> ⚠注意　プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

4. **プリンタカバーを開けて、リボンカートリッジを取り外します。**
   本書 137 ページ「リボンカートリッジの交換」

5. **プリントヘッドが移動しないように、テープで固定します。**

6. **プリンタカバーを閉じます。**

7. **梱包材を取り付けて、プリンタを水平に梱包箱に入れます。**

プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。

プリンタの仕様

基本仕様

- 印字方式 ： インパクトドットマトリクス
- ピン数 / ピン配列 ： 24 ピン /12x2 列
- 印字方向 ： 双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
- 印字桁数 / 印字速度

＜英数カナ文字＞

印字ピッチ	印字桁数（CPL*2）	印字速度（CPS*3）	
		ドラフト	高品位
10CPI*1	80	275	92
12CPI	96	330	110
15CPI	120	413	138
17CPI（10CPI 縮小）	137	236	157
20CPI（12CPI 縮小）	160	275	183

＜漢字＞

印字モード	印字桁数（CPL）	印字ピッチ（CPI）	印字速度（CPS）	
			高速	高品位
漢字全角	53	6.7	122	61
漢字半角	110［106］*4	13.8［13.3］	254［244］	127［122］
1/4 角文字	102［99］	12.8［12.4］	236［228］	118［114］

*1 CPI(Characters per inch) 25.4mm 当たりの文字数
*2 CPL(Characters per line) 1 行当たりの文字数
*3 CPS(Characters per second) 1 秒間当たりの印字文字数
*4 ［ ］内は半角文字間スペース補正時

- 紙送り方式 ： フリクションフィード（前、後）
  プッシュトラクタフィード（前、後）
  プルトラクタフィード（前、後、底面）
  プッシュ / プルトラクタフィード（前、後）
  カットシートフィーダ（オプション）
- 改行間隔 ： 初期設定 4.23mm ｛1/6 インチ｝
  （0.14mm{1/180 インチ } 単位に設定可能）
- 改行速度 ： フリクションフィード
  59ms/ 行（行間隔 4.23mm ｛1/6 インチ｝）
  62.7ms/ 行（行間隔 4.23mm ｛1/6 インチ｝ カットシートフィーダ装着時）
  トラクタフィード
  64.1ms/ 行（行間隔 4.23mm ｛1/6 インチ｝）
- 入力データバッファ ： 約 8K バイト

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード	漢字コード （JISX0208-1983 準拠）
文字種	英数カナ文字 グラフィック 拡張グラフィック 国際文字	第 1 水準 第 2 水準 特殊文字
書体	EPSON ROMAN EPSON SANS SERIF（オプション装着時）	明朝体 ゴシック体（オプション装着時）

用紙仕様

用紙仕様の詳細な説明は以下のページを参照してください。

本書 83 ページ「使用可能な用紙」

＜連続紙＞

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙、裏カーボン紙
用紙幅	101 ～ 254mm｛4 ～ 10 インチ｝	
折り畳み長	101 ～ 558.8mm｛4 ～ 22 インチ｝	
用紙厚	0.065 ～ 0.32mm	
用紙連量 *	45 ～ 70kg （坪量 52.3 ～ 82g/m^2）	34 ～ 50kg ＜ 1 枚当たり＞ （坪量 40 ～ 58.2g/m^2）

* 連量：四方判（788x1091mm²）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

＜単票紙＞

項目		一般紙	複写紙
品質		上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙、 裏カーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）	182 ～ 257mm｛7.2 ～ 10.1 インチ｝	
	用紙ガイド（後）	148 ～ 257mm｛5.8 ～ 10.1 インチ｝	－
	カットシートフィーダ	182 ～ 216mm｛7.2 ～ 8.5 インチ｝	－
用紙長	用紙ガイド（前）	148 ～ 364mm｛5.8 ～ 14.3 インチ｝	
	用紙ガイド（後）	100 ～ 364mm｛3.9 ～ 14.3 インチ｝	
	カットシートフィーダA	182 ～ 356mm｛7.2 ～ 14.0 インチ｝	－
	カットシートフィーダB	210 ～ 356mm｛8.2 ～ 14.0 インチ｝	－
用紙厚	用紙ガイド	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.32mm
	カットシートフィーダ	0.07 ～ 0.14mm	－
用紙重量（連量）	用紙ガイド	48 ～ 78kg （坪量 52.3 ～ 90g/m^2）	34 ～ 50kg ＜ 1 枚当たり＞ （坪量 40 ～ 58.2g/m^2）
	カットシートフィーダ	55 ～ 78kg （坪量 64 ～ 90g/m^2）	－

＜複写紙の推奨組み合わせ＞
構成枚数と連量（Kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43
2 枚目	―	43	34	34
3 枚目	―	―	43	34
4 枚目	―	―	―	43

＜ハガキ＞

項目	詳細	
品質	官製ハガキ（通常ハガキ）	官製往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.22mm	

＜ラベル紙＞

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101 ～254mm {4～ 10 インチ}
台紙折り畳み長	101 ～558.8mm {4 ～22 インチ}
用紙厚（台紙を含む）	0.16～ 0.19mm（台紙0.07 ～ 0.09mm）
用紙連量	55kg（坪量68g/m^2）

電気関係仕様

定格電圧	AC 100V
入力電圧範囲	AC 90～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	3.6A
消費電力	連続印刷時平均　約 58W（セルフテスト時、英数カナ文字ドラフト）

総合仕様

総印字量	500 万行（プリントヘッド寿命を除く）
プリントヘッド寿命	2 億ストローク（ピン当たり）
温度	動作時：5 〜 35 ℃ 15 〜25 ℃（ラベルに印刷する場合） 保存時：− 30 〜 60 ℃
湿度	動作時：10 〜80%（非結露） 30 〜60%（ラベルに印刷する場合） 保存時：5 〜 85%（非結露）
一般室温環境	温度 15 〜 25℃、湿度 30 〜60%（非結露）
プリンタ本体重量	約9.1kg
プリンタ本体外形寸法	幅449mm ×奥行き 365mm ×高さ 171mm
リボン寿命	黒リボンカートリッジ：約200 万文字（1 文字を48 ドット構成とした場合）

パラレルインターフェイス仕様

パラレルインターフェイス（フォワードチャネル）

データ転送方式	8 ビットパラレル
同期方式	外部供給 $\overline{\text{STROBE}}$ パルス信号
ハンドシェイク	$\overline{\text{ACKNLG}}$ および BUSY 信号
ロジックレベル	入力データおよびコントロール信号は TTL レベルコンパチブル
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の 36 ピンプラグまたは同等品 （インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

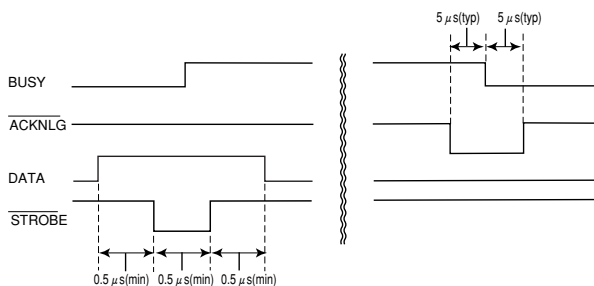
入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルスです。パルス幅は 0.5μs 以上必要です。定常状態は “HIGH” であり、“LOW”になった後にデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW” はデータが“0” であることを示します。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	“LOW” は、プリンタのデータ受け取り準備ができていることを表すパルス信号です。

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
11	29	BUSY	プリンタ	“HIGH” は、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示します。“LOW”はデータを受け取れる状態であることを示します。“HIGH” になるのは次の状態のときです ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中または INIT 信号が“LOW” の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	30	PE	プリンタ	“HIGH” は、プリンタに用紙がないことを示します。
13	―	SLCT	プリンタ	常に “HIGH” 状態。1.0KΩ で+5V にプルアップされています。
14	―	$\overline{\text{AUTOFEEDXT}}$	センタマシン	“LOW”は自動改行を行うことを示します。
15	―	NC	―	使用していません。
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
17	―	CHASSISGND	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	NC	―	使用していません。
19～30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	16	$\overline{\text{INIT}}$	―	パルス幅 50μs以上の “LOW” パルスの入力ではプリンタは初期状態にセットされます。
32	―	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	“LOW”はプリンタがエラー状態であることを示します。（フェイタルエラー、紙無しエラー、カバーオープンエラー）
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	使用していません。
35	―	＋5V	―	常に “HIGH” 状態。1.0kΩ、＋5V にプルアップされています。
36	―	$\overline{\text{SLCTIN}}$	センタマシン	“HIGH” は DC1/DC3 コードが有効であり、“LOW” は DC1/DC3 コードが無効であることを示します。

ポイント

- “LOW” アクティブ信号の場合には、信号名の上に横棒がついています。
- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。
  さらに、このケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- インターフェイス条件は、すべて TTL レベルを基準とします。
- プリンタ出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：120nsec 以下
- センタマシン出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：200nsec 以下
- $\overline{\text{ACKNLG}}$ または BUSY 信号を無視してのデータ転送は行わないでください（プリンタへのデータ転送は、$\overline{\text{ACKNLG}}$ を確認するか、BUSY が “LOW” 状態のときに行ってください）。

パラレルインターフェイスタイミングチャート

パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500nsec	—
thold	500nsec	—
tstb	500nsec	—
tready	0	—
tbusy	—	500nsec
treply	—	—
tack	500nsec	10 μs
tnbusy	0	—
tnext	0	—

初期化

次の 2 通りの方法で初期化（イニシャライズ）されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化
方法	電源を再投入 パラレルインターフェイスの INIT 信号の入力	ソフトウェアにより ESC@ コード（プリンタの初期化）を送る
初期化内容	• プリンタメカニズム • 入力データバッファ • ダウンロード文字、外字 • プリントバッファ	デフォルト値の設定

コントロールコード表

本プリンタはEPSON ESC/P™ の ESC/P24-J84 に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、別売の「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル」を参照してください。

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲	10 進	16 進
印字・紙送り	印字復帰	CR		<13>	<0D>
	改行	LF		<10>	<0A>
	改ページ	FF		<12>	<0C>
	n/180インチ順方向紙送り	ESC J n	0 ≦ n ≦ 255	<27> <74>	<1B> <4A>
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1 ≦ n ≦ 127	<27> <67>	<1B> <43>
	インチ単位ページ長設定	ESC C0 n	1 ≦ n ≦ 22	<27> <67> <0>	<1B> <43> <00>
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1 ≦ n ≦ 127	<27> <78>	<1B> <4E>
	ミシン目スキップ解除	ESC O		<27> <79>	<1B> <4F>
	右マージン設定	ESC Q n	1 ≦ n ≦ 255	<27> <81>	<1B> <51>
	左マージン設定	ESC l n	0 ≦ n ≦ 255	<27> <108>	<1B> <6C>
改行量設定	1/8 インチ改行量設定	ESC 0		<27> <48>	<1B> <30>
	1/6 インチ改行量設定	ESC 2		<27> <50>	<1B> <32>
	n/180 インチ改行量設定	ESC 3 n	0 ≦ n ≦ 255	<27> <51>	<1B> <33>
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D[n]k NUL	1 ≦ n ≦ 255 1 ≦ k ≦ 32	<27> <68>	<1B> <44>
	垂直タブ位置設定	ESC B[n]k NUL	1 ≦ n ≦ 255 1 ≦ k ≦ 16	<27> <66>	<1B> <42>
	水平タブ実行	HT		<9>	<09>
	垂直タブ実行	VT		<11>	<0B>
	絶対位置設定	ESC $ n1 n2	0≦(n1＋n2×256)≦815	<27> <36>	<1B> <24>
	相対位置設定	ESC ¥ n1 n2	-1440 ≦(n1 ＋n2 × 256)≦ 1439	<27> <92>	<1B> <5C>

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲	10 進	16 進
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n = 0，1	<27> <120>	<1B> <78>
	書体選択	ESC k n	n = 0，1	<27> <107>	<1B> <6B>
	プロポーショナル文字指定 / 解除	ESC p n	n = 0，1	<27> <112>	<1B> <70>
	10cpi 指定	ESC P		<27> <80>	<1B> <50>
	12cpi 指定	ESC M		<27> <77>	<1B> <4D>
	15cpi 指定	ESC g		<27> <103>	<1B> <67>
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC S n	n = 0，1	<27> <83>	<1B> <53>
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC T		<27> <84>	<1B> <54>
	縮小指定	SI		<15>	<0F>
	縮小解除	DC2		<18>	<12>
	アンダーライン指定／解除	ESC - n	n = 0，1	<27> <45>	<1B> <2D>
	縦倍拡大指定／解除	ESC w n	n = 0，1	<27> <119>	<1B> <77>
	国際文字選択	ESC R n	0 ≦ n ≦ 12	<27> <82>	<1B> <52>
	文字コード表選択	ESC t n	n = 1，3	<27> <116>	<1B> <74>

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲	10 進	16 進
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC ＆ 0 n m [a0 a1 a2 p1...pk]m-n ＋ 1	32 ≦ n ≦m ≦ 127 0 ≦ a0 ≦ 127 0 ≦ a1 ≦ 37 － 128 ≦ a2 ≦ 127 0 ≦ p1...pk ≦ 255	<27> <37>	<1B> <25>
	ダウンロード文字セット指定 / 解除	ESC ％ n	n ＝ 0，1	<27> <58>	<1B> <3A>
	文字セットコピー	ESC : 000		<27> <38>	<1B> <26>
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0 ≦ n ≦ 127	<27> <32>	<1B> <20>
	イタリック指定	ESC 4		<27> <52>	<1B> <34>
	イタリック解除	ESC 5		<27> <53>	<1B> <35>
	強調指定	ESC E		<27> <69>	<1B> <45>
	強調解除	ESC F		<27> <70>	<1B> <46>
	二重印字指定	ESC G		<27> <71>	<1B> <47>
	二重印字解除	ESC H		<27> <72>	<1B> <48>
	文字スタイル選択	ESC q n	n ＝ 0，1，2，3	<27> <113>	<1B> <71>
	倍幅拡大指定／解除	ESC W n	n ＝ 0，1	<27> <87>	<1B> <57>
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS SO		<28> <14>	<1C> <0E>
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS DC4		<28> <20>	<1C> <14>
	一括指定	ESC ! n	0 ≦ n ≦ 255	<27> <33>	<1B> <21>

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲	10 進	16 進
漢字文字セット	漢字モード指定	FS &		<28> <38>	<1C> <26>
	漢字モード解除	FS.		<28> <46>	<1C> <2E>
	漢字書体選択	FS k n	n＝0，1	<28> <107>	<1C> <6B>
	半角文字指定	FS SI		<28> <15>	<1C> <0F>
	半角文字解除	FS DC2		<28> <18>	<1C> <12>
	1/4 角文字指定	FS r n	n＝0，1	<28> <114>	<1C> <72>
漢字文字定義	外字定義	FS 2 a1a2[d]k	a1 ＝ 77H 21H ≦ a2 ≦ 7EH k ＝ 72	<28> <50>	<1C> <32>
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n1 n2	0 ≦ n1 ≦ 127 0 ≦ n2 ≦ 127	<28> <83>	<1C> <53>
	半角文字スペース量設定	FS T n1 n2	0 ≦ n1 ≦ 127 0 ≦ n2 ≦ 127	<28> <84>	<1C> <54>
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J		<28> <74>	<1C> <4A>
	漢字横書き指定	FS K		<28> <75>	<1C> <4B>
	半角縦書き 2 文字指定	FS D[d]k	k ＝ 1 〜 4	<28> <68>	<1C> <44>
	4 倍角指定／解除	FS W n	n＝0，1	<28> <87>	<1C> <57>
	漢字アンダーライン指定／解除	FS - n	n＝0，1，2	<27> <45>	<1C> <2D>
	漢字一括指定／解除	FS ! n	0 ≦ n ≦ 255	<28> <33>	<1C> <21>
ビットマップイメージ選択	ビットイメージ選択	ESC* m n1 n2[d]k	m＝0 〜 4，6，32，33，38 〜 40 0 ≦ n1 ≦ 255 0 ≦ n2 ≦ 11 k＝(n1 ＋n2 × 256) × j j＝1，3	<27> <42>	<1B> <2A>
	ビットイメージリピート選択	ESC*m r1 r2 n1 n2[d]k	m ＝ 167 0 ≦ r1 ≦ 255 0 ≦ r2 ≦ 11 0 ≦ n1 ≦ 180 n2 ＝0 k＝(n1 ＋n2 × 256) × j j＝3	<27> <64>	<1B> <2A>

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲	10 進	16 進
初期化	初期化	ESC @		<27> <64>	<1B> <40>
キャリッジ制御	単方向印字指定 / 解除	ESC U n	n ＝ 0，1	<27> <85>	<1B> <55>
	漢字高速印字指定 / 解除	FS x n	n ＝ 0，1	<28> <120>	<1C> <78>
CSF 制御	カットシートフィーダ制御	ESC EM n	n ＝ “1”，“2”，“R”	<27> <25>	<1B> <19>
その他	半角文字スペース量補正	FS U		<28> <85>	<1C> <55>
	半角文字スペース量補正解除	FS V		<28> <86>	<1C> <56>

英数カナ文字コード表

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	η
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	^{2}
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

国際文字

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	β
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	à	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

漢字コード表

この漢字コード表は JIS X0208-1983 に準拠しています。

漢字コード表

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
20																															
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E																															
2F																															
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
20																																
21	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	┼																															
29																																
2A																																
2B																																
2C																																
2D	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									
2E																																
2F																																
30	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
20																															
21	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26																															
27	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28																															
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	″	〃	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明治	大正	昭和	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E																															
2F																															
30	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F																															

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	堯	槇	遙	瑤																											
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	杏	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	楡	楞	楝	楦	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																
7F																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	倢	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	獎	奩
55	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

旧 JIS（JIS C6226-1978）との違いについて

本機では、JISX0208-1983 に準拠した漢字コードを搭載しています。
JIS 漢字コードは、改訂によって字形を変更したり、字形を追加したり、または位置を変更したりしているため、使用するコンピュータやソフトウェアによっては画面に表示される字形と印刷される字形が異なる場合があります。ここでは、プリンタに搭載している JIS 漢字コード（新 JIS コード）と、旧 JIS コードの違いについて説明します。

JIS X0208-1983 で字形を変更

（旧 JIS（JIS C6226-1978）から字形を変更し、旧 JIS の字形を新たに追加）

変更された字形			追加された旧JISの字形	
16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983
3646	尭	堯	7421	堯
4B6A	槙	槇	7422	槇
4D5A	遥	遙	7423	遙
6076	瑶	瑤	7424	瑤

JIS X0208-1983 で第 1 水準と第 2 水準を変更した漢字

第 1 水準			第 2 水準		
16進	JIS X0208 -1983	旧JIS	16進	JIS X0208 -1983	旧JIS
3033	鯵	鰺	724D	鰺	鯵
3229	鴬	鶯	7274	鶯	鴬
3342	蛎	蠣	695A	蠣	蛎
3349	撹	攪	5978	攪	撹
3376	竃	竈	635E	竈	竃
3443	潅	灌	5E75	灌	潅
3452	諌	諫	6B5D	諫	諌
375B	頚	頸	7074	頸	頚
395C	砿	礦	6268	礦	砿
3C49	蕊	蘂	6922	蘂	蕊
3F59*	靭	靱	7057*	靱	靭
4128	賎	賤	6C4D	賤	賎
445B	壷	壺	5464	壺	壷
4557	砺	礪	626A	礪	砺
456E	梼	檮	5B6D	檮	梼
4573	涛	濤	5E39	濤	涛
4676*	迩	邇	6D6E*	邇	迩
4768	蝿	蠅	6A24	蠅	蝿
4930	桧	檜	5B58	檜	桧
4B79	侭	儘	5056	儘	侭
4C79	薮	藪	692E	藪	薮
4F36	篭	籠	6446	籠	篭

*第 1 水準と第 2 水準の位置を変え、字形も変更した文字

JIS X0208-1983 で字形を変更した漢字

16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS
3022	唖	啞	3737	祁	祁	3E25	哨	哨
3029	逢	逢	3745	慧	慧	3E33	廠	廠
3032	芦	芦	374E	稽	稽	3E3F	梢	梢
303B	飴	飴	3752	繋	繫	3E55	蒋	蔣
306E	溢	溢	3755	荊	荆	3E5F	醤	醬
3073	鰯	鰯	3764	隙	隙	3E64	鞘	鞘
307C	淫	淫	3771	倦	倦	3F2A	蝕	蝕
312A	迂	迂	3779	嫌	嫌	3F60	逗	逗
3135	欝	欝	377E	捲	捲	3F69	翠	翠
3139	厩	廐	3834	鹸	鹼	4022	摺	摺
313D	噂	噂	3841	諺	諺	4042	逝	逝
3142	餌	餌	392B	巷	巷	4066	蝉	蟬
316B	焔	焔	3937	昂	昂	4071	撰	撰
3228	襖	襖	3942	溝	溝	4072	栓	栓
322A	鴎	鷗	396D	麹	麴	4079	煎	煎
3260	迦	迦	3974	鵠	鵠	407A	煽	煽
327A	恢	恢	3979	甑	甑	4127	詮	詮
327D	拐	拐	3A53	采	采	4139	噌	噌
3322	晦	晦	3A63	冴	冴	414C	遡	遡
3335	概	概	3A67	榊	榊	414F	創	創
3365	喝	喝	3A74	柵	柵	415F	掻	搔
336B	葛	葛	3B27	薩	薩	4169	痩	瘦
3373	鞄	鞄	3B2A	鯖	鯖	423D	遜	遜
337A	噛	嚙	3B2B	捌	捌	424D	騨	驒
3442	澗	澗	3B2C	錆	錆	425C	腿	腿
344D	翰	翰	3B39	珊	珊	4263	黛	黛
3465	翫	翫	3C48	屡	屢	426F	啄	啄
352B	徽	徽	3C57	遮	遮	4275	濯	濯
3540	祇	祇	3C5D	杓	杓	4276	琢	琢
3622	侠	俠	3C5E	灼	灼	427D	蛸	蛸
362A	卿	卿	3D2B	繍	繡	4327	巽	巽
364F	僅	僅	3D36	酋	酋	4329	辿	辿
366D	躯	軀	3D6C	曙	曙	432A	棚	棚
3674	喰	喰	3D6D	渚	渚	432D	鱈	鱈
367B	櫛	櫛	3D72	薯	薯	432E	樽	樽
367D	屑	屑	3D73	藷	藷	433D	箪	簞

16進	JIS X0208 -1983	旧JIS	16進	JIS X0208 -1983	旧JIS	16進	JIS X0208 -1983	旧JIS
4370	註	註	4824	箸	箸	4E7B	煉	煉
4375	瀦	瀦	482E	溌	潑	4F21	蓮	蓮
437C	凋	凋	4830	醗	醱	4F31	榔	榔
443D	捗	捗	4854	挽	挽	4F39	蝋	蠟
4448	槌	槌	4862	扉	扉	513D	兎	兔
444A	鎚	鎚	4875	樋	樋	5147	冉	冉
444D	塚	塚	4922	柊	柊	514B	冕	冕
444F	掴	摑	4923	稗	稗	514D	冤	冤
4454	辻	辻	492F	逼	逼	5330	吩	吩
4522	鄭	鄭	4932	媛	媛	533A	唳	唳
4527	擢	擢	4935	謬	謬	535E	嘲	嘲
452E	溺	溺	4940	廟	廟	536B	嘸	嘸
4536	填	塡	494E	瀕	瀕	5444	堋	堋
453F	顛	顚	4951	頻	頻	553D	媾	媾
4548	堵	堵	4A43	蔽	蔽	5563	寃	寃
454B	屠	屠	4A4D	瞥	瞥	5622	屏	屏
4551	莵	菟	4A5A	娩	娩	5824	悗	悗
4552	賭	賭	4A79	庖	庖	5960	捩	捩
4564	塘	塘	4B22	泡	泡	596C	搆	搆
4578	祷	禱	4B29	蓬	蓬	5A39	攅	攢
463E	鴇	鴇	4B4B	頬	頰	5A4D	斃	斃
4642	涜	瀆	4B70	鱒	鱒	5B45	枦	枦
4654	瀞	瀞	4B78	迄	迄	5B4A	枵	枵
4655	噸	噸	4C4D	麺	麵	5B6B	梛	梛
465B	遁	遁	4C59	儲	儲	5B74	梍	梍
465C	頓	頓	4C5F	餅	餠	5E50	湮	湮
4661	那	那	4C62	籾	籾	6026	爨	爨
4666	謎	謎	4C7A	鑓	鑓	605F	珎	珎
4667	灘	灘	4C7C	愈	愈	612B	甄	甄
466A	楢	楢	4C7E	癒	癒	6130	甍	甍
4729	禰	禰	4D32	猷	猷	6131	甕	甕
4739	嚢	囊	4D50	熔	熔	622B	皓	皓
4757	牌	牌	4D54	耀	耀	626F	硼	硼
4767	這	這	4D69	莱	萊	634A	稱	稱
4769	秤	秤	4E4B	遼	遼	6354	穐	穐
476D	剥	剝	4E7A	漣	漣	6439	箙	箙

16進	JIS X0208 -1983	旧JIS
6464	粐	粐
646E	粮	粮
6539	綛	綛
653B	綮	綮
6546	緱	緱
6646	翔	翔
6764	舮	舮
6769	芎	芎
6772	苒	苒
6834	莫	莫
683B	葱	葱
6874	蔗	蔗
6961	蛛	蛛
6A27	螂	螂
6A3D	蟒	蟒
6A6F	褊	褊
6B32	覯	覯
6B66	諞	諞
6B76	譁	譁
6C69	跚	跚
6C74	踉	踉
6D4E	輓	輓
6D6C	迪	迪
6E29	遘	遘
6E3D	扈	扈
6E57	釁	釁
7045	霤	霤
7051	靠	靠
7075	頤	頤
722D	鬮	鬮
723C	鮗	鮗
724E	鯲	鯵
7351	麪	麫
737D	龜	龜

プロポーショナル文字について

プロポーショナル文字指定すると、表に掲載されている文字の文字幅が、文字により異なります。

① 通常（プロポーショナル文字指定解除）時の文字幅
単位は 1/360 インチです。例えば 30/360 は 1/12 インチの文字幅になります。

② プロポーショナル文字指定時の文字幅
プロポーショナル指定とスーパーまたはサブスクリプト指定を設定したときの文字幅です。単位は 1/360 インチ。例えば 20/360 ＝ 1/13 インチの文字幅になります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	*
0		SP 30/20	0 30/20	@ 36/24	P 36/24	` 18/12	p 36/24	Ç 36/24	É 36/24	á 30/20	░ 30	└ 30	╨ 30	α 30/20	≡ 30	° 24/16
1		! 18/12	1 30/20	A 36/24	Q 36/24	a 30/20	q 36/24	ü 36/24	æ 42/28	í 30/20	▒ 30	┴ 30	╤ 30	β 30/20	± 30	¤ 30/20
2		" 30/20	2 30/20	B 36/24	R 36/24	b 36/24	r 30/20	é 30/20	Æ 42/28	ó 30/20	▓ 30	┬ 30	╥ 30	Γ 30/20	≥ 30	β 36/24
3		# 30/20	3 30/20	C 36/24	S 36/24	c 30/20	s 30/20	â 30/20	ô 30/20	ú 30/20	│ 30	├ 30	╙ 30	π 30/20	≤ 30	φ 36/24
4		$ 30/20	4 30/20	D 36/24	T 36/24	d 36/24	t 24/16	30/20	ö 30/20	ñ 30/20	┤ 30	─ 30	╘ 30	Σ 30/20	⌠ 30	¨ 30/20
5	§ 30/20	% 36/24	5 30/20	E 36/24	U 42/28	e 30/24	u 36/24	à 30/20	o 30/20	Ñ 30/20	╡ 30	┼ 30	╒ 30	σ 30/20	⌡ 30	
6		& 36/24	6 30/20	F 36/24	V 36/24	f 24/16	v 36/24	å 30/20	û 36/24	ª 30/20	╢ 30	╞ 30	╓ 30	μ 30/20	÷ 30	
7		' 18/12	7 30/20	G 36/24	W 42/28	g 36/24	w 42/28	ç 30/20	ù 36/24	º 30/20	╖ 30	╟ 30	╫ 30	τ 30/20	≈ 30	
8		(24/16	8 30/20	H 36/24	X 36/24	h 36/24	x 30/20	ê 30/20	ÿ 36/24	¿ 30/20	╕ 30	╚ 30	╪ 30	Φ 30/20	° 30	
9		) 24/16	9 30/20	I 24/16	Y 36/24	i 18/12	y 36/24	ë 30/20	Ö 36/24	⌐ 30/20	╣ 30	╔ 30	┘ 30	θ 30/20	• 30	
A		* 30/20	: 18/12	J 30/20	Z 30/20	j 24/16	z 30/20	è 30/20	Ü 42/28	¬ 30/20	║ 30	╩ 30	┌ 30	Ω 30/20	· 30	
B		+ 30/20	; 18/12	K 36/24	[24/16	k 36/24	{ 24/16	ï 18/12	¢ 30/20	½ 30/20	╗ 30	╦ 30	█ 30	δ 30/20	√ 30	
C		, 18/12	< 30/20	L 36/24	\ 30/20	l 18/12	¦ 18/12	î 18/12	£ 30/20	¼ 30/20	╝ 30	╠ 30	▄ 30	∞ 30/20	η 30	
D		− 30/20	= 30/20	M 42/28	] 24/16	m 42/28	} 24/16	ì 18/12	¥ 36/24	¡ 30/20	╜ 30	═ 30	▌ 30	φ 30/20	² 30	
E		. 18/12	> 30/20	N 36/24	^ 30/20	n 36/24	~ 30/20	Ä 36/24	Pt 42/28	« 30/20	╛ 30	╬ 30	▐ 30	∈ 30/20	■ 30	
F		/ 30/20	? 30/20	O 36/24	_ 30/20	o 30/20		Å 36/24	ƒ 30/20	» 30/20	┐ 30	╧ 30	▀ 30	∩ 30/20		

表の＊の列は、国際文字に含まれていてコード表にない文字です。

PC-98 系コンピュータでお使いになる場合

エプソンPCシリーズおよびNEC PC-98シリーズのコンピュータと接続して使用する場合、次の点に注意してください。

ハードコピー

- BASICプログラム中でのCOPY命令は使用しないでください。
- ハードコピーはNEC PC-PR201Hに比べ、縦方向に約8/9倍になる場合があります。

リスト出力

「漢字が印刷されない」または「英数カナ文字と漢字の比が 1：2 にならない」ことがあります。

ポイント

MS-DOS のバージョンにより、漢字と英数カナ文字の比率を設定できるものがあります。設定はコンピュータのメモリスイッチで行います。しかし、DISK-BASIC では漢字と英数カナ文字の比を変更することはできません。

PC-PR201H との違い

PC-PR201H とは、最小分解能と漢字構成ドットが次のように違うため、印刷結果が多少異なる場合があります。

相違点	PC-PR201H
最小分解能（インチ）	1/160
漢字構成ドット（縦×横）	22 × 22

画面ハードコピー、縦罫線、グラフィックなどの縦方向の連続印刷は、PC-PR201H に比べて約 8/9 倍になることがあります。しかし、プリンタのページ長には影響はありません。

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設[*1]してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ
「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェアCD-ROM』から簡単にご登録いただけます。[*2]

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）のホームページ上で提供されています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましてはスタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん。どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせはスタートアップガイド裏表紙をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間	午前 9:00 〜午後 5:30 月曜日〜金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 • 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 * 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償 （出張料のみ）	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込 / 送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金 + 修理代のみ）

フロッピーディスクについて

本機に添付の Windows 3.1/95/2000 プリンタドライバは、CD-ROM で提供しております。3.5 インチのフロッピーディスクをご希望のお客様は、以下の手順で、セットアップディスクを作成してからインストールを行ってください。
セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライブがなくても、お近くに CD-ROM とフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、セットアップディスクを作成できるユーティリティです。

フロッピーディスクを作成する

1. **EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **エクスプローラ（またはファイルマネージャ）を起動して、EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM 内の［Apps］−［Fdtool］フォルダの［Makedisk.exe］をダブルクリックします。**

3. **画面の指示に従ってセットアップディスクを作成します。**

インストール方法

作成したセットアップディスク（フロッピーディスク）からのインストール方法は、以下のページを参照して、「EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」をセットする手順のところで、作成したセットアップディスクをコンピュータにセットします。
本書 39 ページ「Windows でのセットアップ」

ポイント

Windows 2000 をお使いの場合は、作成したセットアップディスクの「Setup.exe」を実行することで、プリンタドライバをインストールすることができます。インストール手順は、表示される画面に従ってください。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、インターネットを使用して、エプソン販売（株）のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

郵送にて CD-ROM をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。「エプソンディスクサービス」について詳しくは、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

また、ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍してからインストールしてください。

1. ホームページ上のダウンロードサービスから対象機種を選択します。

ドライバの最新情報については、［Windows 対応情報］を参照してください。

2. プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行してください。

手順については、以下のホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

索引

さ

し

す

せ

そ

た

つ

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

み

も

ゆ

よ

ら

り

れ

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0049_00	全て	新規制定	